

日本原子力学会誌 総目次 Vol.41, Nos.1~12 (1999)

NIHON-GENSHIRYOKU-GAKKAISHI (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

(末尾の太字は通巻ページ数です)

No.1 (1月号)

- 巻頭言 核燃料サイクル開発機構の目指すもの；開かれた研究開発体制を基盤にして：都甲泰正, **1**.
- 総説 [100] 原子力におけるヒューマンモデル研究の現状と応用領域の展望：吉川榮和, 古田一雄, 中川康雄, 吉村誠一, 吉田一雄, 内藤憲夫, **2**.
- 解説 海水淡水化への原子力エネルギーの利用とIAEAの活動：小西俊雄, 湊章男, **15**.
IAEAの保障措置強化合理化策；93+2 (SSS) を中心として：谷弘, **21**.
- 談話室 原子力コード委員会原子力コード評価専門部会「モンテカルロシミュレーション」WGの活動報告；
第1回「モンテカルロシミュレーション」研究会：桜井淳, 野村靖, 内藤俣考, **31**.
- ショート・ノート IKRD法により落下時間が長い制御棒の反応度値を測定する方法：山下清信, 竹内光男, 藤本望, 藤崎伸吾, 中野正明, 野尻直喜, 田村誠司, **35**.
- 技術報告 316. 低レベル放射性雑固体廃棄物処理へのプラズマ溶解法の適用性評価；溶解固化体の物性と溶解時の核種挙動に与える炉内雰囲気ガス条件の影響：安井晋示, 天川正士, 足立和郎, **39**.
317. JT-60 トカマク放電解析のための磁気流体平衡高速処理システムの開発と実用化：長谷川幸弘, 中村幸治, 白井浩, 濱松清隆, 原田裕夫, 菊池満, 中田義弘, **48**.
- 研究論文 1073. JMTR用高性能燃料要素の設計：桜井文雄, 島川聡司, 小森芳廣, 土橋敬一郎, 神永文人, **57**.
- 英文誌 (Vol.36, No1) 和文抄録：**66**.
- 会報 (行事予定, 「1999年春の大会」, 原子力関係会議案内, 各専門委報告, 支部活動報告, 編集後記, 主要会務, 他)：**68**.
対外報告「21世紀に向けた原子力の研究開発について」：日本学術会議原子力工学研究連絡委員会, 核科学総合研究連絡委員会, エネルギー・資源工学研究連絡委員会核工学専門委員会：(後付)

No.2 (2月号)

- 巻頭言 原子力の安全に想う：金川昭, **77**.
- 特別寄稿 神原豊三元副会長のご逝去を悼む：谷口薫, **78**.
- 会告 (「第31回日本原子力学会賞」の決定)：**79**.
- 講演 原子力と福井—歴史と展望；地域社会と原子力の共生：前田肇, **80**.
記者と原子力：橋詰武宏, **86**.
- 解説 分子シミュレーション法と均質化法の結合解析；高レベル放射性廃棄物の地層処分における緩衝材挙動への適用：市川康明, 河村雄行, 中野政詩, 北山一美, **88**.
- 温故知新(100) 原子力開発の第1期生として：太組健児, **98**.
- 談話室 国際原子力学会協議会(ISNC)ニュース会合：近藤駿介, **101**.
- 国際会議の窓 「原子力発電プラント水化学」国際会議：酒井利明, **104**.
「LWR冷却水の放射線分解ワークショップ」—高温水の放射線分解およびLWR腐食環境評価への応用：高木純一, **106**.
「加速器放射線場のシミュレーション」ワークショップ・OECD/NEA「加速器, ターゲットおよび照射施設の遮蔽」専門家会合：平山英夫, **109**.
第17回世界エネルギー会議：岡芳明, **111**.
- ショート・ノート AlgecirasでのCs-137大気中放出事故の長距離拡散解析：山澤弘実, **114**.
- 研究論文 1074. 空隙層を含む反射・吸収効果を考慮した多層構造体による放射線遮蔽性能の向上：白形弘文, 真木絃一, 上出泰生, **117**.
- 新刊紹介 「どうする日本の原子力—21世紀への提言」, 「Safe Handling and Storage of Plutonium」：**131**.
- 英文誌 (Vol.36, No2) 和文抄録：**132**.
- 会報 (原子力関係会議案内, 行事予定, 「1999年春の年会」, 各専門委報告, 議事報告, 編集後記, 主要会務, 他)：**135**.
「第37回原子力総合シンポジウム」プログラム：(後付)
「1999年春の年会」プログラム：(後付)

No.3 (3月号)

- 巻頭言 原子力の民意形成努力：松田 泰，143.
- 会告 (「1999年秋の大会」研究発表募集，口頭発表申込書，予稿見本様式)：144.
- 特集 原子力技術と社会：鈴木達治郎，田中 豊，谷口武俊，大山耕輔，147.
軽水炉発電プラントの事故シミュレーションシステム'IMPACT'の開発：内藤正則，安藤泰正，氏田博士，
IMPACTプロジェクトチーム，174.
- 総説 [101] 原子力プラントにおける複雑現象の解明；セルオートマトン法による流体解析の現状と今後の展望：
加藤恭義，202.
- 論説 群分離・消滅処理と地層処分の接点；原子力技術の新しい飛躍に向けて：北本朝史，219.
- 温故知新(01) 重水炉開発プロジェクトを体験して：澤井 定，236.
- 国際会議の窓「プラズマ対向材における水素リサイクリング」国際ワークショップ：山脇道夫，山口憲司，V.Kurnaev，242.
インドネシアー日本「原子炉水化学」セミナー：内田俊介，石樽顕吉，244.
- 談話室 放射線と物質の歴史性について：大野新一，246.
食品照射の最近動向—食品照射協議会第34回大会に出席して：森谷 潤，248.
- 技術報告 318. 高圧ガス炉 HTTR を用いた水素製造システムの炉外実証試験計画：稲垣嘉之，武田哲郎，西原哲夫，
羽田一彦，林 光二，250.
319. 車載用 γ 線サーベイシステムの開発：坂本隆一，塚 正博，258.
- 英文誌 (Vol.36, No3) 和文抄録：266.
- 会報 (原子力関係会議案内，行事予定，「第41回通常総会」予告，各専門委報告，編集後記，主要会務，他)：268.
「第31回日本原子力学会賞」受賞概要：(後付)

No.4 (4月号)

- 会告 (「第41回通常総会」・新役員候補者投票のご通知，「1999年秋の大会」研究発表募集(再)，創立40周年記念式典，
歴代会長)：(前付)
- 創立40周年を迎えて：会長 秋山 守，281.
- 創立40周年記念事業を企画して：副会長・実行委員 木村逸郎，282.
- 創立40周年記念特集号の発行にあたって：編集委員長 戸田三郎，283.
- 海外関係機関からの祝辞：284.
- 原子力研究における最近10年間の歩み—その概要と展望
1. 放射線工学と加速器・ビーム化学：287.
 2. 炉物理・炉工学：316.
 3. 核燃料サイクルと材料：365.
 4. 核融合工学：407.
 5. 保健物理と環境科学：440
- 21世紀を迎えるにあたって
1. 部会・連絡会の活動と今後の展望：450.
 2. 21世紀に向けての原子力の展望：457.
 3. 「もんじゅ」の現状と今後：461.
 4. 21世紀への原子力教育：466.
- 座談会 私たちがひらく原子力の世紀：469.
女性の目から見た原子力研究：492.
- 学会資料 (学会略年表(1989-1998)，会員分布，財務状況)：503.
- 英文誌 (Vol.36, No4) 和文抄録：511.
- 会報 (原子力関係会議案内，行事予定，新規シルバー・永年会員，評議員一覧，「第31回学会賞」の贈呈，各専門委議事・
終了報告，4専門委の新設，編集後記，主要会務，他)：515.
- 「投稿規程」・「投稿の手引」，入会案内，預金口座振替依頼書：(後付)
- 「第41回通常総会」議事原案：(後付)

No.5 (5月号)

- 巻頭言 学会の新しい役割：松浦祥次郎，531.
- 総説 [102] 次世代PWRの開発目標と今後の検討課題：辻倉米蔵，532.

- 資料 新しい放射線線量尺度の提案；公衆による放射線の理解のために：石橋健二，有馬秀彦，江藤裕美，**548**。
 温故知新(102) それは机4つからはじまった：WANO 東京センター設立奮闘記，坂入武彦，**552**。
 談話室 歴史のない科学はない：吉川秀夫，**557**。
 海外情報連絡会の活動と国際交流の推進：鴻坂厚夫，**559**。
 連載講座 “Technical Writing for AESJ”(25)(26)：Vivian G., Schultz，**560**。
 技術報告 320. 再処理分析データによる炉心管理コードの燃焼解析制度評価：周治愛之，林 秀行：，**562**。
 研究論文 1075. 高温ガス炉心水素製造システムの製品水素へのトリチウム移行量評価：西原哲夫，羽田一彦，**571**。
 「1999年春の年会」報告と提案：**579**。
 英文誌 (Vol.36, No5) 和文抄録：**599**。
 会報 (原子力関係会議案内，夏期セミナー案内，各専門委報告，編集後記，主要会務，他)：**601**。

No.6 (6月号)

- 巻頭言 学会創立40周年を祝う：内田秀雄，**609**。
 創立40周年記念式典の報告：**610**。
 解説 モンテカルロ法による中性子・光子輸送シミュレーションの現状：植木紘太郎，森 貴正，桜井 淳，中川正幸，
 内藤淑孝，**614**。
 資料 国際原子力事象評価尺度 (INES) 情報に関する和訳データベースのホームページ解説：渡辺憲夫，平野雅司，**628**。
 温故知新(103) 原子力に架けた橋：中山康敬，**639**。
 国際会議の窓 日露高速炉専門家会議：岡 芳明，吉見宏孝，**647**。
 談話室 確率論的安全評価の信憑性：大塚益比呂，**650**。
 中長期事業計画の概要：核燃料サイクル機構，**652**。
 平成10年度関西支部主催オープンスクールの報告：関西支部「原子力オープンスクール」ワーキンググループ，**655**。
 原子力開発史；旧海軍委託「F研究」における臨界計算法の開発：深井佑造，**657**。
 「原子力学生夏期国際交流事業」—第10回派遣学生・レポート：**659**。
 新規「永年会員」よりの“ひとこと”：，**667**。
 技術報告 321. 原子力施設廃止措置における「放射性廃棄物でない廃棄物」の区分手順；動力試験炉の解体における経験，
 立花光夫，畠山睦夫，柳原 敏，**677**。
 322. HTTR(高温工学試験研究炉)系統別・総合機能試験：田中利幸，大久保 実，伊与久達夫，國富一彦，
 竹田武司，坂場成昭，斎藤賢司，**686**。
 編集・企画の仕事了えて：**699**。
 英文誌 (Vol.36, No6) 和文抄録：**702**。
 会報 (原子力関係会議案内，行事予定，第41回通常総会報告，日米・日韓協力協定，社会・環境部会会員募集，
 夏期セミナー案内，各専門委報告・終了報告，'99編・企画委員一覧、編集後記，主要会務，他)：**704**。

No.7 (7月号)

- 巻頭言 正の遺産として残すべき原子力：(企画委員長) 山脇道夫，**725**。
 会告 (第32回「日本原子力学会賞」受賞候補者の募集)：**726**。
 特集 核融合開発の将来像：宮 健三，小川雄一，三間興典，岡野邦彦，吉川 潔，松田慎三郎，**727**。
 解説 受動的な安全設備を有する次世代軽水炉熱流動解析の現状と課題：有富正憲，大貫 晃，新井健司，菊田充孝，
 与能本泰介，新谷文将，秋本 肇，**738**。
 トリウム核燃料サイクル研究の動向：平川直弘，**758**。
 講演 ロシア型軽水炉 VVER の燃料：近藤吉明，**766**。
 温故知新(104) 戦後最初期の原子力平和利用関連研究活動の回想記：伊藤卓爾，**773**。
 談話室 高橋 実氏の逝去を悼む：神山弘章，**776**。
 技術報告 323. 大気力学モデルを用いた緊急時の放射能大気拡散予測手法の開発：永井晴康，茅野政道，山澤弘実，**777**。
 324. 加圧水型軽水炉の事故緩和系構築のための確率論的手法の適用：辻倉米蔵，**786**。
 研究論文 1076. 自己遮蔽の燃料ペレット内空間依存性を考慮した過渡時のドップラー反応度計算：佐野忠史，竹田敏一，
 池田秀晃，**797**。
 平成10年度原子力(核)工学関連専攻大学院卒業論文・論文博士題目一覧，新卒学生就職先・進学先調べ：**802**。
 英文誌 (Vol.36, No7) 和文抄録：**812**。
 会報 (原子力関係会議案内，行事予定，各専門委報告，編集後記，主要会務，他)：**814**。
 「1999年秋の大会」プログラム(新潟工科大学)：(後付)

No.8 (8月号)

- 巻頭言 原子力文化と知恵：(編集委員長) 木下智見, **823**.
対談 素人から見た原子力の周辺：上坂冬子, 木村逸郎, **824**.
解説 原子力関連輸出規制と違反事例：国吉 浩, **831**.
水化学管理高度化の実績と将来課題：石樽顕吉, 酒井利明, 牧野一郎, 瀧口英樹, 笠原和男, 長尾博之, 安部勝洋, 木戸俊哉, 北端琢也, 西野由高, 内田俊介, **842**.
談話室 核データ研究会の30年—物理と工学の接点を求めて：吉田 正, **853**.
日本放射化学会の設立—経緯と理念：工藤博司, **856**.
技術報告 325. 高レベル放射性廃棄物処分の事業化技術：北山一美, 駒田広也, **858**.
研究論文 1077. 一般工学倫理と原子力工学の複合ストレスの影響：武田邦彦, **875**.
1078. 次世代PWRの運転サイクル長期化の可能性に関する評価：辻倉米蔵, 神田啓治, **881**.
会員のこえ：服部禎男, **895**.
英文誌 (Vol.36, No8) 和文抄録：**896**.
会報 (原子力関係会議案内, 行事予定, 各専門委報告, 1 専門委の新設, 支部活動案内, 主要会務, 編集後記, 他)：**898**.
預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書：(後付)

No.9 (9月号)

- 巻頭言 プルサーマルにことよせて：(副会長) 山崎吉秀, **911**.
資料 原子力 新世紀の基軸エネルギーへの復活—米国 NERI の活動：堀内義規, 安 俊弘, **912**.
談話室 連続エネルギーモンテカルロコード MCNP-4C および日本でも対応：桜井 淳, 前川藤夫, 久米悦雄, 野村 靖, 内藤淑孝, **924**.
グレン・シーボーク；プルトニウムとともに歩んだ人生：河田東海夫, **937**.
国際会議の窓 第6回研究炉に関するアジアシンポジウム：藤木和男, **933**.
第3回「照射後試験技術」日韓セミナー：星屋泰二, **935**.
技術報告 326. 分母系表現のパデ近似による低次元2自由度制御系の設計法：石川信行, 鈴木勝男, **937**.
327. 使用済高速炉燃料の崩壊熱：青山卓史, 鳥丸忠彦, 吉田昌宏, 有井祥夫, 鈴木惣十, **946**.
研究論文 1079. 東海3県の環境放射線のレベル調査：下 道國, 湊 進, 杉野雅人, **954**.
英文誌 (Vol.36, No9) 和文抄録：**965**.
日本原子力学会誌および欧文論文誌の改革案：**968**.
定款の一部変更に関する活動状況：**975**.
会報 (原子力関係会議案内, 行事予定, 各専門委報告, 支部活動案内, 主要会務, 編集後記, 他)：**976**.

No.10(10月号)

- 巻頭言 海外学会の印象—ANS の理事を務めて：堀 雅夫, **989**.
会告 (「2000年春の年会」研究発表募集, 口頭発表申込書, 予備見本)：**990**.
特集 大学・原研プロジェクト共同研究—成果と展望：大学・原研プロジェクト共同研究・成果と展望とりまとめ班, **993**.
講演 わが国の原子力エネルギー—過去, 現在, 未来：秋山 守, **1028**.
国際会議の窓 原子核科学および技術の物理に関する国際会議：山本章夫, 築城 諒, 岩本達也, 奥野 浩, 久語輝彦, 岩崎智彦, 宇根崎博信, 小林慶雄祐, **1038**.
「1999年秋の大会」報告と提案：**1042**.
「99年夏期セミナー」の報告 (⑥放射線工学, ⑭核燃料, ⑩ヒューマン・マシンシステム, ⑮バックエンド, ⑮核融合炉, ⑯炉物理)：**1064**.
技術報告 328. 中性子計測ハウジング取替工法の開発：小山田 修, 古川秀康, 藤森治男, 山下裕宣, 松本 純, B.A.JACOBSON, **1075**.
329. 燃焼ナトリウムへの窒素注入による小規模消火実験：宮崎慶次, 井上正二, 堀池 寛, **1084**.
研究論文 1080. 高温ガス炉用 C/C コンポジット製高性能制御棒の強度試験：石山新太郎, 深谷 清, 衛藤基邦, **1092**.
国際熱核融合実験炉 (ITER) 特別作業グループ・タスク2 報告書：**1100**.
新刊紹介 「放射能と人体—くらしの中の放射線」：**1106**.
英文誌 (Vol.36, No10) 和文抄録：**1107**.
会報 (原子力関係会議案内, 行事予定, 各専門委報告, 「群分離・消滅処理工学」, 専門委の新設, 編集後記, 主要会務, 他)

: 1110.

入会案内, 預金口座振替依頼書: (後付)

No.11 (11月号)

- 巻頭言 環境ホルモン問題に思う: 高島良正, **1121.**
会告 (「2000年春の年会」研究発表募集(再)): **1122.**
特集 国内の陽子・重イオン線治療施設の現状と展望: 河内清光, 曾我文宣, 丸橋 晃, 西尾禎治, 福田茂一, 板野明史
山下晴男, **1124.**
総説 [103] 高温下における水素の高速燃焼特性: 橋本 孝, 小笠原英雄, **1148**
資料 ミクロ炉物理学: 竹田敏一, **1157.**
温故知新(105) 原子力開発・研究に協力して一揺籃期より成熟期まで40年: 鈴木穎二, **1162.**
国際会議の窓 第6回「中性子ラジオグラフィ」国際会議: 藤根成勲, 小林久夫, **1168.**
談話室 臨界安全教育を考える: 小室雄一, **1171.**
技術報告 330. 軽水炉圧力容器鋼溶接部の照射脆化挙動評価技術: 鈴木哲也, 木村晃彦, **1173.**
研究論文 1081. 地方分権時代の原子力活動に関する国一地方関係; 日独の比較: 村田貴司, **1180.**
新刊紹介 「原子力とは何が問題か»: **1187.**
英文誌 (Vol.36, No11) 和文抄録: **1188.**
会報 (原子力関係会議案内, 行事予定, 「標準委員会」の設立, 各専門委報告, 編集後記, 主要会務, 他): **1191.**

No.12 (12月号)

- 巻頭言 頑張れ原子力: 児玉勝臣, **1201.**
解説 アクチノイド水素化物研究の展望: 山脇道夫, 小無健司, 山本琢也, 三田敏夫, 板垣 登, **1202.**
資料 「シグマ委員会」における核データ収集・評価活動; 1997, 1998年度の作業報告: 「シグマ」特別専門委員会, **1213.**
「科学技術リテラシー」の涵養に向けて; 「中央科学技術館・研究所」の役割と原子力: 村田貴司, **1222.**
温故知新(106) 原子力発電の裏方: 神山弘章, **1229.**
談話室 米国原子力学会 1999年冬の大会「JCO 臨界事故特別セッション」の報告: 早田邦久, 加藤正平, 石井 保, **1234.**
国際会議の窓 第21回原子衝突物理学国際会議: 松澤通生, **1236.**
私のメモから JCOの沈殿槽の制限質量2.4kgUの根拠: 小室雄一, **1238.**
研究論文 1082. 高速炉炉心材料としての高ニッケルオールステナイト鋼の開発(I); d電子論に基づく成分設計: 村田純教,
森永昌彦, 湯川夏夫, 鶴飼重治, 野村茂雄, 奥田隆成, 原田 誠, **1244.**
1083. 宇宙用原子炉の概念設計を対象とした統合型設計支援システム: 下田 宏, 吉川榮和, 高橋 信,
武岡 智, 長松 隆, 石坂裕昭, **1252.**
英文誌 (Vol.36, No12) 和文抄録: **1267.**
会報 (2000年度「新役員候補者」推薦公募, 行事予定, 原子力関係会議案内, 各専門委報告, 編集後記, 主要会務, 他): **1269.**
第3回核融合エネルギー連合講演会一般講演 (ポスター発表) 募集: (後付)
第49回理論応用力学講演会: (後付)

総目次・著者名索引 (Vol.41, Nos.1~12)

日本原子力学会誌 総目次 Vol.42, Nos.1~12 (2000)

NIHON-GENSHIRYOKU-GAKKAISHI (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

(末尾の太字は通巻ページ数です)

No.1 (1月号)

- 巻頭言 初心不忘:佐竹宏文, **1**.
会告 事務所移転のお知らせ:**2**.
解説 原子力事故と損害補償の保険: 本位田正平, **3**.
談話室 九州支部主催「原子力オープンスクール」の実施報告:九州支部「原子力オープンスクール」実行委員会, **8**.
中部支部主催「原子力オープンスクール」の状況:横田洋一, 長崎正雅, 曾田一雄, **12**.
臨界事故における生存者はどの後どうなったか:河田東海夫, **15**.
1999フレデリック・ジョリオとオットー・ハーン夏の学校:関本 博, 向原 民, **18**.
国際会議の窓 第8回「人間コンピュータ相互作用」国際会議:古田一雄, 高野研一, **20**.
第10回原子炉ドシメトリー国際シンポジウム:小林捷平, **22**.
1999年米原子力学会(ANS)冬の大会:岩村公道, 湊 和生, **25**.
第4回「日台水化学セミナー」:笠原和男, **28**.
技術報告 331.高温工学試験研究炉(HTR)の臨界実験,(I);試験計画,燃料装荷および核特性試験:山下清信, 藤本 望
竹内光男, 藤崎伸吾, 中野正明, 梅田政幸, 武田武司, 茂木春義, 田中利幸, **30**.
研究論文 1084.Level Set法による液滴の固有振動解析:人見大輔, 秋山光康, 杉山 均, **43**.
1085.原子力プラント状態の自動分類機能の開発:三友信夫, 松岡 猛, **56**.
新刊紹介 「デコミッションング・ハンドブック」:**67**.
英文誌(Vol.37, No.1)和文抄録:**68**.
会報(原子力関係会議案内,各専門委報告,編集後記,主要会務,他):**71**.

No.2 (2月号)

- 巻頭言 原子力相対化の視点:山地憲治, **79**.
会告 「第32回日本原子力学会賞」の決定,事務所移転のお知らせ:**80**.
解説 日本における原子炉熱流動研究の現状:成合秀樹, 関 昌弘, 小川益朗, 山口 彰, 木下 泉, 森 治嗣,
武内 豊, 柘植綾夫, 村瀬道雄, 渡辺 収, **81**.
国際会議の窓 第9回核融合炉材料国際会議:室賀健夫, **102**.
第7回地層中におけるアクチニドと核分裂生成物の化学および移行挙動に関する国際会議:館 幸男, **104**.
第43回IAEA総会報告:山脇道夫, **107**.
談話室 核データ評価国際協力(WPEC)の成果と今後の展望:長谷川 明, **109**.
モンテカルロ計算の新たな展開:桜井 淳, 植木紘太郎, 内藤倣孝, **114**.
研究論文 1086.Fe-Mn-Cr系低放射化高強度非磁性鋼の開発,(I);最適組成選定のためのスクリーニング試験と基本的
特性評価:石山新太郎, 深谷 清, 衛藤基邦, 菊池 満, 佐藤育男, 楠橋幹雄, 畠山 剛, 高橋平七郎, **116**.
1087.ドリフトフラックスモデルの多次元多成分混相流解析への応用:森田幸路, 児玉祐二, 藤本 登, 中川 清
饒 燕飛, 楊 瑞昌, 福田研二, **124**.
新刊紹介 「ドキュメント・東海村」:**133**.
英文誌(Vol.37, No.2)和文抄録:**134**.
会報(原子力関係会議案内,行事予定,日韓原子力学生交流事業,各専門委報告,議事報告,編集後記,主要会務,):**136**.
「2000年春の年会」プログラム:(後付)

No.3 (3月号)

- 巻頭言 原子力学会に期待すること:榎本聡明, **145**.
特集 原子力発電プラントへの新素材の適用研究;ANERI 15年の成果:岡崎 且, 森本庄吾, 村上宣興, 大谷 卓,
小野昇一, **146**.
解説 放射性廃棄物処分システムにおいてセメントに期待される役割,(II)—材料設計の視点から:田中 知, 長崎晋也,

大江俊昭, 廣永道彦, 杉山大輔, 松本潤子, 三原守弘, 林 勝, 今村光孝, 芳賀和子, 藤田英樹, 加藤忠男, 石崎寛治郎, 天野 恕, **178.**

国際会議の窓 数学と計算・炉物理および環境解析に関する国際会議：橋本憲吾, 巽 雅洋, 小坂進矢, 明午伸一郎, **191.**

談話室 仁科芳雄博士の考えていた原子炉：酒井佑造, **194.**

技術報告 332.高温ガス炉ガスタービン用コンパクト熱交換器の概念検討：石山新太郎, 武藤 康, 笠羽道博, 金田隆良, **196.**
333.THHR 水素製造システムにおける Hastelloy XR の水素同位体透過係数：武田哲明, 岩月 仁, 稲垣嘉之, 小川益郎, **204.**

研究論文 1088.PWR 炉内構造バップルフォーマボルト材の粒界割れ機構に対する考察：米澤利夫, 有岡考司, 金崎 宏, 藤本浩二, 安食和英, 松岡孝典, 浦田 茂, 水田 仁, **212.**

英文論文誌 (Vol.37, №3) 和文抄録：**218.**

会報 (原子力関係会議案内, 行事予定, 各専門委報告, 編集後記, 主要会務,)：**221.**

「第 38 回原子力総合シンポジウム」プログラム：(後付)

「第 32 回原子力学会章」受賞概要：(後付)

No.4 (4月号)

巻頭言 編集委員会の夢：榎本聡明, **231.**

会告 第 42 回通常総会, 新役員候補者投票, 「2000 年秋の大会」研究発表募集：**232.**

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：**236.**

解説 原子質量公式—未知の原子核を理論面から探る：山田勝美, 宇野正宏, 橋 孝博, **245.**

連載講座 原子炉物理①核分裂, 臨界と原子炉：平川直弘, 岩崎智彦, **257.**

研究室紹介 北海道大学日野研究室：**272.**

原子力関連企業の紹介 [東芝] レーザ技術を応用した原子力プラントの予防保全技術：**274.**

会議報告 OECD/NEA ワークショップ「スペシエーション技術の評価」：木村貴海, **277.**

1999 年核データ研究室：山野直樹, **279.**

第 9 回放射線遮蔽国際会議：池田裕二郎, **282.**

意見交換の広場：**285.**

原子力関係規制等の最新情報：**287.**

会報 定款の一部変更, 原子力関係会議案内, 専門委員会報告, 行事予定, 議事報告, 主要会務, 編集後記：**288.**

第 3 回核融合エネルギー連合講演会プログラム：**305.**

研究論文 1089.フェムト秒電子シングルバンチの生成・計測・利用：上坂 充, 渡部貴宏, 木下健一, 菅原 淳, 原野英樹, 上田 徹, 吉井康司, 中島一久, 酒井文雄, 小瀧秀行, 出羽秀紀, 神門正城, 近藤修司：**310**
1090.水冷却型試験・研究炉の炉心冠水維持装置サイフォンブレイク弁の性能評価法：桜井文雄, 熊田博明, 神永文人,：**325.**

英文論文誌 (Vol.37, №4) 和文抄録：**334.**

入会案内, 預金口座振替依頼書：(後付)

No.5 (5月号)

巻頭言 安全ボケ：石川迪夫, **337.**

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：**338.**

展望 学術会議原子力工学研連報告「原子力工学の課題」：**345.**

連載講座 原子炉物理②中性子の空間的振舞い(1)：平川直弘, 岩崎智彦, **360.**

資料 原子力安全委員会「ウラン加工工場臨界事故調査委員会報告の概要」：**374.**

温故知新 (07) 燃料サイクルをアップダウンして：武藤 正, **385.**

会議報告 第 3 回電子・光子輸送理論の放射線計算応用国際ワークショップ：波戸芳仁, 平山英夫, **391.**

談話室 基本的な化学知識の欠如：佐藤太一, **395.**

ANL 初代所長ウォルター・ジンのこと：James BOTTCHEER, **397.**

原子力関連企業の紹介 [日立] 電力・電機開発研究所における原子力関連研究開発：**399.**

部会便り 炉物理部会：**402.**

意見交換の広場：**406.**

「2000 年春の年会」報告と提案 (総合報告「原子力と倫理」の総括)：(新刊紹介), **408.**

会報 原子力関係会議案内, 専門委員会報告, 行事予定, 議事報告, 新規「シルバー会員」・「永年会員」の表彰, 主要会務,

編集後記, 第3回核融合エネルギー連合講演会一般講演(ポスター発表)プログラム: 436.

ショート・ノート 重荷電粒子線混在場における積算型固体線量計を用いた簡便な生物的線量評価法の提案: 保田浩志, 455.

技術報告 334.高温工学試験研究炉(HTR)の臨界試験(II);環状型燃料装荷による初臨界達成とその予測法: 藤本 望, 中野正明, 竹内光男, 藤崎伸吾, 山下清信, 458.

研究論文 1091.放射線業務従事者健康管理記録登録制度から見た原子力発電所立地地域振興策: 中川晴夫, 神田啓治, 465.
英文論文誌(Vol.37, No5)和文抄録: 472.

「第42回通常総会」議事原案:(後付)

No.6 (6月号)

巻頭言 JCO 臨界事故をどう受けとめるか—まず自らの手で真実を見出す努力を:(会長)住田健二, 475.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報: 476.

解説 わが国における高レベル放射性廃棄物地層処分の技術的信頼性: 増田純男, 梅木博之, 内藤守正, 486.

連載講座 原子炉物理③中性子の空間的振舞い(2): 平川直弘, 岩崎智彦, 507.

原子力関連企業の紹介 [三菱重工業] リサイクル燃料中間貯蔵技術の開発の現状: 523.

研究室紹介 筑波大学成合研究室: 526.

研究機関紹介 電力中央研究所: 528.

談話室 平成11年度「関西支部主催オープンスクール」の報告: 関西支部「原子力オープンスクール」ワーキンググループ, 531.

意見交換の広場: 535.

会議報告 第5回欧州委員会主催「放射性廃棄物管理・処分とデコミッションング会議」: 植松邦彦, 536.

新規「永年会員」よりの“ひとこと”: 538.

会報 原子力関係会議案内, 専門委員会報告, 行事予定, 主要会務, 編集後記: 543.

研究論文 1092.弱い旋回流を伴う90°曲がり円管路内の発達乱流解析: 杉山 均, 秋山光庸, 篠原康則, 567.

1093.レーザーの水中照射による金属材料の残留応力改善メカニズム: 佐野雄二, 依田正樹, 向井成彦, 小畑 稔, 菅野真紀, 嶋 誠之, 567.

英文論文誌(Vol.37, No6)和文抄録: 574.

No.7 (7月号)

巻頭言 少し勇気を出して:(編集委員長)河出 清, 577.

会告 平成12・13年度評議員選挙に係る支部, 部会等の推薦候補の推薦について:
第33回「日本原子力学会賞」受賞候補者推薦の募集, 578.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報: 581.

特集 高速増殖炉サイクルの実用化戦略調査研究の取組み状況: 野田 宏, 589.

総説 [104] 高レベル放射性廃棄物処分の安全性に対する公衆の認知の向上のための提言と課題

カナダの核燃料廃棄物処分概念に対する環境アセスメント審査を参考に: 坂本修一, 神田啓治, 604.

連載講座 原子炉物理④中性子束のエネルギー分布(1): 平川直弘, 岩崎智彦, 616.

研究室紹介 東京大学田中研究室: 628.

談話室 スイスにおける放射性廃棄物処分の新しい勧告(EKRAレポート): 田辺博三, 630.

会議報告 若手研究者による原子力国際会議2000: 大森良太, 632.

海洋における原子力利用に関する国際ワークショップ: 山路昭雄, 635.

意見交換の広場: 638.

編集・企画の仕事了えて: 640.

研究報告 核融合炉工学の再構築と体系化について: 643.

原子力の利用に伴う安全確保の体制について; 省庁統合後の安全確保の体制に関する提言: 647.

会報 原子力関係会議案内, 専門委員会報告, 行事予定, 主要会務, 編集後記: 648.

研究論文 1094.ジルコニウム合金の均一腐食および水素吸収に及ぼす析出物の電気化学的役割, (I) 腐食に及ぼす役割:
磯辺 毅, 村井琢弥, 前 義治, 660.

1095.核融合実験炉アーマトイルのIn-situ ろう接補修技術に関する基礎的研究: 石山新太郎, 馬場信一, 深谷 清, 衛藤基邦, 秋藤真一, 佐藤真一, 荒木俊光, 山口正治, 山崎誠一郎, 669.

英文論文誌(Vol.37, No7)和文抄録: 678.

「2000年秋の大会」プログラム(青森大学):(後付)

No.8 (8月号)

- 巻頭言 「ウラン燃料加工施設における臨界事故」特集によせて：関本 博，681.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：682.
- 特集 ウラン燃料加工施設における臨界事故：住田健二，片岡 勲，関本 博，仁科浩二郎，親松和浩，近藤駿介，石谷和巳，山根義宏，三好慶典，古田一雄，明石真言，石博信人，大西輝明，高橋 滋，泉 太一郎，遠藤 章，山口恭弘，藤元憲三，691.
- ウラン燃料加工施設における臨界事故「会員からの意見」：749.
- 連載講座 原子炉物理⑤中性子束のエネルギー分布(2)：平川直弘，岩崎智彦，758.
- 原子力関連企業の紹介 [原子燃料工業] 照射サービス施設概要と電子線特性：774.
- 研究室紹介 武蔵工業大学原子力研究所量子工学研究室：777.
- 談話室 臨界事故と急性放射線症：河田東海夫，意見交換の広場，779.
東海支部オープンスクールの報告：長谷川 晃，783.
- 「原子力学生夏期国際交流事業」第11回派遣学生・レポート：785.
- 平成11年度原子力(核)工学関連専攻大学院卒業論文・論文博士題目一覧新卒学生就職先・進学先調べ：791.
- 新刊紹介 「イオンビームによる物質分析・物質改質」，801.
- 会報 原子力関係会議案内，専門委員会報告，行事予定，主要会務，定款変更のお知らせ，編集後記，802.
- ショート・ノート 案内羽根を用いたクロスフロー方式水銀ターゲットモデルの水流動実験および解析：羽賀勝洋，寺田敦彦，神永雅紀，日野竜太郎，821.
- 研究論文 1096.ジルコニウム合金の均一腐食および水素吸収に及ぼす析出物の電気化学的役割，(II)水素吸収に及ぼす役割：磯辺 毅，村井琢弥，前 義治，825.
1097.展示教育のための原子炉施設の基本的構想展示教育用原子炉施設の必要性：村田貴司，吉舖信也，木根原良樹，831.
- 英文論文誌 (Vol.37, No8) 和文抄録：836.

No.9 (9月号)

- 会告 平成12・13年度評議員選挙について：(前付)
- 巻頭言 原子力研究・教育の基礎の充実を：竹田敏一，839.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：840.
- 特集 国立大学原子力・原子核工学科の再編とその現状：鬼柳善明，田中 知，今西信嗣，竹田敏一，工藤和彦，851.
- 解説 燃料電池発電技術の現状と展望：大塚馨象，868.
米国における分散型電源技術の短期動向予測：稲葉真一，878.
- 連載講座 原子炉物理⑥原子炉の動特性と制御：平川直弘，岩崎智彦，883.
- 研究室紹介 東京工業大学原子炉工学研究所 齊藤研究室：899.
- 原子力関連企業の紹介 [三菱マテリアル] 原子力関連の研究開発と事業化への取り組み：901.
- 会議報告 原子炉物理に関する国際会議：井田俊一，須山賢也，島津洋一郎，杉野和輝，松本英樹，白木貴子，903.
第3回核融合エネルギー連合講演会 第3回核融合エネルギー連合講演会実行委員会，906.
- 研連報告 日本学術会議の位置付けと改革について：柴田徳思，秋山 守，(新刊紹介)918.
- 会報 原子力関係会議案内，専門委員会報告，行事予定，主要会務，編集後記，：922.
- 私のメモから 使用済燃料集合体取扱いの新構想：高橋洋一，932.
- 技術報告 335.小型熔融塩炉の核特性の再評価：三田地紘史，岡林大輔，鈴木孝司，吉岡律夫，936.
336.磁気力を用いた原子力機器用制振装置の開発：相田安彦，前田祐治，丹羽博史，高松直丘，鈴木純也，943.
- 研究論文 1098.フォールアウト Sr-90 の骨への蓄積と日本人の発癌リスク評価：森澤真輔，鬼頭牧子，島田洋子，米田 稔，951.
- 欧文論文誌 (Vol.37, No9) 和文抄録：960.

No.10(10月号)

- 巻頭言 原子力標準制定活動の重要性：近藤駿介，963.
- 会告 意見受付公告：964.
「2001年春の年会」研究発表募集：965.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：968.
- 特集 「原子力に関する標準」

- 日本原子力学会標準委員会の発足と今後への期待：成合英樹，宮川俊晴，**975**.
 標準（規格）をめぐる世界の動き：樋口雅久，**980**.
 原子力における基準の最近の動向：飛岡利明，**986**.
 IAEAの国際安全基準に関する活動：平野光将，佐藤秀治，**994**.
 ISOおよびIECの最近の活動：喜多尾憲助，**1000**.
 米国原子力学会（ANS）の民間規格作成活動：中村隆夫，**1004**.
 原子力発電に関連する技術基準の動向：峰松昭義，石本昌三郎，本陣雅夫，**1009**.
 講演 高温ガスタービンシステムの概要と予備的経済性評価：土江保男，**1014**.
 高温ガスタービンシステムの技術課題とその解決法：武藤 康，石山新太郎，**1020**.
 連載講座 原子炉物理⑦原子炉の動特性と制御②：平川直弘，岩崎智彦，**1028**.
 研究室紹介 名古屋大学松井研究室：**1045**.
 談話室 中嶋龍三氏を悼む：更田豊治郎，**1046**.
 モンテカルロ研究の方法論と組織論：桜井 淳，植木紘太郎，内藤淑孝，**1048**.
 夏期セミナー報告 ⑮核燃料，⑦放射線工学，⑪ヒューマン・マシンシステム研究，⑯核融合炉，⑳炉物理，㉑原子炉水化学，
 モンテカルロ計算：**1050**.
 原子力関係規制等の最新情報：**1069**.
 意見交換の広場：**1070**.
 会報 原子力関係会議案内，専門委員会報告，行事予定，主要会務，編集後記，：**1071**.
 ショート・ノート ウラン加工工場臨界事故の事象解析；（I）反応度投入量と臨界事象の解析：三竹 晋，濱崎 学，加藤隆一，
 櫻井俊吾，**1079**.
 γ 線による環境ホルモンの分解，無害化：吉田朋子，田辺哲郎，宮下祥則，吉田寿雄，服部 忠，**1082**.
 技術報告 337. カーボン・サーベイによる天然放射性核種濃度の分布調査：杉野雅人，湊 進，下 道國，**1084**.
 研究論文 1099.PUREX 法再処理のウラン逆抽出工程におけるエントレインメントおよびオーバーフロー発生の濃度プロファイルへの影響：上田吉徳，**1093**.
 1100.相対論密度関数法による6価硝酸プルトニウム錯体の電子状態解析と構造最適化：平田 勝，Turgut Bastug，
 館盛勝一，**1104**.
 欧文論文誌（Vol.37, No10）和文抄録：**1109**.
 入会案内：（後付）

No.11 (11月号)

- 会告 日本原子力学会倫理規定案（前付）
 巻頭言 創造力の涵養を：西澤潤一，**1113**.
 NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：**1114**.
 講演 アクチノイド新抽出剤の開発：館盛勝一，**1124**.
 研究室紹介 近畿大学大澤研究室：**1130**.
 支部便り 中部支部：**1132**.
 部会便り 核融合工学部会：**1134**.
 談話室 核不拡散の動向と日本原子力研究所の取組み：安達武雄，：**1137**.
 会議報告 OECD/NEA「加速器，ターゲットおよび照射施設の遮蔽」第5回専門家会合：平山英夫，**1140**.
 「2000年秋の大会」（青森大学）報告と提案：**1142**.
 会報 原子力関係会議案内，各専門委報告，行事予定，主要会務，編集後記，：**1163**.
 資料 諸外国における使用済燃料中間貯蔵技術の動向：柳下拓也，三枝利有，伊藤千浩，小松進一，吉村英二，**1176**.
 ショート・ノート ウラン加工工場臨界事故の事象解析；（II）線量計測値を用いた核分裂数の推定：三竹 晋，佐藤 理，
 高木俊治，櫻井俊吾，**1191**.
 技術報告 338.ピルの熱供給に適した超小型原子炉の概念設計：楠 剛，小田野直光，中島伸也，福原彬文，落合政昭，**1195**.
 339.海外の核燃料施設における臨界事故の原因分析：JCOウラン加工工場臨界事故との類似性，渡辺憲夫，**1204**.
 研究論文 1101.原子力プラントにおける知的情報統合のための情報検索手法：Catur DIANTONO，高橋 信，北村正晴，**1215**.
 欧文論文誌（Vol.37, No11）和文抄録：**1226**.

No.12 (12月号)

- 巻頭言 姿の见えない日本原子力学会：中村政雄，**1229**.
 NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：**1230**.
 解説 原子炉熱流動の微視的シミュレーション：二ノ方 壽，村松壽晴，西村元彦，富山明男，湊 明彦，功刀資彰，

高木 周, 青木尊之, 藤井貞夫, 森井 正, 守田幸路, 越塚誠一, 田中伸厚, 白川典幸, 陳 旻, 松隈洋介,
渡辺 正, **1242.**

リトアニア共和国イグナリナ発電所1号機の閉鎖をめぐる: 武田充司, **1260.**

連載講座 原子炉物理⑧拡散方程式の数値解法: 平川直弘, 岩崎智彦, **1270.**

熱気球 自由メモ帳 観覧車・意見交換の広場: **1282.**

学会誌改革に関するアンケートの集約結果: **1284.**

研究室紹介 大阪大学・竹田研究室: **1286.**

会 報 原子力関係会議案内, JCO 事故調査委員会, 各専門委報告, 平成12・13年度評議員, 編集後記, 主要会務, 他: **1287.**

資 料 臨界安全性に関わる米国の最近の動き: 小室雄一, **1301.**

ショート・ノート ナトリウムプールに融点で落下する溶融銅滴の破碎機構: 杉山憲一郎, 西村 聡, 木下 泉, 阿部辰哉, **1311.**

技術報告 340.Ti-5%Ta 製およびZr 製酸回収蒸発缶の長期耐久性実証試験: 竹内正行, 永井崇之, 小泉 務, 武田誠一郎,
青嶋 厚, **1315.**

研究論文 1102.確率論的破壊力学に基づく蒸気発生器伝熱管メンテナンス戦略の定量評価: 匂坂充行, 磯部仁博, 吉村 忍,
矢川元基, **1325.**

1103.核融合ダイバータターゲットプレート接合部の機械的特性に与える照射効果: 石山新太郎, 秋場真人,
衛藤基邦, **1334.**

欧文論文誌 (Vol.37, No12) 和文抄録: **1343.**

総 目 次・著者名索引 (Vol.42, Nos.1~12)

日本原子力学会誌 総目次 Vol.43, Nos.1~12 (2001)

NIHON-GENSHIRYOKU-GAKKAISHI (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

(末尾の太字は通巻ページ数です)

No.1 (1月号)

- 巻頭言 原子力の安全を求めて：牧野 昇, **1**.
日本原子力学会誌 500 号刊行を祝って・学会誌改革への取組みと展望：, **2**.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：**4**.
- 解説 エネルギー研究開発総合戦略—日本学術会議社会・産業・エネルギー研究連絡委員会報告をもとに：鈴木達治郎, **15**.
- 連載講座 原子炉物理⑩多群拡散方程式とその数値解法：平川直弘, 岩崎智彦, **20**.
- 研究室紹介 京都大学・伊藤秋男研究室：**30**.
- 談話室 活気づく米国原子力発電業界：窪田秀雄, **32**.
- 英文誌 (JNST) 改革の検討状況と投稿のお願い：**34**.
- 熱気球 自由メモ帖 観覧車：**37**.
- 学術会議便り：**38**.
- 会報：原子力関係会議案内, 各専門委報告, 主要会務, 編集後記, 他：**40**.
- ショート・ノート JCO 臨界事故に係わる生産システムと肯定の特性の分析：田辺文也, 山口勇吉, **48**.
JCO 臨界事故に係わる作業実態の分析：田辺文也, 山口勇吉, **52**.
- 技術報告 **341**. ^{24}Na の体内放射能測定とモニタリングデータを用いたJCO臨界事故における従業員等の被ばく線量評価：
水庭春美, 栗原 治, 吉田忠義, 井崎賢二, 辻村憲雄, 百瀬琢磨, 小林博英, 林 直美, 宮部賢次郎,
野田喜美雄, 金盛正至, 篠原邦彦, **56**.
- 研究論文 **1104**. 核兵器国における保障措置の現状を踏まえた保障措置の普遍化方策：坪井 裕, 神田啓治, **67**.
1105. 溶融アルミニウム滴の破碎現象：杉山憲一郎, 松場賢一, **83**.
- 英文論文誌 (Vol.38, No.1) Abstracts：**90**.

No.2 (2月号)

- 巻頭言 原子力が地球温暖化対策の切り札となるには：友野勝也, **93**.
- 会告 「第33回日本原子力学会賞」の決定：**94**.
- 特別寄稿 伊藤俊夫元会長のご逝去を悼んで：丹下 理, **95**.
21世紀の電力供給における原子力と学会への思い：山崎吉秀, **96**.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：**99**.
- 解説 核融合実験炉 ITER の建設に向けて：下村安夫, **109**.
- 連載講座 原子炉物理⑩ 非均質格子の取扱：平川直弘, 岩崎智彦, **114**.
- 研究室紹介 九州大学・古屋研究室：**124**.
- 原子力関連企業の紹介 日立エンジニアリング：**126**.
- 談話室 原子力発電と COP6：佐野清一, **129**.
- 会議報告 原子力機器の構造健全性に関する第3回ワークショップ：矢川元基, 菊池正紀, **130**.
放射線物理, 粒子輸送シミュレーションおよびその応用に用いる先端的モンテカルロ法に関する国際会議：
高田 弘, 波戸芳仁, 澤村秀範, **132**.
- 熱気球 自由メモ帳 観覧車：**134**.
- 学術会議便り：**135**.
- 会報：原子力関係会議案内, 各専門委報告, 新役員候補推薦のお願い, 主要会務, 編集後記, 他：**136**.
- ショート・ノート ステンレス鋼の液体 PbBi 合金中での腐食挙動：高橋和雄, 床井博見, **145**.
- 研究論文 **1106**. 核融合装置真空容器用板厚貫通電子ビーム溶接継手の強度：鈴木隆之, 宇佐美三郎, 木村孝江, 小泉興一,
中平昌隆, 高橋弘行, **149**.
1107. カプセルゲージおよびグレーティングファイバの照射下ひずみ測定への応用：加治芳行, 松井義典, 北 智士,
井手広史, 塚田 隆, 辻 宏和, **160**.
1108. イメージングプレートの輝尽発光特性に関する理論解析：岸本 牧, 中村龍也, 籾 健太郎, 坂佐井 馨,
片桐政樹, 高橋浩之, 中沢正治, **168**.

英文論文誌 (Vol.38, No2) Abstracts : 182.
「2001 春の年会」プログラム (武蔵工業大学)

No.3 (3月号)

- 巻頭言 高レベル放射性廃棄物の最終処分に向けて：外門一直，185.
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：186.
解説 原子力システム開発の将来像：「原子力システム設計」研究専門委員会，194.
総説 [105] ナトリウム燃焼実験と火災事故例の概観および安全防護への考察：宮 慶次，206.
談話室 モンテカルロ臨界安全教育プログラム—臨界事故を受けて：桜井 淳，植木紘太郎，内藤淑孝，219.
会議報告 第5回確率論的安全評価と管理に関する国際会議：古田一雄，松岡 猛，渡辺憲夫，古橋和己，谷口武俊，221.
第1回先端基礎研究国際シンポジウム「中性子散乱研究の進歩」：森井幸生，224.
アジア原子力協力を議論した9カ国閣僚級会合 (FNCA 報告)：町 末男，226.
2000年核データ研究会報告：山野直樹，228
(第1回)平成12年度韓国派遣学生レポート：231.
熱気球 自由メモ帳 意見交換の広場：236. ， 1.
連載講座 原子炉物理⑩ 代表的な原子炉と炉物理：平川直弘，岩崎智彦，237.
会報 原子力関係会議案内，各専門委報告，主要会務，編集後記，他：251.
「第33回日本原子力学会賞」受賞概要：263.
「第39回原子力総合シンポジウム」プログラム：271.
研究論文 1109.レーザー励起広帯域表面波用いた微小き裂サイジング手法：落合 誠，仏円 隆，三浦崇広，黒田英彦，
空本誠喜，兼本 茂，275.
1110.再処理工程シミュレーションコードの開発と溶媒劣化物発生量の評価および廃棄物低減方策：塚田毅志，高橋
恵樹，282
英文論文誌 (Vol.38, No3) Abstracts : 299.

No.4 (4月号)

- 巻頭言 今ふたたび「正論のすすめ」：藤家洋一，303.
会告 平成13年度新役員候補者投票のご通知：304.
「2001年秋の大会」研究発表募集：305.
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：309.
お知らせ 日本原子力学会倫理規定案について—代表的なご意見とそれに対する回答：321.
将来構想検討会の状況報告：328.
「論文査読は1回のみ」のシステムに変わります：330.
解説 原子力発電プラント・セーフティサポートシステムの開発：若林二郎，大賀幸治，永井哲郎，今瀬正博，園田幸夫，
331.
資料 展示教育のための原子炉施設の基本構想；展示教育用原子炉の実現に向けての問題点：村田貴司，吉舖信也，
中川晴夫，342.
談話室 モンテカルロ計算による核データ信頼性評価用ベンチマーク実験解析の経緯：桜井 淳，植木紘太郎，351.
COP6会議におけるYoung Generationの活動：植松眞理・マリアンヌ，353.
会議報告 保険物理・環境科学部会共催「放射性廃棄物処分と安全評価」研究会：福井正美，356
原子炉熱流動と完全に関する第2回日韓シンポジウム：内藤正則，芹澤昭示，359.
原子力関連企業の紹介 三菱電機：362.
熱気球 自由メモ帳 意見交換の広場：365.
連載講座 原子炉物理⑪ 代表的な原子炉と炉物理：平川直弘，岩崎智彦，367.
新刊紹介 : 376.
会報 原子力関係会議案内，各専門委報告，主要会務，編集後記，部会入会のすすめ，他：377.
1111. 確率論的破壊力学に基づく压力容器信頼性解析コードの開発：柴田勝之，加藤大輔，李 銀生，387.
1112. 14MeV 加速器中性子直接問い合わせ法による固化廃棄体中核分裂性物質の高感度検出：春山満夫，荒 克之，
高瀬 操，397.
英文論文誌 (Vol.38, No4) Abstracts : 405.
投稿規程・投稿の手引：(後付)
入会案内：(後付)

No.5 (5月号)

- 巻頭言 原子力におけるブレークスルー：鳥井弘之，407.
- 会告 「第43回通常総会」のご通知：408.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：409.
- 講演 第4世代の原子力発電：James A LAKE，422.
- 解説 光子の線量概念と実効線量への換算係数との関係；ICRP90年勧告の実施にあたって：平山英夫，427.
- 連載講座 核データ①核データとは何か？：吉田 正，大澤孝明，瑞慶寛 篤，深堀智生，馬場 護，433.
- 会議報告 「生体および環境試料中アクチノイド長半減期核種の低レベル測定」に関する第8回国際会議：住谷秀一，片桐裕美，飛田和則，446.
- 談話室 インドネシアでのEGS4講習会：平山英夫，波戸芳仁，450.
- YGNによる議論の場 魅力的な将来像の創造：456.
- 熱気球 自由メモ帳 意見交換の広場：452.
- 新刊紹介：454.
- 新技術・新商品紹介 チームパフォーマンス向上のための訓練プログラムTIPS：藤家美奈子，456.
- 「2001年春の年会」報告と提案：457.
- 会報 原子力関係会議案内，各専門委報告，主要会務，編集後記，他：475.
- 資料 過去2，3年の高等学校の教科書における原子力・放射線関係の記述の傾向：松浦辰男，飯利雄一，高木伸司，関本順子，487.
- 技術報告 342.原子炉施設の廃止措置計画策定および管理のための計算システムの開発；東海発電所の解体作業に関するプロジェクト管理データの試算：柳原 敏，大島総一郎，助川武則，田辺憲男，高谷純一，木内喜雄，横田修一，493.
- 研究論文 1113.軽水炉でのプルトニウム有効利用に向けた高減速MOX炉心：濱本和子，金川 孝，平岩宏司，桜田光一，森脇正直，青山肇男，山本 徹，上路正雄，503.
- 1114.原子力技術の利用に対する社会的受容性の確保；ISO14001類似の制度的枠組みを適用することの必要性：倉田健児，神田啓治，518.
- 英文論文誌 (Vol.38, No5) Abstracts：530

No.6 (6月号)

- 巻頭言 専門家の役割を思う：松原純子，533.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：534.
- 座談会 「原子力学会誌はどうあるべきか」ジャーナリスト3氏に聞く：546.
- 講演 21世紀の原子力に求められるもの：G.KESSLER，549.
- 解説 原子力安全白書のあらまし：菊地 望，559.
- 連載講座 核データ②原子核物理入門：福島昌宏，宇都野 穰，肥山詠美子，渡辺幸信，千葉 敏，565.
- 会議報告 第4回放射線事故対応のための医学的基礎に関する国際会議：鈴木 元，578.
- 談話室 “Double contingency principle” “はどのように和訳すればよいのか？”：小室雄一，580.
- JOC事故の沈殿槽溶液試料の核分裂生成物分析結果を見て：梅澤弘一，582.
- 誤情報過剰の対策：更田豊治郎，584.
- ITER共同設計チーム便りーガルヒンク共同設計サイトから：飯田浩正，586.
- YGNによる議論の場 将来の電源構成：588.
- 新刊紹介 591.
- 会報 原子力関係会議案内，各専門委報告，夏期セミナー，主要会務，編集後記，他：592.
- 技術報告 343. 高温ガス炉ガスタービンシステム用コンパクト再生熱交換器の開発，(I)；超細密オフセットフィンを試作：石山新太郎，武藤 康，谷平正典，緒方 寛，上戸好美，猪狩敏秀，603.
- 研究論文 1115.FBR蒸気発生器水リークのアクティブ音響検出法の開発；水中気泡検出による模擬実験：熊谷博道，吉田和生，木下 泉，612.
- 英文論文誌 (Vol.38, No6) Abstracts：621.
- 「第43回通常総会」議事原案：(後付)

No.7 (7月号)

- 巻頭言 「他山の石」の活用を：宮本俊樹，625.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：626.
- 解説 ブルガリアの原子力：改善，閉鎖，新規建設計画，他；技術交流で知り得た情報から：博田忠邦，640.
- 総説 [106] 原発問題の社会学的考察；〈現代〉を問い直すためのノート：佐田 務，646.
- 連載講座 核データ③核データの測定と応用：馬場 護，石橋健二，久保野 茂，原田秀郎，高野秀機，池田裕二郎，古林 徹，尾川浩一，山口恭弘，川合將義，655.
- 「原子力学生夏期国際交流事業」第12回派遣学生・レポート：668.
- 会議報告 2001年米国原子力学会/保健物理学会学生会議：山路哲史，673.
- 談話室 核不拡散シンポジウムを終えて：大井 昇，674.
(新刊紹介)，675.
フランス再処理技術の誕生(その1)：河田東海夫，676.
- 熱気球 自由メモ帳 意見交換の広場：679.
- YGNによる会議報告 IYNC2002 運営委員会報告：680. ; 1.
- 新規「永年会員」よりの“ひとこと”：682.
- 編集・企画の仕事をしたえて：687.
- 2001年度役員紹介・委員一覧：690.
- 会報 原子力関係会議案内，各専門委報告，総会報告，主要会務，編集後記，他：693.
- 技術報告 344. 高温ガス炉ガスタービンシステム用コンパクト再生熱交換器の開発，(II)；超細密オフセットフィン伝熱流特性試験：石山新太郎，武藤 康，緒方 寛，上戸好美，708.
345. 結晶性リン酸ジルコニウムによるセシウムの固定化技術：中山 享，佐々木啓子，伊藤克彦，718.
- 英文論文誌 (Vol.38, No7) Abstracts：724.
「2001年秋の大会」プログラム(北海道大学)

No.8 (8月号)

- 巻頭言 裾野を広げよう—21世紀型の学会をめざして：伊藤靖彦，729.
- 会告 第34回(平成13年度)「日本原子力学会賞」受賞候補者推薦の募集：730.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：731.
- 解説 大強度陽子加速器プロジェクト：永宮正治，740.
低線量の放射能影響の実態：松原純子，744.
原子力の社会的不安要因としての信用破壊と修復：傍島 眞，754.
- 連載講座 核データ④核データの応用と今後の展望：吉田 正，井頭政之，大崎敏郎，辻 政俊，大石晃嗣，千葉 敏，仁井田浩二，長谷川 明，761.
- 私の主張 電力自由化と原子力：白石重明，775.
- 国際原子力学会協議会声明「地球規模での二酸化炭素放出抑制について」：781.
- 会議報告 第13回放射能計量学とその応用に関する国際会議：宮原 洋，784.
- 談話室 ハワード・ベーカー新駐日米国大使：河田東海夫，786.
- 原子力施設訪問 東大原子炉「弥生」臨界30周年を迎えて：788.
- 熱気球 自由メモ帳 意見交換の広場：791.
- YGNによる議論の場 審議会と市民の声：792
- 2001年度編集委員会紹介：794.
- 学会誌モニター制度のお知らせ：796.
- 会報 原子力関係会議案内，各専門委報告，人事公募，主要会務，編集後記，他：797.
- 総説 [107] 二国間原子力協力協定およびそれに基づく国籍管理の現状と課題：坪井 裕，神田啓治，806.
- 研究論文 1116.インコネル600中の重水素—水素対向透過：武田哲明，岩月 仁，823.
1117. Wavelet変換によるPWR実機の減速材温度係数評価：勝又陵介，島津洋一郎，830.
- 英文論文誌 (Vol.38, No8) Abstracts：836.
- 原子力学会倫理規定の制定にあたって(憲章，行動の手引き)：(後付)

No.9 (9月号)

- 巻頭言 「前向き」の原子力を：岡 芳明，841.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報：842.
解 説 化石エネルギーの現状と将来展望：内野健一，852.
 高速増殖炉サイクルの実用化戦略調査研究—フェーズ I 成果の概要—：野田 宏，可児吉男，858.
 原子力安全委員会の国際活動：白石重明，862.
会議報告 第2回「モンテカルロシミュレーション」研究会：桜井 淳，長家康展，山本俊弘，藪田尚宏，866.
原子力施設訪問 私達にも原子炉の運転が出来ました！—学会事務局職員の近畿大学原子炉実験研修会体験取材—：868.
談 話 室 フランス再処理技術の誕生（その2）—ゴールドシュミットの回想とシーボークの日記—：河田東海夫，871.
熱気球 自由メモ帳 意見交換の広場：874.
YGNによる議論の場 分離核変換って何のためにやるの？：876
2001年度企画委員会紹介・2001年度編集委員会諮問委員紹介：878.
From Editors：880.
 平成12年度原子力（核）工学関連専攻大学院博士課程卒業論文および論文博士の題目：882.
会 報 原子力関係会議案内，専門委報告，人事公募，主要会務，編集後記，他：884.
資 料 電子式原子力PAアンケート調査におけるリスク認知の分析：中川晴夫，892.
技術報告 347.PWR用48GWdt実用燃料照射確証試験：大久保忠恒，佃 由晃，上村勝一郎，村井健志，後藤 健，
 土井荘一，千田康英，高阪裕二，木戸俊哉，村田 保，谷口良則，天野英俊，金井塚文雄，906.
研究論文 1118.クリーン開発メカニズムを活用した中国への原子力導入方策の検討：池本一郎，神田啓治，916.
 1119.緩衝材の熱伝導率の測定と推算式の評価：Ould Lahoucine CHERIF，坂下弘人，熊田俊明，924.
英文論文誌 (Vol.38, No9) Abstracts：931.

No.10(10月号)

巻 頭 言 21世紀における原子力開発利用の進め方：依田 直，935.
会 告 「2002年春の年会」研究発表募集：936.
N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報：940.
座 談 会 プルサーマルの安全性を考える—科学的，技術的見地から—：岡 芳明，小林圭二，藤田祐幸，古屋廣高，米澤章子，
 近藤吉明，950.
解 説 原子炉を用いた悪性脳腫瘍の治療—中性子捕捉療法：村松 明，山本哲哉，柴田 靖，能勢忠男，山本和喜，
 熊田博明，鳥居義也，957.
 原子力による水素の生産：堀 雅夫，964.
談 話 室 フランス再処理技術の誕生（その3）：河田東海夫，969.
 現状打破の具体策なしでは世界が困る：古川和男，加藤義夫，972.
会議報告 第1回放射線安全および検出技術に関する国際シンポジウム：石橋健二，中村尚司，974.
 第4回中性子ラジオグラフィ国際会議—21世紀に向けての中性子画像取得技術の展開：小林久夫，976.
YGNによる議論の場 より適切な指標は何？：978
From Editors・倫理委員会委員募集：981.
 学会誌モニターからのご意見（8月号）：983.
国際原子力学会協議会報告：985.
熱気球 自由メモ帳 観覧車・意見交換の広場：986.
会 報 原子力関係会議案内，各専門委報告，人事公募，主要会務，編集後記，他：988.
総 説 [108]超高強度レーザーを用いた放射線の発生；「レーザー核工学」の発展を期待して：阪部周二，飯田敏行，
 高橋亮人，996.
資 料 流れ方向流力振動に関する対称渦放出と後流周波数の関係：池田孝志，1005.
技術報告 348.海水ウラン捕集のコスト評価と実用化に向けての技術課題：須郷高信，玉田正男，瀬口忠男，清水隆夫，
 魚谷正樹，鹿島遼一，1010.
 349.国際原子力事象評価尺度（INES）情報に基づく原子力事象の傾向と特徴：渡辺憲夫，1017.
研究論文 1120.ボイド反応度フィードバックを模擬した炉心および領域安定性試験設備 SURIUS の開発と安定性評価：
 古谷正裕，久保雄一郎，稲田文夫，安尾 明，1027.
英文論文誌 (Vol.38, No10) Abstracts：1039.
入会案内：(後付)

No.11(11月号)

巻 頭 言 原子力安全と学会誌改革—終わらない取り組みへ：北村正晴，1043.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報：1044.

特 集 革新的小型炉の開発：加藤恭義，落合政昭，大塚雅哉，藤村幸治，日置秀明，平岩宏司，有富正憲，牧原義明，関本 博，国富一彦，片西昌司，塩沢周策，加藤之貴，仁田脇武志，高木直行，梅津陽一郎，坂下嘉章，1054.

原子力施設訪問 九州電力㈱玄海原子力発電所改修工事を見学取材：1100.

学会誌モニターからのご意見 (9月号)：1103.

「2001年秋の大会」報告(企画委員会)：1105.

夏期セミナー報告：1109.

YGNによる議論の場 どんな原子力システムが望まれる?：1114.

新刊紹介：1116.

From Editors：1117.

会 報 原子力関係会議案内，各専門委報告，人事公募，主要会務，編集後記，他：1118.

ショート・ノート 稠密バンドル燃料の熱水力基礎試験；ロッド曲がりの影響：白川健悦，師岡慎一，山本 泰，1127.

資 料 OECD加盟国における原子力分野での大学教育と企業内教育：山形浩史，1129.

技術報告 350.高温ガス炉高温発電システム用コンパクト熱交換器の性能に及ぼす流量アンバランスの影響：石山新太郎，武藤 康，緒方 寛，山田誠也，1136.

351.核破砕中性子源用冷減速材容器の設計開発；流動分布の測定および熱流動解析評価：麻生智一，神永雅紀，寺田敦彦，日野竜太郎，1149.

研究論文 1121.高温ガス炉用黒鉛材料の応力均配下における破壊靱性：石山新太郎，衛藤基邦，1159.

英文論文誌 (Vol.38, No11) Abstracts：1167.

No.12(12月号)

巻 頭 言 「予防原則」と原子力発電：佐和隆光，1171.

会 告 平成14・15年度評議員選挙に係る支部，部会等の推薦候補について：1172.

標準委員会：意見受付公告について：1174.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報：1175.

解 説 計算科学とバーチャル実証試験—学振未来開拓ADVENTUREプロジェクトが提示する近未来：吉村 忍，1185.

放射線防護・医学分野で用いられる放射性核種の崩壊・放射線データ：遠藤 章，1191.

会 議 報 告 大洗FBRサイクルシンポジウム：丹羽 元，1195.

第10回応用電磁機械工学に関する国際会議：上坂 充，1197.

ANS/AESJ共催 安全目標と安全文化に関するトピカルミーティング：近藤駿介，1199.

From Editors：1201.

YGNによる議論の場 ブルサーマルは何処に?：1202.

学会誌モニターからのご意見 (10月号)：1204.

会 報 チェイン・ディスカッション，原子力関係会議案内，各専門委報告，主要会務，編集後記，他：1206.

核融合エネルギー連合講演会一般講演(ポスター発表) 募集：1214.

ショート・ノート 溶解槽オフガスからヨウ素を分別回収するための温度スイング吸着プロセスの開発：竹下健二，中野義夫，1216.

研究論文 1122.核融合炉用に開発されたプラズマ溶射アルミナ電気絶縁膜の繰返し衝撃試験：金成守康，阿部哲也，古作泰雄，丹澤貞光，廣木成治，1228.

1123.アミド系抽出剤を用いたTRU暫定備蓄を伴う使用済み核燃料処理プロセス：館盛勝一，鈴木伸一，佐々木祐二，1235.

英文論文誌 (Vol.38, No12) Abstracts：1242.

総 目 次・著者名索引 (Vol.43, Nos.1~12)

日本原子力学会誌 総目次 Vol. 44, Nos. 1~12 (2002)

NIHON-GENSHIRYOKU-GAKKAISHI (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

No. 1 (1月号)

(末尾の太字は通巻ページ数です)

- 巻頭言 専門家の常識と社会の認識：加納時男, 1.
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：2.
特集 ITER 工学設計活動報告：森 雅弘, 莊司昭朗, 荒木政則, 斎藤啓自, 仙田郁夫, 大森順次, 佐藤真一, 井上多加志, 大野 勇, 片岡敬博, 島 裕昭, 関 昌弘, 辻 博史, 加藤 崇, 奥野 清, 榎枝幹男, 秋場真人, 渡邊和弘, 坂本慶司, 今井 剛, 佐藤和義, 柴沼 清, 中平昌隆, 角館 聡, 山西敏彦, 西 正孝, 西谷健夫, 河西 敏, 杉江達夫, 丸尾 毅, 16.
連載講座 加速器・ビーム科学① 加速器・ビーム科学の新しい展開を目指して：的場 優, 柴田徳思, 90.
資料 「シグマ委員会」における核データ収集・評価活動—1999, 2000年度の作業報告：「シグマ」特別専門委員会, 106.
談話室 第17回「核融合炉」夏期セミナー：第17回核融合炉夏期セミナー実行委員会, 115.
会議報告 「中小型炉の現状と展望」国際会議：澤田哲生, 117.
平成13年度(第2回)韓国派遣学生レポート：金留正人, 119.
From Editors：121.
学会誌モニターからのご意見(11月号)：124.
英文論文誌(Vol.39, No.1) Abstracts：126.
会 報 原子力関係会議案内, 各専門委報告, 主要会務, 編集後記, 他：129.

No. 2 (2月号)

- 巻頭言 科学者、技術者の責務としての Communications：井口道生, 137.
会 告 平成14・15年度評議員選挙, 「第34回日本原子力学会賞」の決定：138.
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：142.
特集 チェルノブイリ事故から15年—私たちが学んだこと：佐藤一男, 安藤正樹, 平野雅司, 明比道夫, 藤井晴雄, 石川秀高, 長瀧 重信, 山下俊一, 杉浦神之, 松原純子, 炉物理部会, 原子力発電部会, ヒューマン・マシン・システム研究部会, 154.
From Editors
会議報告 第5回日本—台湾「原子炉水化学」セミナー・第1回日本—韓国「原子炉水化学と腐食」セミナー：内田俊介, 石樽顕吉, 202.
シンポジウム「原子力の人材養成と教育の在り方」：木下智見, 204.
談話室 原子力潜水艦解体に伴う環境問題セミナーについて：神山弘章, 206.
完全自動運転の超安全・超小型高速炉 RAPID-L：神戸 満, 208.
学会誌モニターからのご意見(12月号)：210.
熱気球 自由メモ帳 意見交換の広場：211.
新刊紹介：212.
英文論文誌(Vol.39, No.2) Abstracts：214.
会 報 原子力関係会議案内, 専門委員会報告, 専門委員会の新設, 平成14年度新役員候補者推薦, 主要会務, 編集後記, 他：217.
「2002年春の年会」プログラム(神戸商船大学)

No. 3 (3月号)

- 巻頭言 市場活力という妄言：西部 邁, 223.
会 告 「和文論文誌」の創刊と今後の「日本原子力学会誌」の新しい飛躍にあたり：住田健二, 224.
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：226.
特集 プルサーマル—その意義と安全性：藤家洋一, 竹田敏一, 佐治悦郎, 石島清見, 市川達生, 古屋廣高, 住田健二, 238.
連載講座 加速器・ビーム科学② 加速器入門：鎌田 進, 258.
原子力施設訪問 核燃料サイクル開発機構東濃地科学センター訪問記：平野雅美, 272.
会議報告 アジアにおける原子力利用の新しい展開と地域協力の役割—第2回アジア原子力協力フォーラム(FNCA)大臣級会合によせて：町 末男, 275.
ACTINIDES-2001国際会議：小川 徹, 278.

平成13年度日本原子力研究所製化報告会「革新的技術と安全性研究」—安全で快適な社会基盤を築くために：落合政昭, 280.

談話室 プルサーマルの意義と対策：豊田正敏, 282.

BWR 3次元プラントシュミレータの国際ベンチマーク：堀田亮年, 284.

学会誌モニターからのご意見(1月号)：286.

新刊紹介：288.

英文論文誌(Vol.39, No. 3)・和文論文誌(Vol.1, No.1)抄録：289.

会報 原子力関係会議案内, 各専門委報告, 主要会務, 編集後記, 他：294.

「第4回核融合エネルギー連合講演会」プログラム：(後付)

「第34回日本原子力学会賞」受賞概要：(後付)

「第40回原子力総合シンポジウム」プログラム：(後付)

No. 4 (4月号)

巻頭言 国際情勢の変化と日本のエネルギー：舩添要一, 301.

会告 平成14年度新役員候補者投票のご通知：302.

「2002年秋の大会」研究発表募集：303.

標準委員会意見受付公告について：307.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：308.

特集 原子力発電所の保守・点検：乙葉啓一, 横尾智之, 藤森昭彦, 浦野隆嗣, 竹内公人, 田口耕世, 宮口仁一, 川畑淳一, 石井朝行, 富永昌平, 森中郁雄, 317.

連載講座 加速器・ビーム科学③ 加速器の利用と波及効果(1) 研究, 材料, 物性, 原子力, 産業応用へのビーム利用：今西信嗣, 田川精一, 344.

海外便り 経済協力開発機構・原子力機関(OECD/NEA)：須山賢也, 355.

会議報告 分離・核変換研究会：横尾 健, 356.

第1回「再処理・リサイクル部会」冬のセミナー：天野 治, 土尻 滋, 358.

第8回地層中におけるアクニチドと核分裂生成物の化学および移行挙動に関する国際会議：出光一哉, 360.

研究室紹介 北海道大学 高橋・大貫研究室：362.

観覧車 会長・理事の手帳から「ふげん」発電所への思い：井上 隆, 364.

学会誌モニターからのご意見(2月号)：365.

英文論文誌(Vol.39, No. 4) Abstracts：366.

会報 原子力関係会議案内, 各専門委報告, 主要会務, 編集後記, 他：372.

投稿規程：(後付)

入会案内：(後付)

No. 5 (5月号)

巻頭言 日本は責任をはたせるか—地球温暖化問題：沢 邦彦, 379.

会告 「第44回通常総会」のご通知：380.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：381.

解説 溶融塩高速炉の検討：久保田健一, 此村 守, 393.

原子力と新エネルギーに関するイメージ調査：高橋玲子, 宮沢龍雄, 399.

連載講座 加速器・ビーム科学④ 加速器の利用と波及効果(2) 医学応用(がん治療)へのビーム利用：河内清光, 407.

研究室紹介 核燃料サイクル開発機構東海事業所 環境保全・研究開発センター処分研究部：418.

会議報告 「トリチウム安全理工学」専門研究会：福井正美, 420.

第25回放射性廃棄物管理の科学的基礎に関する国際会議：出光一哉, 422.

「2002年春の年会」現地委員会報告・学生企画ポスターセッション報告：424.

YGNによる議論の場 YGN-JAPAN 新体制と活動状況：426.

学会誌モニターからのご意見(3月号)：428.

熱気球 自由メモ帳 意見交換の広場 From Editors：430.

英文論文誌(Vol. 39, No. 5) Abstracts：431.

第4回核融合エネルギー総合シンポジウム 一般講演(ポスター発表プログラム)：434.

会報 原子力関係会議案内, 各専門委報告, 主要会務, 編集後記, 他：443.

No. 6 (6月号)

- 巻頭言 環境問題専門家の立場から見た原子力—原子力こそ環境保護の切り札：ブルーノ・コンビ, 451.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報 From Editors, 452.
- 解説 「核燃料技術高度化の現状と展望」シリーズ① 高速炉 MOX 燃料の開発状況と今後の見通し：安部智之, 浅賀健男, 466.
ロシア余剰核兵器解体プルトニウム処分協カーバイバック MOX 燃料を用いた燃焼処分技術の現状：舟田敏雄, 新谷聖法, 473.
- 私の研究から Beauty of Singularity—境界要素法に魅せられて20年：板垣正文, 481.
- 海外便り マサチューセッツ工科大学原子力工学科：岡野 靖, 485.
- 会議報告 OECD/NEA 「加速器，ターゲットおよび照射施設の遮蔽」第6回専門家会議：林 克己, 486.
第6回トリウム科学技術国際会議：西 正孝, 山西敏彦, 488.
- 研究室紹介 核燃料サイクル開発機構大洗工学センター 要素技術開発部新技術開発試験グループ：490.
- 談話室 向坊隆先生と原子力平和利用 3 原則：小沼通二, 492.
- YGN による議論の場 YGN 企画アンケート結果を踏まえた提言：494.
- 学会誌モニターからのご意見 (4月号)：497.
- 英文論文誌 (Vol. 39, No. 6), 和文論文誌 (Vol. 1, No. 2) 抄録：499.
- 会報 原子力関係会議案内, 各専門委報告, 夏期セミナー, 評議員, 主要会務, 編集後記, 他：505.
「第44回通常総会」議事原案：(後付)

No. 7 (7月号)

- 巻頭言 ますます重要になる原子力学会の役割：成合英樹, 519.
- 会告 第35回(平成14年度)「日本原子力学会賞」受賞候補者推薦の募集 標準委員会「意見受付公告について」：520.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：522.
- 解説 「核燃料技術高度化の現状と展望」シリーズ② 軽水炉燃料技術の高度化：田辺 朗, 穴田博之, 小林慎一, 木下幹康, 土井 莊一, 中村仁一,
更田豊志, 永瀬文久, 鈴木元衛, 上塚 寛, 536.
- 講演 21世紀の我が国原子力の課題と展望：末次克彦, 544.
何をしたか, 何をしようとしているか—新体制, 1年の歩み—：松浦祥次郎, 547.
- From Editors
- 会議報告 ND 2001：科学と技術のための核データ国際会議：長谷川 明, 井頭政之, 551.
- 談話室 軽水炉等による低温水素製造と原子炉の高効率化：福島公親, 554.
「もんじゅ」の温度計鞘の設計に関して思う「ユーザーフレンドリーな設計を」：能澤正雄, 556.
- YGN のページ IYNC 2002に参加して：558.
- 学会誌モニターからのご意見 (5月号)：560.
- 編集・企画の仕事了えて：562.
- 2002年度役員紹介：編集・企画委員一覧, 564.
- 熱気球 自由メモ帳 意見交換の広場：567.
- 英文論文誌 (Vol. 39, No. 7) 抄録：568.
- 会報 原子力関係会議案内, 総会報告, 各専門委報告, 主要会務, 編集後記, 他：570.
「2002年秋の大会」プログラム (いわき明星大学)

No. 8 (8月号)

- 巻頭言 認識の転換：松本史朗, 579.
- 会告 標準委員会「意見受付公告について」：580.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：581.
- 解説 「核燃料技術高度化の現状と展望」シリーズ③先進的核燃料リサイクル技術開発：有江和夫, 安部智之, 荒井康夫, 593.
高温高性能軽水冷却原子力発電プラント貫流型超臨界圧軽水冷却原子炉の概念：岡 芳明, 越塚誠一, 600.
- 連載講座 加速器・ビーム科学⑤加速器の汎用性をめざして—FFAG 加速器の開発と応用：森 義治, 町田慎二, 606.
- 会議報告 第10回原子力工学国際会議：武田哲明, 618.
国際ワークショップ「核融合炉材料中における水素同位体挙動」：田辺哲朗, 620.
第5回核破砕材料技術国際ワークショップ：菊地賢司, 622.
- YGN のページ 放射線ホルミシス効果：624.

観覧車 会長・理事の手帳から「会長退任の弁」：住田健二, 626.
学会誌モニターからのご意見(6月号) From Editors : 628.
2002年度編集委員・諮問委員紹介 : 630.
新刊紹介 : 632.
英文論文誌 (Vol. 39, No. 8) 抄録 : 633.
会報 原子力関係会議案内, 各専門委報告, 主要会務, 編集後記, 他 : 636.

No. 9 (9月号)

巻頭言 電力自由化と原子力発電：矢島正之, 643.
東電問題について：会長 成合英樹, 644.
特別寄稿 わが国原子力の父, 向坊 隆先生のご逝去を悼む：山脇道夫, 645.
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報 : 646.
解説 「核燃料技術高度化の現状と展望」シリーズ④ 新型核燃料技術開発：沢 和弘, 山下利之, 湊 和生, 荒井康夫, 小無健司, 657.
連載講座 ヒューマンファクター① ヒューマンファクターとは：古田一雄, 高野研一, 663.
談話室 ピュレックス法はいかにして生まれたか？：河田東海夫, 674.
会議報告 分離核変換技術開発に関する東工大/サイクル機構共催セミナー 新世紀の核燃料サイクルの開発を目指して：小澤正基, 池田泰久, 677.
講演会「長寿命核種の核変換のための新分離プロセスの創成」：小澤正基, 679.
2002年度企画委員会 : 681.
学会誌モニターご意見の集計結果と今後の改善について：編集委員会, 682.
学会誌モニターからのご意見(7月号) From Editors : 684.
平成13年度原子力(核)工学関連専攻大学院博士論文の題目一覧 : 686.
英文論文誌 (Vol. 39, No. 9) 抄録・和文論文誌 (Vol. 1, No. 3) 抄録 : 689.
会報 原子力関係会議案内, 専門委報告, 人事公募, 主要会務, 編集後記, 新入会員, 他 : 693.

No. 10 (10月号)

巻頭言 これからの原子力と原子力二法人統合問題：齋藤伸三, 703.
会告 「2003年春の年会」研究発表募集 : 704.
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報 : 709.
連載講座 ヒューマンファクター② 組織管理および集団作業における原則：高野研一, 八木絵香, 河野龍太郎, 藤家美奈子, 古濱 寛, 720.
総合講演「メディアと原子力のヒューマンコミュニケーション」：ヒューマン・マシン・システム研究部会, 733.
私の研究から 原子力施設の廃止措置計画の策定および管理システムの開発：柳原 敏, 734.
会議報告 第9回核廃棄物等処理・処分に関する国際会議：天野 治 From Editors : 738.
第4世代原子力システム開発国際フォーラム：松井一秋, 740.
第11回原子炉ドシメトリー国際シンポジウム：小林捷平, 林 克己, 742.
談話室 国際協力による原子力安全文化のアジア諸国への移転：生田優子, 蔀 肇, 佐伯正克, 744.
「原子力と日本病」—前スイス大使著書—について考えること：神山弘章, 746.
「日米欧原子力学生国際交流事業」第13回派遣学生・レポート : 748.
学会誌モニターからのご意見(8月号) : 752.
英文論文誌 (Vol. 39, No. 10) 抄録 : 754.
会報 原子力関係会議案内, 専門委報告, 人事公募, 主要会務, 編集後記, 他 : 757.
入会案内

No. 11 (11月号)

会告 「2003年春の年会」研究発表募集(再) : 765.
巻頭言 グローバル化と原子力の未来：Gail H. Marcus, 766.
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報 From Editors : 768.
座談会 原子力発電点検不正問題を考える—原因, 再発防止と学会の役割：近藤駿介, 竹内敬二, 谷口武俊, 牧野 昇, 北村正晴, 776.
「2002年秋の大会」学生連絡会主催 学生企画ポスターセッション : 783.

報 告 浜岡原子力発電所 1 号機 配管破断事故：大野裕司, 仲神元順, 林 晴久, 市川義浩, 784.
東電問題に対する学会活動について：成合英樹, 790.
原子力施設訪問 原子力発電所での燃料の一生を見る—四国電力(株)伊方発電所で原子燃料のすべてを見てきました：河田朱実,
田村温子, 792.
連載講座 ヒューマンファクター③ 教訓の反映および教育訓練：吉村誠一, 吉村貞紀, 長谷川尚子, 宮北幸次, 木村希一, 796.
2002年夏期セミナー報告：810.
学会誌モニターからのご意見(9月号)：814.
熱気球 自由メモ帳 意見交換の広場：815.
新刊紹介：816.
英文論文誌(Vol. 39, No. 11)抄録：817.
会 報 原子力関係会議案内, 専門委報告, 人事公募, 主要会務, 編集後記, 他：820.

No. 12 (12月号)

巻 頭 言 原発問題と原子力の通時態：宮 健三, 829.
N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報：830.
特 集 高温ガス炉の新展開：関本 博, 土江保男, 国富一彦, 塩沢周策, 早川 均, 小貫 薫, 稲垣嘉之, 839.
解 説 シュラウド問題における原子力発電所の安全性：成合英樹, 前川 治, 小林英男, 班目春樹, 867.
原子力における逆問題—古くて新しい問題解決のアプローチ. : 板垣正文, 栗原研一, 873.
私の研究から 新しい核熱エネルギー変換技術を求めて—カルノーサイクルからの脱却：石山新太郎, 879.
連載講座 ヒューマンファクター④ システム設計の原則：氏田博士, 藤田祐志, 古田一雄, 882.
談 話 室 「すずらん」—浮遊式放射性液体廃棄物処理施設：神山弘章, 895.
会議報告 第13回環太平洋原子力国際会議：岡 芳明, 896.
学会誌モニターからのご意見(10月号)：898.
英文論文誌(Vol. 39, No. 12)抄録, 和文論文誌(Vol. 1, No. 4)：900.
会 報 原子力関係会議案内, 専門委報告, 人事公募, 主要会務, 編集後記, From Editors 他：905.
総目次・著者名索引 (Vol.44, No. 1~12)：後付.

著者名索引 (50音順)

(16[1]は通巻16頁, 1月号を示す)

あ	秋場 真人 16[1]	栗原 研一 873[12]	長谷川 尚子 796[11]
	明比 道夫 154[2]	香山 晃 212[2]	早川 均 839[12]
	浅賀 健男 466[6]	神山 弘章 206[2], 746[10], 895[12]	林 克己 486[6], 742[10]
	穴田 博之 536[7]	越塚 誠一 600[8]	林 晴久 784[11]
	安部 智之 466[6], 593[8]	小無 健司 657[9]	ひ 平井 昭司 632[8]
	天野 治 358[4], 738[10]	此村 守 393[5]	平尾 和則 288[3]
	荒井 康夫 593[8], 657[9]	小林 捷平 742[10]	平野 雅司 154[2]
	荒木 政則 16[1]	小林 慎一 536[7]	平野 雅美 272[3]
	新谷 聖法 473[6]	小林 英男 867[12]	ふ 福井 正美 420[5]
	和夫 593[8]	近藤 駿介 776[11]	福島 公親 554[7]
	安藤 正樹 154[2]	さ 齋藤 伸三 703[10]	更田 豊志 536[7]
い	井頭 政之 551[7]	斉藤 啓自 16[1]	藤井 晴雄 154[2]
	生田 優子 744[10]	佐伯 正克 744[10]	藤家美奈子 238[3]
	井口 道生 137[2]	坂本 慶司 16[1]	藤田 祐志 720[10]
	池田 泰久 677[9]	佐治 悦郎 238[3]	藤田 祐志 882[12]
	石井 朝行 317[4]	佐藤 一男 154[2]	藤森 昭彦 317[4]
	石川 秀高 154[2]	佐藤 和義 16[1]	舟田 敏雄 473[6]
	石樽 顕吉 202[2]	佐藤 真一 16[1]	古川 和男 211[2], 815[11]
	石島 清見 238[3]	沢 和弘 657[9]	古田 一雄 663[9], 882[12]
	石山新太郎 879[12]	沢 邦彦 379[5]	古濱 寛 720[10]
	板垣 正文 481[6], 873[12]	澤田 哲生 117[1]	古屋 廣高 238[3]
	市川 遼生 238[3]	し 塩沢 周策 839[12]	堀田 亮年 284[3]
	市川 善浩 784[11]	市 肇 744[10]	ほ ま 前川 治 867[12]
	出光 一哉 360[4], 422[5]	柴田 徳思 90[1]	牧野 昇 776[11]
	稲垣 嘉之 839[12]	柴沼 清 16[1]	舛添 要一 301[4]
	井上 隆 364[4]	島 裕昭 16[1]	班目 春樹 867[12]
	井上多加志 16[1]	荘司 昭明 16[1]	町 末男 275[3]
	今井 剛 16[1]	す 末次 克彦 544[7]	町田 慎一 606[8]
	今西 信嗣 344[4]	杉浦 紳之 154[2]	松井 一秋 740[10]
う	寛 536[7]	杉江 達夫 16[1]	松浦祥次郎 547[7]
	氏田 博士 882[12]	鈴木 元衛 536[7]	松原 純子 154[2]
	内田 俊介 202[2]	住田 健二 224[3], 238[3], 626[8]	松本 史朗 579[8]
	浦野 隆嗣 317[4]	須山 賢也 355[4]	的場 優 90[1]
え	榎枝 幹男 16[1]	せ 関 昌弘 16[1]	丸尾 毅 16[1]
お	大井 昇 567[7]	関本 博 430[5], 839[12]	み 湊 和生 657[9]
	大野 勇 16[1]	仙田 郁夫 16[1]	宮 健三 829[12]
	大野 裕司 784[11]	た 高野 研一 663[9], 720[10]	宮北 幸次 796[11]
	大森 順次 16[1]	高橋 玲子 399[5]	宮口 仁一 317[4]
	岡 芳明 600[8], 896[12]	田川 精一 344[4]	宮沢 龍雄 399[5]
	岡野 靖 485[6]	田口 耕世 317[4]	も 森 雅博 16[1]
	小川 徹 278[3]	竹内 公人 317[4]	森 義治 606[8]
	奥野 清 16[1]	竹内 敬二 776[11]	森中 郁雄 317[4]
	小澤 正基 677[9], 679[9]	武田 哲明 618[8]	や 八木 絵香 720[10]
	落合 政昭 280[3]	竹田 敏一 238[3]	矢島 正之 643[9]
	乙葉 啓一 317[4]	田辺 朗 536[7]	柳原 敏 734[10]
	小貫 薫 839[12]	田辺 哲朗 620[8]	山下 俊一 154[2]
	小沼 通二 492[6]	谷口 武俊 776[11]	山下 利之 657[9]
か	角館 聡 16[1]	田村 温子 792[11]	山西 敏彦 16[1], 488[6]
	河西 敏 16[1]	つ 辻 博史 16[1]	山脇 道夫 645[9]
	片岡 敬博 16[1]	と 土井 保男 839[12]	山脇 智之 317[4]
	加藤 崇 16[1]	と 土井 莊一 536[7]	よ 横尾 健 356[4]
	金留 正人 119[1]	土尻 滋 358[4]	吉村 貞紀 796[11]
	加納 時男 1[1]	富永 昌平 317[4]	吉村 誠一 796[11]
	鎌田 進 258[3]	豊田 正敏 282[3]	わ 渡邊 和弘 16[1]
	河田 朱実 792[11]	な 仲神 元順 784[11]	
	河田東海夫 674[9]	永瀬 文久 536[7]	「シグマ」特別専門委員会 106[1]
	河内 清光 407[5]	長瀧 重信 154[2]	第17回核融合炉夏期セミナー実行委員会 115[11]
	河野龍太郎 720[10]	昌隆 16[1]	炉物理部会 154[2]
	川畑 淳一 317[4]	中村 仁一 536[7]	原子力発電部会 154[2]
	神戸 満 208[2]	成合 英樹 519[7], 644[9], 790[11], 816[11], 867[12]	ヒューマン・マシン・システム研究部会 154[2], 733[10]
き	菊地 賢司 622[8]	に 西 正孝 16[1], 488[6]	
	北村 正晴 212[2], 776[11]	西谷 健夫 16[1]	Bruno Comby 451[6]
	木下 智見 204[2]	西部 邁 223[3]	Gail H. Marcus 766[11]
	木下 幹康 536[7]	の 能澤 正雄 556[7]	
	木村 希一 796[11]	は 長谷川 明 551[7]	
く	国富 一彦 839[12]		
	久保田健一 393[5]		

日本原子力学会誌 総目次 Vol. 45, Nos. 1~12 (2003)

NIHON-GENSHIRYOKU-GAKKAISHI (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

No. 1 (1月号)

(末尾の太字は通巻ページ数です)

- 巻頭言 原子力平和利用の精神：中曾根康弘, 1.
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：From Editors, 2.
特集 国内外における高レベル放射性廃棄物の地層処分事業の進捗状況：田中 知, 田辺博三, 山近英彦, 稲垣裕亮, 石田久洋, 加藤 修, 倉田充之, 13.
解説 誌上討論「プルサーマルと再処理問題を考える」—討論内容のまとめ：編集委員会, 41.
私の研究から 臨界の物理を易しく説明するために：的場 優, 47.
談話室 原子力について共に語るために：碧海西葵, 51.
会議報告 ANS Reactor Physics Topical Meeting PHYSOR 2002：竹田敏一, 巽 雅洋, 三澤 毅, 田原義壽, 岡嶋成晃, 52.
第7回中性子ラジオグラフィ世界会議：小林久夫, 54.
部会便り 熱流動部会主催秋季セミナー「熱流動部会 DR フォーラム@J-Village」報告：中村秀夫, 56.
原子力学会「秋の大会」部会合同企画セッション
シニアと若手が世代を超えて率直に議論, 将来のエネルギーへのパーセプション21：天野 治, 小林広昭, 57.
支部便り 第1回関東・甲越支部若手研究者研究発表討論会 ~原子力技術の他分野への拡大~：藤沢盛夫, 58.
学会誌モニターからのご意見(11月号)：59.
熱気球 自由メモ帳 意見交換の広場：61.
英文論文誌 (Vol. 40, No. 1) 抄録：63.
会報 原子力関係会議案内, 専門委報告, 人事公募, 主要会務, 編集後記, 他：65.

No. 2 (2月号)

- 巻頭言 他に学ぶ：前田 肇, 71.
会告 「第35回(平成14年度)日本原子力学会賞」受賞決定：72.
標準に対する意見受付公告について：74.
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：75.
特集 今, なぜ, 炉物理なのか?—何がおもしろいのか?: 竹田敏一, 小坂進矢, 巽 雅洋, 桜田光一, 岡嶋成晃, 山本章夫, 井田俊一, 小山淳一, 丸山博見, 島津洋一郎, 佐治悦郎, 池田秀晃, 青木繁明, 中島 健, 山根義宏, 大井川宏之, 岩崎智彦, 代谷誠治, 関本 博, 仙石勝久, 85.
解説 放射線誘起表面活性：賞雅寛而, 岡本孝司, 三島嘉一郎, 古谷正裕, 112.
報告 緊急討論会「東電問題に対して何ができるか」：宮沢龍雄, 118.
連載講座 ヒューマンファクター⑤ タスク設計：吉川榮和, 丹羽雄二, 121.
学会誌モニターからのご意見(12月号)：133.
会議報告 第10回中性子捕捉療法国際会議：古林 徹, 134.
2002 Frederic Joliot/Otto Hahn Summer School in Reactor Physics：宇根崎博信, 小川 徹, 鈴木 徹, 向山武彦, 136.
IAEA主催 第19回核融合エネルギー国際会議：狐崎晶雄, 木村晃彦, 138.
部会便り 第2回「再処理・リサイクル部会」セミナー報告：天野 治, 小林広昭, 140.
バックエンド部会：坂本義昭, 141.
英文論文誌 (Vol. 40, No. 2) 抄録：From Editors, 142.
会報 原子力関係会議案内, 専門委報告, 人事公募, 主要会務, 編集後記, 他：144.

No. 3 (3月号)

- 巻頭言 「もんじゅ」訴訟判決を考える：村上陽一郎, 151.
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：152.
特集 第4世代原子力システム技術開発：松井一秋, 岡 芳明, 小川益郎, 一宮正和, 野田 宏, 161.
解説 原子力安全の時間的・空間的構造—東電問題に関連して：宮 健三, 173.
軽水炉と水—水の常識・非常識：長尾博之, 179.

- 革新的水冷却炉「低減速軽水炉」の研究開発—軽水炉技術による核燃料サイクルの確立を目指して：岩村公道，大久保 努，佐藤 治，184.
- 報 告 「もんじゅ」の安全性について：可見吉男，190.
- 連載講座 ヒューマンファクター⑥ ヒューマンインタフェースに関する原則，結言と将来展望：五福明夫，古川 宏，北村正晴，195.
- 支部便り 平成14年度北関東支部オープンスクール実施報告：秋場真人，208.
- 海外便り 国際原子力機関(IAEA)：手塚広子，209.
- 学術会議便り シンポジウム「放射性物質による環境汚染の予防に向けて」の報告：木村逸郎，田中 知，森澤真輔，210.
- From Editors**
- 学会誌モニターからのご意見(1月号)：212.
- 英文論文誌(Vol. 40, No. 3)抄録・和文論文誌(Vol. 2, No. 1)抄録：214.
- 会 報 原子力関係会議案内，専門委報告，人事公募，主要会務，編集後記，他：218.
- 「第35回日本原子力学会賞」受賞概要：(後付)

No. 4 (4月号)

- 巻 頭 言 伝統と創造：石田寛人，225.
- 会 告 平成15年度新役員候補者投票のご通知：226.
「2003年秋の大会」研究発表募集：227.
標準委員会意見受付公告について：233.
- 特別寄稿 武田榮一先生 逝く：藤井靖彦
武田榮一先生を偲ぶ：垣花秀武，234.
- N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報：235.
- 解 説 定常核融合炉を目指したJT-60の最近の成果：二宮博正，243.
持続的発展と放射線利用の展望—放射線とアイソトープの役割を再考する：町 末男，249.
- 報 告 緊急討論会「もんじゅ判決と安全確保」：成合英樹，254.
- 会議報告 ICENES' 02アルバカーキ会議：松本高明，256.
第8回核マイクロプローブ技術と応用に関する国際会議：神谷富裕，高井幹夫，258.
第3回原子炉熱流動と安全に関する日韓シンポジウム：二ノ方 壽，山口 彰，260.
- 談 話 室 「もんじゅ」行政訴訟控訴審判決について：更田豊治郎，263.
- 私の主張 Double Contingency Principle をどう理解するか：小室雄一，265.
- YGNのページ 「2002年秋の大会」でのアンケート結果：270.
- 学術会議便り 研連報告「国立大学法人における放射性同位元素・放射線発生装置・核燃料物質などの管理について」・「人類社会に調和した原子力学の再構築」：272.
- 学会誌モニターからのご意見(2月号)：274.
- 意見交換の広場：275.
- 英文論文誌(Vol. 40, No. 4)抄録：276.
- 会 報 「2003年春の年会」終了，原子力関係会議案内，専門委報告，主要会務，編集後記，他：278.
- 入会案内：(後付)
- 第41回原子力総合シンポジウムプログラム：(後付)

No. 5 (5月号)

- 巻 頭 言 「情報の非対称性」理論に学ぶ：鈴木篤之，283.
- 会 告 「第45回通常総会」のご通知：284.
- N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報：285.
- 解 説 緊急時環境線量情報予測システム SPEEDI の現状と今後の展開：茅野政道，安達武雄，296.
核防護制度発展の経緯と今後の課題：板倉周一郎，302.
- 報 告 春の年会「もんじゅ裁判に関する講演会」：成合英樹，308.
- 講 演 原子力における安全と司法審査：山内喜明，309.
- 会議報告 高速増殖炉サイクル研究開発セミナー 若手研究者と語る研究開発の将来展望：深野義隆，312.
- 談 話 室 ベトナムの最新原子力事情：岩越米助，314.
「もんじゅ」の判決に関連して：豊田正敏，316.
- 「2003年春の年会」現地委員会報告・学生企画ポスターセッション報告：318.
- 学会誌モニターからのご意見(3月号)：320.

新刊紹介：From Editors, 321.

英文論文誌 (Vol. 40, No. 5) 抄録：322.

会報 原子力関係会議案内, 専門委報告, 主要会務, 編集後記, 他：324.

No. 6 (6月号)

巻頭言 開かれた原子力学会へ：佐藤太英, 335.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：336.

特集 原子力エネルギーの海水淡水化への応用：小西俊雄, 山脇道夫, 湊章男, 原道宏, 平井光芳, 342.

解説 中国の原子力の現状と協力：永崎隆雄, 359.

部会便り 第2回燃料サイクル国際ワークショップ「廃棄物処分サイト活用の観点から見た原子燃料サイクル」：深澤哲生, 365.

会議報告 2002年核データ研究会：大澤孝明, 366.

学会誌モニターからのご意見(4月号)：368.

新刊紹介：369.

使途不明金問題に関する最終報告・現金不足発生問題発生についてのお詫び：370.

英文論文誌 (Vol.40, No. 6) 抄録, 和文論文誌 (Vol. 2, No. 2) 抄録：From Editors, 375.

会報 原子力関係会議案内, 夏期セミナー, 専門委報告, 主要会務, 編集後記, 他：381.

「第45回通常総会」議事原案：(後付)

No. 7 (7月号)

巻頭言 科学と裁判：森島昭夫, 393.

会長就任挨拶 社会から信望され, 存在感のある原子力学会を：齋藤伸三, 394.

会告 第36回(平成15年度)日本原子力学会学会賞受賞候補者推薦募集：395.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：396.

解説 「ふげん」における MOX 燃料利用実績と核燃料サイクルの実証：古林俊幸, 飯島隆, 405.

講演 日本の MOX 燃料の実績と今後の展望：大島博, 安部智之, 412.

ジルカロイ材料の誕生とその揺籃期：小西隆男, 418.

私の研究から アイデアを生み出す炉物理：竹田敏一, 424.

部会便り 核データ部会：深堀智生, 428.

専門委員会終了報告 「モンテカルロ法による粒子シミュレーション」研究専門委員会：植木紘太郎, From Editors, 430.

「核融合炉材料中における水素同位体挙動」研究専門委員会：田辺哲朗, 432.

「水化学最適化」研究専門委員会：山崎健治, 笠原和男, 布施元正, 434.

「先進核燃料サイクルの物質科学」研究専門委員会：森山裕丈, 436.

学術会議報告 放射性物質による環境汚染の予防と環境の回復：437.

新刊紹介 「エネルギー環境学」：438.

学会誌モニターからのご意見(5月号)：439.

編集・企画の仕事を終えて：440.

平成15年度編集・企画委員一覧：445.

平成15年度役員紹介：446.

英文論文誌 (Vol.40, No. 7) 抄録：447.

会報 原子力関係会議案内, 専門委報告, 主要会務, 投稿案内, 編集後記, 他：450.

No. 8 (8月号)

巻頭言 核不拡散条約と原子力の将来：トーマス・グラハム, Jr. 大使, 457.

副会長就任挨拶 社会に問いかけ, 多様なパートナーを見出し, 学習し, 交流するネットワークの核として：近藤駿介, 459.

原子力平和利用50年と原子力に携わる私達：宅間正夫, 460.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：461.

解説 高速増殖原型炉「もんじゅ」控訴審判決に係る原子力安全の技術的論点：仲嶺信英, 堀池寛, 片岡勲, 二ノ方壽, 宮崎慶次, 472.

講演 資源論からみたエネルギー供給問題：内山洋司, 481.

談話室 スイス国民投票：反原子力提案を大差で否決：窪田秀雄, 486.

日本原子力文化の国際化—IAEA 勤務での経験から：小西俊雄, 488.

会議報告 ICONE 11：第11回原子力工学国際会議：ICONE 11組織委員会幹事, 491.

私の研究から 軽水炉シビアアクシデント影響の更なる高精度予測を目指して：日高昭秀, 493.

天然鉱物からの放射線誘起ルミネッセンス現象の基礎研究とその利用：橋本哲夫, 497.

原子力施設訪問 広い敷地から生まれる広い研修活動 —日本原子力研究所国際原子力総合技術センター取材記：田辺匡亮, 502.
学会誌モニターからのご意見(6月号)：505.

YGN のページ 原子力二法人統合に関するアンケート結果：YGN 運営委員会, 506.

平成14年度原子力(核)工学関連専攻大学院博士論文の題目一覧：From Editors, 508.

2003年度編集委員会・企画委員会紹介：511.

新刊紹介 「反物質—消えた反世界はいまどこに？究極の鏡の謎にせまる」：516.

英文論文誌 (Vol.40, No. 8) 抄録：517.

会 報 原子力関係会議案内, 専門委報告, 主要会務, 編集後記, 他：519.

投稿規程・投稿の手引：(後付)

No. 9 (9月号)

巻 頭 言 持続可能な発展のために原子力エネルギーが貢献できること：アンヌ＝ロベルジョン, ベルトラン＝バレ, 527.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報：529.

解 説 中間貯蔵施設の必要性和その実現に向けた取組み：竹田知幸, From Editors, 540.

将来の人材育成・確保をめぐる諸課題と方策

—日本原子力産業会議「人材問題小委員会報告」を中心に：北村俊郎, 547.

講 演 フランス放射性廃棄物管理機関(ANDRA)滞在記：三浦一彦, 553.

私の研究から 照射後試験用 X 線 CT 装置の開発経緯および取得データ評価の現状：永峯 剛, 勝山幸三, 伊藤正彦, 556.

原子力平和利用のためのより合理的な保障措置を目指して：坪井 裕, 561.

研究室紹介 東京大学大学院新領域創成科学研究科 環境学専攻人工環境学大講座 古田研究室：566.

核燃料サイクル開発機構 大洗工学センター 新材料研究グループ：568.

YGN のページ 「議論の部屋」掲示板—「もんじゅ訴訟」について：570.

学会誌モニターからのご意見(7月号)：572.

観覧車 会長・理事の手帳から「国立大学等の法人化」：574.

新刊紹介 「原子力利用の経済規模」：575.

英文論文誌 (Vol.40, No. 9) 抄録, 和文論文誌 (Vol.2, No. 3) 抄録：576.

会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 主要会務, 編集後記, 他：581.

No. 10 (10月号)

巻 頭 言 科学技術と政策立案：米本昌平, 591.

会 告 「2004年春の年会」研究発表募集：592.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報：598.

解 説 核燃料サイクルに関する物質科学研究の現状と課題：森山裕丈, 山名 元, 小林眞一, 藤 堅正, 桜井博司, 宇埜正美, 610.

カムランド実験による原子炉ニュートリノ欠損の発見：末包文彦, 中嶋 享, 617.

信頼される技術であり続けるために—技術倫理の視点から：安藤恭子, 623.

私の研究から ガンマ線の高感度分析法の開発に邁進：大島真澄, 初川雄一, 藤 暢輔, 628.

連載講座 放射性廃棄物の処分① 放射性廃棄物概論：村岡 進, 佐藤正知, 大江俊昭, 634.

会議報告 核燃料サイクルおよび原子力の革新的技術国際会議：片西昌司, 栗山正明, 大久保 努, 佐藤和二郎, 647.

第 4 回 IAEA 核融合研究における制御, データ収集および遠隔実験参加に関する技術会合：米川 出, 650.

生態圏核種移行研究国際シンポジウム：天野 光, 652.

研究室紹介 九州大学大学院工学研究院エネルギー量子工学部門 木下・松村研究室：654.

From Editors

一言メモ 若手よりの直言：佐久間正剛, 筑後知昭, 656.

学会誌モニターからのご意見(8月号)：657.

英文論文誌 (Vol.40, No. 10) 抄録：658.

会 報 原子力関係会議案内, 専門委報告, 人事公募, 主要会務, 編集後記, 他：663.

入会案内

No. 11 (11月号)

巻 頭 言 岐路に立つ原子力：佐藤栄佐久, 669.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：670.
特集 軽水炉高燃焼度燃料の照射ふるまい：佃 由晃, 上村勝一郎, 河野範夫, 服部年逸, 伊藤邦雄, 茂住泰寛, 682.
解説 原子力教育の新展開—技術士(原子力・放射線部門)の新設と技術者継続教育(CPD)および日本技術者教育認定機構(JABEE)について：工藤和彦, 宮沢龍雄, 相沢乙彦, 田中治邦, 711.
COE 21プログラムにおける原子力研究：関本 博, 山本一良, 716.

From Editors

連載講座 放射性廃棄物の処分② 高レベル放射性廃棄物の地層処分に関連するわが国の地質環境：駒田広也, 河西 基, 723.
特別寄稿 Atoms for Peace 50周年によせて：植松邦彦, 神田啓治, 735.
会議報告 第11回高温材料化学国際会議：中村彰夫, 736.
ISORD-2(Second International Symposium On Radiation Safety and Detection Technology)を主催して：中村尚司, 738.
談話室 分離変換・利用工学分野におけるロシアとの共同研究・情報交換：小澤正基, 740.
私の主張 ICRP 勧告への要望：更田豊治郎, 742.
新刊紹介：743.
学会誌モニターからのご意見(9月号)：744.
観覧車 会長・理事の手帳から「学会活動に思う」, 745.
英文論文誌(Vol.40, No. 11)抄録：746.
会報 原子力関係会議案内, 専門委報告, 人事公募, 主要会務, 編集後記, 他：749.
入会案内

No. 12 (12月号)

巻頭言 規制行政のさらなる充実に向けて：佐々木宜彦, 755.
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：756.
講演 水素・燃料電池社会を目指して：中村徳彦, 000.
核燃料サイクルの確立に向けて—ふげん・プルサーマル・もんじゅ—：遠藤哲也, 775.
解説 環太平洋原子力協議会(PNC)の活動について：秋山 守, 781.
連載講座 放射性廃棄物の処分③ 高レベル放射性廃棄物の地層処分に關する工学技術：北山一美, 油井三和, 787.
会議報告 第10回常温核融合国際会議(ICCF 10)：成田晋也, 798.
熱流動部会・計算科学技術部会主催 秋季セミナー「DR フォーラム@裾野研修センター」報告：中村秀夫, 白川典幸, 800.
特別寄稿 Atoms for Peace 50周年によせて：高島洋一, 金子熊夫, 801.
報告 Atoms for peace in Japan (Asia) 会議「変革のとき, 50年を振り返り, これからの50年を考え始めよう」を振り返って：企画委員会, 802.
研究室紹介 日本原子力研究所東海研究所エネルギーシステム研究部熱流体研究グループ：804.
終了報告 「核融合エネルギー総合システム」研究専門委員会：806.
From Editors
専門委員会報告 「シグマ委員会」2001, 2002年度の活動：シグマ特別専門委員会, 808.
学会誌モニターからのご意見(10月号)：811.
新刊紹介 原著第3版「原子核工学入門(上)」・新刊書情報：813.
英文論文誌(Vol.40, No. 12)抄録, 和文論文誌(Vol.2, No. 4)抄録：814.
会報 原子力関係会議案内, 専門委報告, 人事公募, 主要会務, 編集後記, 他：820.
総目次・著者名索引 (Vol.45, Nos. 1~12)：(後付)

著者名索引 (50音順)

(711[11]は通巻711頁, 11月号を示す)

あ	相沢 乙彦 青木 繁明 碧海 西葵 秋場 真人 秋山 守 安達 武雄 安部 智之 天野 治 天野 光 安藤 恭子	711[11] 85[2] 51[1] 208[3] 781[12] 296[5] 412[7] 57[1], 140[2] 652[10] 623[10]	い	飯島 隆 池田 秀晃 石田 寛人 石田 久洋 板倉周一郎 井田 俊一 一宮 正和 伊藤 邦雄 伊藤 正彦 稲垣 裕亮 岩越 米助 岩崎 智彦 岩村 公道	405[7] 85[2] 225[4] 13[1] 302[5] 85[2] 161[3] 682[11] 556[9] 13[1] 314[5] 85[2] 184[3] 430[7]	う	植木紘太郎 植松 邦彦 内山 洋司 宇根崎博信 宇埜 正美 遠藤 哲也	430[7] 735[11] 481[8] 136[2] 610[10] 775[12]	え	お	大井川宏之 大江 俊昭 大久保 努 大澤 孝明 大島 博文 大島 真澄 岡嶋 成晃 岡本 孝司 岡 芳明 小川 徹 小川 益郎 小澤 正基 か 垣花 秀武 河西 基 笠原 和男 片岡 勲 片西 昌司 勝山 幸三 加藤 修 可児 吉男 金子 熊夫 上村勝一郎 神谷 富裕 神田 啓治 き 北村 俊郎 北村 正晴 北山 一美 狐崎 晶雄 木村 晃彦 木村 逸郎 く 工藤 和彦 窪田 秀雄 倉田 充之 栗山 正明 こ 河野 範夫	85[2] 418[7] 342[6], 488[8] 610[10] 134[2] 54[1] 57[1], 140[2] 195[3] 723[11] 265[4] 85[2] 459[8] 394[7] 141[2] 656[10] 610[10] 85[2] 755[12] 85[2] 669[11] 184[3] 647[10] 634[10] 335[6] 85[2] 800[12] 85[2] 617[10] 283[5] 136[2] 85[2], 716[11] 85[2] 258[4] 801[12] 112[2] 460[8] 52[1], 85[2], 424[7] 540[9] 52[1], 85[2] 13[1], 210[3] 711[11] 502[8] 432[7] 13[1] 52[1] 656[10] 296[5] 682[11] 561[9] 209[3] 628[10] 316[5] 179[3] 359[6] 85[2] 617[10] 1[1] 472[8] 556[9] 736[11] 738[11] 770[12] 56[1], 800[12] 254[4], 308[5]	小坂 進矢 小西 隆男 小西 俊雄 小林 眞一 古林 徹 小林 久夫 小林 広昭 五福 明夫 駒田 広也 小室 雄一 小山 淳一 近藤 駿介 さ 齋藤 伸三 坂本 義昭 佐久間正剛 桜井 博司 桜田 光一 佐々木宜彦 佐治 悦郎 佐藤栄佐久 佐藤 治 佐藤和二郎 佐藤 正知 佐藤 太英 し 島津洋一郎 白川 典幸 代谷 誠治 す 末包 文彦 鈴木 篤之 鈴木 徹 せ 関本 博 仙石 勝久 た 高井 幹夫 高島 洋一 賞雅 寛而 宅間 正夫 竹田 敏一 竹田 知幸 巽 雅洋 田中 知 田中 治邦 田辺 匡亮 田辺 哲朗 田辺 博三 田原 義壽 ち 筑後 知昭 茅野 政道 つ 佃 由晃 坪井 裕 て 手塚 広子 藤 暢輔 と 豊田 正敏 な 長尾 博之 永崎 隆雄 中島 健 中島 亨 中曾根康弘 仲嶺 信英 永峯 剛 中村 彰夫 中村 尚司 中村 徳彦 中村 秀夫 成合 英樹	85[2] 418[7] 342[6], 488[8] 610[10] 134[2] 54[1] 57[1], 140[2] 195[3] 723[11] 265[4] 85[2] 459[8] 394[7] 141[2] 656[10] 610[10] 85[2] 755[12] 85[2] 669[11] 184[3] 647[10] 634[10] 335[6] 85[2] 800[12] 85[2] 617[10] 283[5] 136[2] 85[2], 716[11] 85[2] 258[4] 801[12] 112[2] 460[8] 52[1], 85[2], 424[7] 540[9] 52[1], 85[2] 13[1], 210[3] 711[11] 502[8] 432[7] 13[1] 52[1] 656[10] 296[5] 682[11] 561[9] 209[3] 628[10] 316[5] 179[3] 359[6] 85[2] 617[10] 1[1] 472[8] 556[9] 736[11] 738[11] 770[12] 56[1], 800[12] 254[4], 308[5]	成田 晋也 に 二ノ方 壽 二宮 博正 丹羽 雄二 の 野田 宏 は 橋本 哲夫 初川 雄一 服部 年逸 原 道宏 ひ 日高 昭秀 平井 光芳 ふ 深澤 哲生 深野 義隆 深堀 智生 更田豊治郎 藤井 靖彦 藤 堅正 藤沢 盛夫 布施 元正 古川 宏 古林 俊幸 古谷 正裕 ほ 堀池 寛 ま 前田 肇 班目 春樹 町 末男 松井 一秋 松本 高明 的場 優 丸山 博見 み 三浦 一彦 三澤 毅 三島嘉一郎 湊 章男 宮 健三 宮・慶次 宮沢 龍雄 む 向山 武彦 村岡 進 村上陽一郎 も 茂住 泰寛 森澤 眞輔 森嵩 昭夫 森山 裕丈 や 山口 彰 山崎 健治 山近 英彦 山名 元 山根 義宏 山内 喜明 山本 章夫 山本 一良 山脇 道夫 ゆ 油井 三和 よ 吉川 榮和 米川 出 米本 昌平	798[12] 260[4], 472[8] 243[4] 121[2] 161[3] 497[8] 628[10] 682[11] 342[6] 493[8] 342[6] 365[6] 312[5] 428[7] 263[4], 742[11] 234[4] 610[10] 58[1] 434[7] 195[3] 405[7] 112[2] 472[8] 71[2] 745[11] 249[4] 161[3] 256[4] 47[1] 85[2] 553[9] 52[1] 112[2] 342[6] 173[3] 472[8] 118[2], 711[11] 136[2] 634[10] 151[3] 682[11] 210[3] 393[7] 436[7], 610[10] 260[4] 434[7] 13[1] 610[10] 85[2] 309[5] 85[2] 716[11] 342[6] 787[12] 121[2] 650[10] 591[10] 527[9] 457[1] 527[9] 808[12] 491[8] 506[8]
---	---	---	---	--	--	---	--	---	---	---	--	--	--	--	---	--

日本原子力学会誌 総目次 Vol. 46, Nos. 1~12 (2004)

NIHON-GENSHIRYOKU-GAKKAISHI (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

No. 1 (1月号)

(末尾の太字は通巻ページ数です)

- 巻頭言 リスクに立ち向かい、リスクを引き受ける社会を目指して：近藤駿介, 1.
会告 平成16・17年度評議員選挙に係わる支部、部会等の推薦候補の推薦について：2.
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：3.
解説 水素エネルギーシステム実現に向けて：福田健三, 14.
大学の原子力工学研究教育設備等の現状と課題：「大学の原子力工学研究教育設備等検討」特別専門委員会, 18.
米国 MIT 報告書「原子力の将来」について：長野浩司, 24. **From Editors**
報告 新たな原子力安全行政の展開について：山本哲也, 31.
新刊紹介 核燃料施設の臨界事故：37.
連載講座 放射性廃棄物の処分④ 地層処分システムの安全評価：梅木博之, 木村英雄, 38.
特別寄稿 *Atoms for Peace* 50周年によせて：前田 肇, 池亀 亮, 52.
学術会議便り 第19期日本学術会議の活動について：53.
談話室 原子力発電およびサイクルの経済性, 日米のアプローチの比較と提言：天野 治, 諸葛宗男, 54.
「2003年秋の大会」学生企画ポスターセッション・原子力討論会：学生連絡会, 56.
終了報告 「液体重金属利用技術」研究専門委員会：58.
YGNのページ 原子力が死に至るシナリオ「死」へのシナリオから「再生」のシナリオへ：60.
夏期セミナー報告 第19回「核融合炉」夏期セミナー：62.
学会誌モニターからのご意見 (11月号)：63.
英文論文誌 (Vol.41, No. 1) 抄録：64.
会報 原子力関係会議案内, 専門委報告, 人事公募, 主要会務, 編集後記, 他：67.

No. 2 (2月号)

- 巻頭言 韓日原子力の未来：その責務とは：李 昌健, 77.
会告 「第36回(平成15年度)日本原子力学会賞」23件が受賞決定：78.
標準に対する意見受付公告について：80.
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：81.
特集 原子力と社会：下岡 浩, 傍島 眞, 田中靖政, 藤井靖彦, 池本一郎, 三島 毅, 89.
解説 核融合炉におけるトリチウム・システム
—ITERのプラント設計を可能にした技術の進歩と今後の課題：西 正孝, 山西敏彦, 林 巧, 115.
エネルギー分散分光のための超伝導検出器：大久保雅隆, 浮辺雅宏, 121.
特別寄稿 *Atoms for Peace* 50周年によせて：大山 彰, 齋藤伸三, 127.
会議報告 第3回炉心管理の進歩に関する国際会議：山本章夫, 山崎正俊, 伊藤卓也, 渡嘉敷幹郎, 牛尾直史, 128.
Atoms for Peace 150 自然体の科学と技術の融合：*Atoms for Prosperity*：澤田哲生, 130.
談話室 高エネルギー X 線 CT 装置開発の思い出：伊東新一, 132.
海外便り ヨーロッパ原子力事情：西澤友弘, 134.
支部便り 関東・甲越支部第2回若手研究者発表討論会：星出明彦, 136.
平成15年度日本原子力学会北関東支部オープンスクール実施報告：秋場真人, 138.
夏期セミナー報告 第18回「核燃料」夏期セミナー：139.
YGNのページ *The Second Asian Young Generation Workshop - Nuclear Technology in Asia*：140.
学会誌モニターからのご意見 (12月号), **From Editors**：142.
終了報告 「PUREX システムにおけるルテニウム及びテクネチウムの化学」研究専門委員会：144.
英文論文誌 (Vol.41, No. 2) 抄録：147.
会報 原子力関係会議案内, 専門委報告, 主要会務, 編集後記, 他：151.

No. 3 (3月号)

- 巻頭言 ますます高まる原子力学会への期待：成合英樹, 159.
- 会告 平成16・17年度評議員選挙について：160.
標準に対する意見受付公告について：163.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：164.
- 特集 大強度陽子加速器施設 (J-PARC) で期待される原子力科学
—炉物理, 放射線工学, 加速器・ビーム科学, 核データ部会から：鬼柳善明, 永宮正治, 大山幸夫, 池田裕二郎,
大井川宏之, 井頭政之, 馬場 護, 岩崎智彦, 渡辺幸信, 石橋健二, 173.
- 解説 米国エネルギー政策の最近の動向：森 鐘太郎, 198.
- 原子力施設訪問 日本原子力研究所那珂研究所施設訪問記：佐藤京子, 鈴木真理, 203.
- 談話室 ITC 地下廃棄物貯蔵・処分研修センターの研修への参加報告：藤原 愛, 見掛信一郎, 延藤 遵, 206.
- 会議報告 地層処分における政策的および技術的進展に関するストックホルム国際会議：高須亜紀, 佐々木隆之, 吉田英爾, 208.
- 新刊紹介 「プラズマの生成と診断」, 「何と少ししか覚えていないことだろう」：211.
- 学会誌モニターからのご意見 (1月号), From Editors：212.
- 英文論文誌 (Vol.41, No. 3), 和文論文誌 (Vol.3, No. 1) 抄録：213.
- 会報 原子力関係会議案内, 専門委報告, 人事公募, 主要会務, 編集後記, 他：221.
「第36回日本原子力学会賞」受賞概要：(後付)

No. 4 (4月号)

- 巻頭言 革新技術と学会の役割：内藤正久, 231.
- 会告 平成16年度新役員候補者投票のご通知：232.
「2004年秋の大会」研究発表募集：233.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：239.
- 座談会 小学校・中学校の特別授業—エネルギー広報活動の現場から：中谷俊也, 高崎芳和, 小笠原 崇, 坂本明子,
鈴木正昭, 山野直樹, 248.
- 連載講座 放射性廃棄物の処分⑤ 廃棄物との共存をめざして：中山真一, 田中 知, 佐藤正知, 253.
- 講演 戦後復興から, 国として官としての50年：伊原義徳, 266.
- 私の研究から 混相流および原子炉熱水力現象を精度よく予測するために：石井 護, 272.
- 原子力施設訪問 青森県や六ヶ所村近隣地域のための研究活動—環境科学技術研究所取材記：島 長義, 276.
- 会議報告 第4回「原子炉燃料・材料挙動に関する日韓セミナー」：山脇道夫, 木村晃彦, 280.
- 学会誌モニターからのご意見：, 281.
- 海外便り アルゼンチン便り：石田睦美 Viviana, 282. From Editors
- 部会便り 海外情報連絡会：山下淳一, 284.
- 英文論文誌 (Vol.41, No. 4) 抄録：285.
- 会報 原子力関係会議案内, 専門委報告, 人事公募, 主要会務, 編集後記, 他：289.
- 第5回核融合エネルギー連合講演会プログラム
入会案内
第42回原子力総合シンポジウムプログラム

No. 5 (5月号)

- 巻頭言 青い地球を未来の世代に：町 末男, 299.
- 会告 「第46回通常総会」のご通知：300.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：301.
- 特集 核融合ブランケットを創る：小西哲之, 木村晃彦, 秋場真人, 中村博雄, 長坂琢也, 室賀健夫, 長谷川 晃, 松井秀樹, 311.
- インタビュー 科学の進歩と原子力：小柴昌俊, 小川順子, 323.
- 講演 米国における原子力に関する世論およびコミュニケーション：A.S.BISCONTI, 327.
- 解説 BWRにおける過渡的な沸騰遷移後の燃料健全性評価研究の過去, 現在, 未来：三島嘉一郎, 溝上伸也,
工藤義朗, 小村清一, 師岡慎一, 西田浩二, 332.
- 連載講座 核燃料工学の基礎—軽水炉燃料を中心に① 核燃料の概要：森 一麻, 339.
- 会議報告 「平和のための原子力」50周年国際会議：金子熊夫, 346. From Editors
第7回臨界安全性国際会議：三好慶典, 349.

日米サンタフェ会議と米国 DOE の藤家賞：神田啓治, 352.
第 6 回加速器技術の原子力応用に関する国際会議：菊地賢司, 中島 宏, 伴 秀一, 354.
アジア水化学シンポジウム2003：「水化学標準」研究専門委員会, 356.
談話室 「原子力がひらく世紀」(改訂版)の編集を終えて：熊谷 明, 358.
特別寄稿 Atoms for Peace 50周年によせて：古川和男, 古橋 晃, 360.
英文論文誌 (Vol.41, No. 5) 抄録：361.
会 報 原子力関係会議案内, 専門委報告, 人事公募, 主要会務, 編集後記, 他：363.

No. 6 (6月号)

巻頭言 日本原子力学会誌に寄せて：Larry R. FOULKE, 371.
会 告 標準委員会「意見受付公告について」：372.
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：373.
解 説 専門家による情報提供：小杉素子, 382.
私の研究から 完全自動運転の月面用リチウム冷却高速炉 RAPID-L および地上用ナトリウム冷却高速炉 RAPID：神戸 満, 387.
報 告 米国原子力発電所における信頼性担保の仕組みについて：吉田智朗, 395.
原子力施設訪問 核融合科学研究所見学取材記：杉山一慶, 402.
ロシア太平洋艦隊の退役原潜解体の現状と課題：澤田哲生, 405.
連載講座 核燃料工学の基礎—軽水炉燃料を中心に② 軽水炉燃料(1)：広瀬 勉, 土井莊一, 410.
観覧車 会長・理事の手帳から：澤田 隆, 418.
学会誌モニターからのご意見, From Editors：419.
英文論文誌 (Vol.41, No. 6), 和文論文誌 (Vol.3, No. 2) 抄録：422.
会 報 原子力関係会議案内, 専門委報告, 人事公募, 主要会務, 編集後記：426.
「第46回通常総会」議事原案：(後付)

No. 7 (7月号)

巻頭言 原子力を担う“精神”の登場を期待する!!：宅間正夫, 437.
副会長就任にあたって：芹澤昭示, 相澤清人, 438.
会 告 第37回(平成16年度)日本原子力学会賞受賞候補者推薦の募集：440.
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：441.
講 演 50年を経た平和のための原子力—新たな挑戦と機会：Susan EISENHOWER, 451.
特別寄稿 Atoms for Peace 50周年によせて：V.H. REIS, J.J. TAYLOR, 456.
解 説 核分裂炉関連材料と水素：山脇道夫, 小無健司, 島田祥雄, 457.
連載講座 核燃料工学の基礎—軽水炉燃料を中心に③ 軽水炉燃料(2)：田辺 朗, 広瀬 勉, 土井莊一, 467.
私の研究から 鉛スペクトロメータと核データ実験：小林捷平, 474.
会議報告 ANS 冬期大会印象記：平井啓詩, 山下淳一, 479.
第28回放射性廃棄物管理の科学的基礎に関するシンポジウム：佐藤治夫, 482.
Letters～学会誌を読んで～ 小柴昌俊先生のご意見に対するコメント：核融合工学会, 484.
談話室 IAEA 便り—日本人の対 IAEA 貢献に思うこと：久野祐輔, 486.
専門委員会終了報告 「放射線遮蔽評価」研究専門委員会：489.
ANS 会長・副会長講演会実施報告：海外情報連絡会, 社会・環境部会, 490.
「第42回原子力総合シンポジウム」の報告と提言：班目春樹, 491.
「2004年春の年会」学生連絡会ポスターセッション：学生連絡会, 492.
新刊紹介 「原子力は今でも百万馬力か」, From Editors：493.
平成16年度役員紹介, 編集・企画委員一覧：494.
日本原子力学会「フェロー制度」発足のお知らせ：496.
英文論文誌 (Vol.41, No. 7) 抄録：497.
会 報 原子力関係会議案内, 専門委報告, 人事公募, 主要会務, 編集後記：500.

No. 8 (8月号)

巻頭言 Working Together for a Sustainable Low Carbon Future：Sue ION, 509.
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：510.
提 言 核燃料サイクル政策には「空間・時間を総合」した視野が必要：宅間正夫, 523.

- 特集 バックエンドコストと今後のバックエンド事業：田中 知, 森 信昭, 諸葛宗男, 圓尾雅則, 佐竹 誠, 神田啓治, 山地憲治, 524.
- 解説 原子力のコミュニケーション問題を考える
—社会・環境部会「原子力コミュニケーション」コアグループ報告会を踏まえて：傍島 眞, 伊東慶四郎, 547.
炉物理検査高度化の進展：中野 誠, 木村 純, 小林貴明, 554.
- 私の研究から 未来の理想的な核平衡社会を目指して：関本 博, 561.
- 連載講座 核燃料工学の基礎—軽水炉燃料を中心に④ 軽水炉燃料(3)：田辺 朗, 土井莊一, 566.
- 会議報告 「地中における放射性核種移行のケーススタディー」ワークショップ報告：福井正美, 573.
核融合プラズマと炉壁材料との相互作用の理解と制御への挑戦：久保博孝, 正木 圭, 576.
第 6 回核融合炉のためのベリリウム技術に関する国際会議：河村 弘, 田中 知, 石塚悦男, 578.
- 談話室 アンケートに見る原子力のリスク感覚について：横手光洋, 580.
- 特別寄稿 Atoms for Peace 50周年によせて：神谷万丈, 中西 寛, 582.
- 2004年度編集委員会：583.
- From Editors 論文投稿者へのお知らせとお願い：586.
- 英文論文誌 (Vol.41, No. 8) 抄録：587.
- 会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 主要会務, 編集後記：591.

No. 9 (9月号)

- 巻頭言 フレッド・ハッチンソン癌センターの思い出によせて：久住静代, 599.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：600.
- 解説 計算と測定の間にあるもの—X線・ガンマ線検出器について：平山英夫, 610.
「常陽」の高度化計画(MK-Ⅲ計画)の概要と今後の活用計画：前田幸基, 大戸敏弘, 三次岳志, 仲井 悟, 鈴木惣十, 原 広, 617.
- 講演 欧州における放射性金属廃棄物のフリーリリース
—スウェーデン・スタズビック社での17年間のフリーリリース経験：J. ローレンツェン, 624.
21世紀のエネルギー環境社会の構築に向けて—一次代へのメッセージとその実現への提言：柘植綾夫, 629.
- 私の研究から 原子力を支える核データベース JENDL の開発：柴田恵一, 中川庸雄, 河野俊彦, 634.
- 海外便り イラクでの核査察官の体験：細谷通夫, 639.
- 談話室 オスカーシャム(スウェーデン)におけるリスクコミュニケーションの現場を体感して：高下浩文, 菖蒲信博, 加賀洋平, 642.
- 会議報告 放射線遮へい・防護—これからの展開 ICRS-10/RPS 2004に参加して：近内亜紀子, 横山須美, 644.
大洗 FBR サイクルシンポジウム2004：小井 衛, 646.
- YGN のページ 「2004年春の年会」YGN 企画「原子力再生へのシナリオ」—「死に至るシナリオ」から「再生へのシナリオ」へ：648.
- 特別寄稿 Atoms for Peace 50周年によせて：井本正介, 650. From Editors
- 新刊紹介 「核」論—鉄腕アトムと原発事故のあいだ：651.
- 平成15年度原子力(核)工学関連専攻大学院博士論文の題目一覧：652.
- 2004年度企画委員会：654.
- 英文論文誌 (Vol.41, No. 9) 抄録, 和文論文誌 (Vol.3, No. 3) 抄録：655.
- 会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 主要会務, 編集後記：661.

No. 10 (10月号)

- 巻頭言 エネルギーがつけられ、そして女性達に自由がきた：小川順子 669.
「2005年春の年会」研究発表応募要領：670.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：676.
- 特集 社会のニーズに適合した FBR サイクルの実用化を目指して
FBR サイクル実用化戦略調査研究の進捗状況：大野勝巳, 安藤将人, 小竹庄司, 長沖吉弘, 難波隆司, 加藤篤志, 中井良大, 根岸 仁, 685.
- 講演 安全で安心な社会の構築—安全と安心をどうつなぐのか：広渡清吾, 713. From Editors
- 美浜 3 号機事故特別セッション—事故原因や品質管理めぐり議論：718.
- 私の研究から 粒子・重イオン輸送汎用モンテカルロコード PHITS の開発：仁井田浩二, 722.
- 連載講座 核燃料工学の基礎—軽水炉燃料を中心に 第 5 回燃料のふるまい：宇根勝己, 木戸俊哉, 高阪裕二, 728.
- 会議報告 燃料サイクルと革新的原子力システムに関する炉物理国際会議 (PHYSOR 2004)：山本章夫, 松本英樹, 宇根崎博信, 長屋康展, 737.

第12回 WIN-Global 年次大会：千歳敬子，740.

新刊紹介 データが語る原子力の世論—10年にわたる継続調査，技術者倫理と法工学：742.

英文論文誌 (Vol.41, No. 10) 抄録：743.

会 報 原子力関係会議案内，人事公募，専門委報告，主要会務，編集後記：745.

入会案内

No. 11 (11月号)

巻 頭 言 災害は忘れた頃にやってくる：朝田泰英，753.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報：754.

講 演 原子力政策から見た学会の役割：近藤駿介，765.

解 説 「原子力関連材料と水素」シリーズ② 核融合関連材料と水素：長崎正雅，山口憲司，小西哲之，770.

座 談 会 美浜事故を考える—品質保証や保安責任に形骸化がなかったか：大野 晋，田邊朋行，青島矢一，井川陽次郎，鈴木達治郎，780.

連載講座 核燃料工学の基礎—軽水炉燃料を中心に

第 6 回 燃料のふるまいモデリング，燃料機械設計：伊東賢一，土井莊一，787.

部会便り 熱流動部会・計算科学技術部会共催 秋季セミナー「Dr フォーラム」報告：上出英樹，湊 明彦，794.

夏期セミナー報告 第36回炉物理夏期セミナー 基礎から学ぶ炉心解析

第 6 回環境放射能・放射線夏の学校

第20回「核融合炉」夏期セミナー：795.

談 話 室 IAEA における核燃料サイクル施設の原子力安全基準策定状況：上田吉徳，中江延男，798.

一言メモ がんの3.2%は X 線診断被ばくが原因か？—Lancet 論文をめぐる話題：金子正人，800.

無理な注文「馬鹿正直であれ」：金川 昭，802. From Editors

会議報告 第 5 回核融合エネルギー連合講演会：野田信明，804.

新刊紹介 リーゼ・マイトナー 嵐の時代を生き抜いた女性科学者：806.

英文論文誌 (Vol.41, No. 11) 抄録：807.

日本原子力学会奨学金基金への募金のお願ひ：810.

平成17年度フェロー候補推薦募集：811.

会 報 原子力関係会議案内，人事公募，専門委報告，主要会務，編集後記：812.

No. 12 (12月号)

巻 頭 言 原子力とともに歩む：小谷隆亮，819

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報：820

解 説 エネルギー基本計画と需給見通し—原子力の位置づけ：茅 陽一，831

私の研究から 核融合装置内の水素同位体を追う：正木 圭，834

連載講座 核燃料工学の基礎—軽水炉燃料を中心に 第 7 回 軽水炉燃料の加工：森 一麻，838

よくわかる核融合炉のしくみ 第 1 回 核融合炉の概要：上田良夫，井上多加志，栗原研一，845

報 告 「2004年秋の大会」学生連絡会企画 第 8 回ポスターセッション：近藤正聡，853

談 話 室 研究と言語—非常勤研究員日本滞在記：アレン チェン，854

大学における炉物理教育—専門の炉物理と教養の炉物理：山本章夫，856

軽水炉次世代燃料の炉物理ベンチマーク：嶋田昭一郎，858. From Ediotrs

冷却 CCD カメラによる天体撮影：岡野邦彦，860

新刊紹介 さまざまなプラズマ：861

会議報告 HTTR ワークショップ「水素製造に関するワークショップ」：椎名保顕 滝塚貴和 笠原清司，862

特別寄稿 Atoms for Peace 50周年によせて：高木直行，伊藤菜穂子，久住涼子，坂本修一，安藤恭子，近藤正聡，近藤寛子，岡野，靖，國枝 賢，864

夏期セミナー 第15回ヒューマン・マシン・システム研究会夏期セミナー：870

第 3 回水化学サマーセミナー イン能登：871

英文論文誌 (Vol.41, No. 12) 抄録，和文論文誌 (Vol.3, No. 4) 抄録：872

会報 原子力関係会議案内，人事公募，専門委報告，主要会務，編集後記：879

総目次・著者名索引 (Vol.46, Nos. 1~12)：(後付)

日本原子力学会誌 総目次 Vol. 47, Nos. 1~12 (2005)

NIHON-GENSHIRYOKU-GAKKAISHI (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

No. 1 (1月号)

(末尾の太字は通巻ページ数です)

- 巻頭言 福井大学における原子力学の事始め：児嶋眞平, 1.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：2.
- 解説 「原子力関連材料と水素」シリーズ③ 水素エネルギー関連材料
：波多野雄治, 井上光浩, 阿部孝之, 中森裕子, 折茂慎一, 長崎正雅, 15. **From Ediotrs**
- 講演 航空機整備分野における安全管理と品質管理：笹原 修, 25.
エロージョン・コロージョンによる高温水中の炭素鋼腐食：柴田俊夫, 30.
- 連載講座 核燃料工学の基礎—軽水炉燃料を中心に
第8回 軽水炉燃料の加工, 軽水炉燃料の核・熱水力設計：萩 茂樹, 山本章夫, 松浦敬三, 35.
よくわかる核融合炉のしくみ 第2回 核融合炉設計のためのプラズマの性質：鎌田 裕, 45.
- 談話室 前処理不要の使用済燃料溶解法：高島洋一, 53.
- 新刊紹介 「原子力がひらく世紀」 55.
昭和15年刊行の鳩山道夫著『原子の話』を探し当てる：加藤和明, 56.
- 会議報告 第5回中性子ラジオグラフィ国際会議：小林久夫, 58.
有人宇宙探査に不可欠な原子力「第7回国際宇宙協力ワークショップ」：神戸 満, 60.
21世紀 COE プログラム「世界の持続的発展を支える革新的原子力」：木村逸郎, 62.
米国原子力学会2004年冬季大会：岡 芳明, 64.
- 支部便り 第3回関東・甲越支部若手研究者発表討論会：草薙秀雄, 66.
Letters 「美浜3号機事故特別セッション」記事について：桜井 淳, 67.
北関東支部平成16年度オープンスクール「もっと知りたい！原子力」：杉本 誠, 68.
- 観覧車 会長・理事の手帳から 原子力利用社会の常識形成のために：出澤正人, 69.
- 英文論文誌 (Vol.42, No. 1) 抄録：70.
- 会報 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 主要会務, 編集後記：74.

No. 2 (2月号)

- 巻頭言 持続可能な原子力の未来に向けて：Mujid S. KAZIMI, 83.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：85.
- 解説 高速炉サイクルシステムの経済性評価手法：小竹庄司, 江沼康弘, 難波隆司, 佐賀山 豊, 95.
「原子力・放射線部門」技術士試験 初めての実施
—技術士試験チャレンジの勧め：日本原子力学会「原子力教育・研究」特別専門委員会 101.
- インタビュー 多国間主義の流れで核軍縮の実現を：猪口邦子, 106.
- 連載講座 核燃料工学の基礎—軽水炉燃料を中心に
第9回 軽水炉燃料のふるまい：更田豊志, 永瀬文久, 笹原昭博, 112.
よくわかる核融合炉のしくみ 第3回 プラズマを超高温にする加熱装置：井上多加志, 坂本慶司, 120.
- 研究室紹介 原爆・被ばく情報データベースの充実した広島大学原爆放射線医学研究所
附属国際放射線情報センター：星 正治, 大瀧 慈, 128. **From Ediotrs**
- 「2005年春の年会」のみどころ：企画委員会 130.
- 会議報告 第11回原子炉材料の熱力学に関するシンポジウム：宇埜正美, 132.
多価値化の世紀と原子力：澤田哲生, 134.
- 日韓学生交流事業派遣学生レポート ソウル国立大学滞在記：萩野晴之, 137.
- 日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート アルゴンヌ国立研究所滞在記：山下雄一郎, 138.
- 海外便り IAEA 便り—5年目の原子力施設安全部での生活 (1) オフィスの環境と仕事：齊藤健彦, 140.
- YGNのページ IYNC 国際会議2004に参加して
「原子力が『死に至る』シナリオから『再生』のシナリオ」発表：142.
- 部会便り 「2004年秋の大会」部会合同企画セッション「低線量放射線リスクと社会」：144.
「2004年秋の大会」部会企画セッション「再処理技術の継承をはかる」：146.

英文論文誌 (Vol.42, No. 1) 抄録：148.

会 報 平成17年度新役員候補者推薦, 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 主要会務, 編集後記：152.

No. 3 (3月号)

巻 頭 言 CSRの推進と原子力：田中宏司, 159.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報：160.

解 説 中性子を反射する, 屈折する, 検出する

—中性子ビーム制御デバイスと検出器の新展開：鬼柳善明, 曾山和彦, 清水裕彦, 田崎誠司, 高橋浩之, 172.

原子力施設におけるクリアランス制度の整備：伊藤洋一, 178.

インタビュー ガイア理論の提唱者 J. ラブロック博士に聞く：J.E. LOVELOCK, S. ION, 183.

報 告 原子力教育における教員研修「原子力体験セミナー」の役割：植田脩三, 安田秀志, 平林孝罔, 188.

講 演 原点を考える—安く豊かな石油時代が終わる：石井吉徳, 193.

連載講座 よくわかる核融合炉のしくみ

第4回 核融合炉の状態を診断し, 最適に制御するシステム：栗原研一, 200.

核燃料工学の基礎—軽水炉燃料を中心に

第10回 燃料の研究開発と管理：大澤 彰, 藤田元久, 甲斐 洋, 山脇道夫, 208.

会議報告 第8回流動励起振動に関する国際会議：稲田文夫, 217.

第1回 COE-INES 国際シンポジウム

INES-1「世界の持続的発展を支える革新的原子力」：関本 博, 山野直樹, 218.

「放射性廃棄物処分2004：地質媒体の役割」に関する日韓共同ワークショップ：佐藤治夫, 220.

談 話 室 企画委員会と会員への提案—成果報告書のCD化をめぐる：桜井 淳, 223.

日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート Argonne National Laboratory 滞在記：坂本文人, 224.

いい記事は, みんなに好評 学会誌記事を評価しました：226.

新刊紹介 「Fluid-Structure Interactions」, 「事例に学ぶ流体関連振動」：229.

英文論文誌 (Vol.42, No. 3), 和文論文誌 (Vol.4, No. 1) 抄録：230.

会 報 原子力関係会議案内, 専門委報告, 主要会務, 編集後記：234.

「第37回日本原子力学会賞」受賞概要：(後付)

No. 4 (4月号)

巻 頭 言 日本のエネルギーを考える：吉村作治, 239.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報：240.

解 説 クリアランス制度について：石樽顕吉, 252.

観 覧 車 会長・理事の手帳から 望まれるのは夢と誇り 別府庸子, 256.

原子力安全委員会におけるクリアランスレベルの検討結果について：吉田敏雄, 257.

ラドン研究の最前線と住居内ラドン濃度規制の動き：山田裕司, 260.

連載講座 よくわかる核融合炉のしくみ 第5回 プラズマに面する耐熱機器

—核燃焼プラズマの熱負荷に耐える壁：鈴木 哲, 上田良夫, 266.

海外便り IAEA 便り—5年目の原子力施設安全全部での生活(その2)

世界中への出張：斉藤健彦, 272.

YGNのページ 第2回 YGN セミナー「もんじゅ及びFBR開発についての検討会」

：千代 亮, 田川明広, 274. From Ediotrs

新刊紹介 「トンデモ科学の見破りかた」, 「キュリー夫人の理科教室」：276.

英文論文誌 (Vol.42, No. 4) 抄録：277.

「2005年秋の大会」研究発表募集：279.

会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 受賞候補者募集, 平成16年度新役員候補者投票, 主要会務, 編集後記, 他：288.

入会案内：(後付)

「第43回原子力総合シンポジウム」プログラム：(後付)

No. 5 (5月号)

巻 頭 言 核拡散防止は原子力平和利用の不可欠条件：鮫島 薫, 297.

会 告 「第47回通常総会」のご通知：298.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報：299. From Ediotrs

- 特 集 大学における原子力学教育の再構築：北村正晴，友田 陽，田中俊一，班目春樹，田中 知，新田隆司，澤田 隆，福井卓雄，岩本多實，木村逸郎，代谷誠治，森山裕丈，石橋健二，石井 護，311.
- 解 説 米国の原子力政策は変わった：神山弘章，338.
世界のトップを走る HTR プロジェクト：塩沢周策，小森芳廣，小川益郎，342.
意見交換の広場 原子力発電増進のアピール—京都議定書の発効に思う：更田豊次郎，349.
新原子力長計の審議における「核燃料サイクル政策についての中間とりまとめ」について：山名 元，350.
試練にさらされる核不拡散体制 エルバラダイ構想とは何か。その実態と行方：遠藤哲也，355.
- 観 覧 車 数字でみる原子力学会：湊 和生，360.
英文論文誌 (Vol.42, No. 5) 抄録：361.
- 会 報 原子力関係会議案内，専門委報告，主要会務，編集後記：363.
「2005年秋の大会」事前参加登録申込み要領：(後付)

No. 6 (6月号)

- 巻 頭 言 日本原子力技術協会の発足：石川迪夫，373.
- N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報：374.
- 観 覧 車 仁科芳雄と武見太郎：田井一郎，382.
- 特 集 BWR 炉心シュラウド等の応力腐食割れに係る最近の研究動向：山脇道夫，恩地健雄，福谷耕司，中村武彦，高橋文信，塚田 隆，内田俊介，385.
- 私の主張 産官学—地域連携による多様な原子力開発：藤井靖彦，398.
- From Editors 402.
- 談 話 室 長寿命核分裂生成物 (LLFP) の同位体分離への挑戦
アルメニア科学アカデミー出張記：小澤正基，403.
IEC 1906賞，北村雅司氏 (三菱電機) 受賞：中沢正治，406
- 日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート 留学のすすめ—交流の意味：小田卓司，407.
- 新刊紹介 「プラズマ物理・核融合」：栗原研一，408.
- 英文論文誌 (Vol.42, No. 6)，和文論文誌 (Vol.4, No. 2)，抄録：409.
- 論文を投稿される方へ：414.
- 会 報 原子力関係会議案内，受賞候補者募集，人事公募，主要会務，編集後記：423.
「第47回通常総会」議事原案：(後付)

No. 7 (7月号)

- 巻 頭 言 社会とのコミュニケーションと双方向の学会活動：芹澤昭示，435.
副会長就任にあたって：田中俊一，河原 暲，436.
- 第38回 (平成17年度) 日本原子力学会賞受賞候補者推薦の募集：438.
- N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報：439.
- 解 説 本当に「安い石油の時代は終わった」のか？：本村真澄，長野浩司，453.
- 報 告 原子力学会倫理規程第2回改訂にあたって
—今までの議論と意見公募について：班目春樹，458.
学会にとって技術倫理とは—「2005年春の年会」倫理委員会セッションより：大場恭子，463.
第43回原子力総合シンポジウム：第43回原子力総合シンポジウム運営委員会 466.
「次の世代が，原子力復権の鍵を握る」
—学生とシニアが，春の年会で対話セッション：編集委員会 470.
- 講 演 合理的規制における利益 (米国例)，専門家育成等の課題，規制の国際化
：S.L.TURNER，諸葛宗男，天野 治，474.
- 私の研究から 原子炉の反応度はどうやって測るの？：島津洋一郎，484.
- 連載講座 よくわかる核融合炉のしくみ
第6回 エネルギー変換を行い，燃料を生産するブランケット：小西哲之，榎枝幹男 488.
- 会議報告 東アジアベースの原子炉熱流動・運転・安全国際会議，7年ぶりに開催
—第6回原子炉熱流動，運転と安全性に関する国際会議 (NUTHOS-6)：二ノ方 壽，吉川榮和，495.
- 談 話 室 放射線に関する授業をして感じたこと：中山知恵子，498.
アジアの持続可能な農業発展を目指すアジア原子力協力 (FNCA) 活動：永崎隆雄，500.
- YGN のページ YGN が抱える課題と今年度の活動方針について：田川明広，502. From Editors
- 新刊紹介 「JCO 臨界事故 その全貌の解明 事実・要因・対応」，「放射化学」：504.

平成17年度役員紹介：506.
英文論文誌 (Vol.42, No. 7) 抄録：507.
会 報 原子力関係会議案内，専門委員会報告，人事公募：509.
標準委員会 意見受付公告について：514.

No. 8 (8月号)

巻 頭 言 原子力は21世紀を超えられるか—社会と学会との情報格差：岩田修一，517.
N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報：518.
私の研究から パルス中性子源水銀ターゲットにおける陽子ビーム励起圧力波による衝撃壊食—ピッチングはモンスターか！：二川正敏，530.
連載講座 よくわかる核融合炉のしくみ 第7回 核融合炉を成立させる最適な材料—過酷な照射条件に耐える新材料の開発最前線：長谷川 晃，土谷邦彦，石塚悦男，536.
シンポジウム 原子力はどのように見られているのか—原子力シンポでのセッション「原子力を見る外部の視点」：編集委員会 545.
会議報告 高速増殖炉サイクル技術をめぐる国内外の動き—トップレベルにたつ日本，このアドバンテージを生かす：再処理・リサイクル部会 548.
「原子力はエネルギー逼迫・環境保全時代の主役になりうるか」第43回原子力総合シンポジウム パネルディスカッションより：木村逸郎，550.
談 話 室 地域住民とのリスクメッセージの協働作成：米澤理加，菖蒲順子，553.
科学・工学的判断と司法：鳥井弘之，556.
「もんじゅ」最高裁判決—プレイヤーとステークホルダーで異なる視点：田中靖政，558.
学生連絡会 学生連絡会ってなんですか？・「2005年春の年会」ポスターセッション報告：学生連絡会 560.
「2005年秋の大会」の見どころ：562.
専門委員会報告 照射試験施設のあり方：「原子力基礎・基盤研究施設に関する調査検討」特別専門委員会 566.
現実的な格納容器ソースタイム評価への期待：「シビアアクシデント時放射性物質移行に係る熱流動評価」研究専門委員会 568.
新刊紹介 「リスクを背負って—原子力発電におけるコントロール文化」：571.
第2回（平成16年度）日本原子力学会関西支部賞 受賞概要：From Editors 572.
平成17年度編集委員長就任挨拶 「魅力ある学会誌づくりを目指して」：菊地義弘，574.
平成17年度編集委員の紹介：575.
英文論文誌 (Vol.42, No. 8) 抄録：577.
会 報 原子力関係会議案内，人事公募，専門委報告，主要会務，編集後記：579.

No. 9 (9月号)

巻 頭 言 豊富な経験と高度の専門知識による安全規制の推進：古屋廣高，589.
N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報：590. From Editors
Nuclear News グリーンピースの創設者が原子力について語る：599.
特 集 もんじゅ控訴審判決の読み方とその背景を探る：田中靖政，岡本浩一，吉村秀實，藤原淳一郎，三島 毅，600.
連載講座 よくわかる核融合炉のしくみ 第8回 トリチウムを扱う燃料循環システム—気体状トリチウム燃料の取扱い技術：深田 智，林 巧，623.
私の研究から 高次マイナーアクチニド核種の核データ測定：原田秀郎，中村詔司，山名 元，630.
「挟み込み法」は収束判定の王道：内藤倅孝，634.
会議報告 ワークショップ「次世代原子力システムの核拡散抵抗性」—その定義と評価の方法：高木直行，菊地昌廣，長部 猛，井上尚子，千崎雅生，638.
第12回原子炉ドシメトリ—国際シンポジウム：櫻井良憲，林 克己，642.
新刊紹介 「Three Mile Island」，「TMI 25 Years Later」：木村逸郎，大磯真一，644.
倫理委員会報告 東京電力自主点検記録不正問題および関西電力美浜発電所二次系配管破損事故への倫理委員会の対応：大場恭子，645.
談 話 室 IAEAの核燃料サイクル計算コード VISTA：吉岡律夫，648.
専門委員会報告 “常温核融合”の進展と状況 「サブ keV エネルギー領域での凝集系核現象」：特別専門委員会 650.
我が国における革新的小型炉開発の現状：「革新的小型原子炉システム」研究専門委員会 652.
YGN のページ さまざまな学協会の若手の会の取り組み：太田宏一，655.
平成17年度企画委員会紹介：657.

平成17年度部会等運営委員会紹介：658.

英文論文誌 (Vol.42, No. 9) 抄録, 和文論文誌 (Vol.4, No.3) 抄録：659.

会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 主要会務, 編集後記：663.

No. 10 (10月号)

巻 頭 言 日本原子力研究開発機構の発足に際して：殿塚猷一, 669.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報：670.

講 演 地球規模問題への対応戦略：茅 陽一, 682.

解 説 わが国の原子力平和利用と日本学会会議の役割
これまでの活動と今後への期待：木村逸郎, 687.

報 告 原子力研修の現状と今後—社会のニーズに合わせるために：傍島 眞, 693.

私の研究から サブ・グループ法の魅力とその展望：山本敏久, 698.

連載講座 よくわかる核融合炉のしくみ

第9回 プラズマ閉じ込めの磁場を作る超伝導コイル：小泉徳潔, 西村 新, 703.

From Editors：709 (41)

会議報告 人工元素テクネチウム研究の学際的広がり (IST 2005)：関根 勉, 小澤正基, 710.

談 話 室 科学技術か研究開発か：古橋 晃, 712.

専門委員会報告 アクチニド物性科学研究の現状：「アクチニドの物性科学研究」研究専門委員会 713.

モンテカルロ計算の高信頼性を目指して：「モンテカルロ計算法高度化」研究専門委員会 716.

定常核融合炉実現のための研究開発：「定常核融合炉における先進的システム」研究専門委員会 718.

新刊紹介 「知っておきたい環境問題」：720.

YGN のページ チーム・マイナス6%に参加しました：田川明広, 721.

編集委員会からのお願い 学会誌の記事がさらに広く読まれるために：722.

英文論文誌 (Vol.42, No. 10) 抄録：723.

「2006年春の年会」研究発表募集：725.

会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 受賞候補者募集, 専門委報告, 主要会務, 編集後記：734.

入会案内：(後付)

No. 11 (11月号)

巻 頭 言 原子力と地域の共生：三村申吾, 741.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報：742.

Nuclear News ビジネス広報媒体としての Nuclear News：754.

解 説 諸外国の原子力安全規制におけるリスク情報の活用状況：日高昭秀, 755.

連載講座 よくわかる核融合炉のしくみ

第10回 炉内機器を修理する遠隔操作ロボット：柴沼 清, 761.

From Editors 767.

会議報告 「核兵器廃絶を目指して広島で大会」

—第55回バグウォッシュ会議年次大会報告：大西 仁, 768.

放射線安全と計測技術に関する国際シンポジウム (ISORD-3)：石橋健二, 馬場 護, 770.

夏期セミナー報告 第12回「放射線工学」夏期セミナー：放射線工学部会 771.

海外便り 続・フランス放射性廃棄物管理機関 (ANDRA) 滞在記：高村 尚, 772.

専門委員会報告 超小型放電型核融合中性子・陽子源—開発研究の現状と地雷探査への応用

：「可搬・簡易放電型核融合中性子・陽子源」研究専門委員会 774.

核燃料新技術と応用：「核燃料新技術と応用」研究専門委員会 776.

倫理つれづれ 「よりよく生きる」ためにある「倫理」：大場恭子, 778.

新刊紹介 「ルミネッセンス (発光) で探る古代情報」, 「Nuclear English」：779.

観 覧 車 会長・理事の手帳から 「放射線と原子力」：鬼柳善明, 780.

英文論文誌 (Vol.42, No. 11) 抄録：781.

会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 受賞候補者募集, 専門委報告, 主要会務, 編集後記：783.

「2006年春の年会」参加事前登録申込み要領・外国籍の皆様へ：(後付)

No. 12 (12月号)

- 巻頭言 原子力安全の生き生きとした力：広瀬研吉, 789.
- 会告 平成18・19年度代議員選挙に係わる支部、部会等の推薦候補の推薦について：790.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報：791.
- 特集 トリウム燃料サイクルの研究開発と動向
- 第1部 高い核拡散抵抗性と優れた特性を有するトリウム燃料サイクル
：山脇道夫, 山名 元, 宇根崎博信, 福田幸朔, 802.
- 講演 環境の保全に配慮した放射性廃棄物処分の課題—処分地の立地に向けて：中野政詩, 822.
- 解説 加圧水型原子力発電所蒸気発生器の保全と水質管理を振り返って：高松 洋, 827.
- 安全最優先の価値を、組織全体で共有する
—原子力安全委が、安全文化意見交換会の結果をまとめる：佐田 務, 835.
- 意見交換の広場 鳥取県ウラン採掘残土問題について：更田豊治郎, 838.
- 連載講座 よくわかる核融合炉のしくみ 第11回 核融合炉の安全性：大平 茂, 839.
- 新刊紹介 「低線量放射線の健康影響」：845.
- 男女共同参画 科学技術系学会における男女共同参画と原子力学会の場合：小川順子, 小林容子, 岩城智香子,
岡田往子, 大野富生, 846.
- 会議報告 アルプスの急流と第7回核破砕材料ワークショップ：菊地賢司, 川合将義, 852. From Editors
「原子力の安全に関する条約」第3回検討会合：青木英人, 大久保正紀, 芥川邦雄, 854.
- 夏期セミナー報告 平成17年度「ヒューマン・マシン・システム部会夏期セミナー」：高橋 信, 856.
- 第7回「環境放射能・放射線夏の学校」：田中 究, 857.
平成17年度「大洗原子力材料夏の学校」：栗下裕明, 858.
- 倫理つれづれ 「法」と「倫理」：大場恭子, 859.
- 夏期セミナー報告 第20回「核燃料・夏期セミナー」：安部田貞昭, 860.
- 部会便り 熱流動部会・計算科学技術部会共催 秋季セミナー「Dr.フォーラム」報告：上出英樹, 湊 明彦, 861.
- 専門委員会報告 核融合炉におけるトリチウムの安全取扱いを目指して
：「D-T 核燃焼炉におけるプラズマ・壁相互作用」研究専門委員会 862.
- 企画委員会からの報告(1) 原子力学会改革の狙い：新企画委員会における検討開始と今後の予定：田中 知, 865.
- 英文論文誌 (Vol.42, No.12) 抄録, 和文論文誌 (Vol.4, No.4) 抄録：866.
- 会報 原子力関係会議案内, 受賞候補者募集, 専門委報告, 主要会務, 編集後記：869.
- 総目次・著者名索引 (Vol.47, No.1~12)：後付.

日本原子力学会誌 総目次 Vol. 48, Nos. 1~12 (2006)

NIHON-GENSHIRYOKU-GAKKAI SHI (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

No. 1 (1月号)

(末尾の太字は通巻ページ数です)

- 巻頭インタビュー 大綱で、原子力利用の筋道を明確化した：近藤駿介, 聞き手：八木絵香, 1.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 7.
- 特集 トリウム燃料サイクルの研究開発と動向 第2部 高い核拡散抵抗性と優れた特性を有するトリウム燃料サイクル：
山脇道夫, 山名 元, 宇根崎博信, 福田幸朔, 20.
- 講演 地域と原子力の自立的な連携を目指して—エネルギー研究開発拠点化計画：野坂明信, 35.
- 解説 マイクロ化学チップテクノロジーと原子力再処理工程溶液分析への適用を目指して：渡慶次 学, 池田泰久,
北森武彦, 38.
- 原子力広報—FNCA アジア7ヶ国の活動：久保 稔, 田中靖政, 44.
- 連載講座 よくわかる核融合炉のしくみ 第12回 核融合炉実現に向けて—核融合研究開発の将来像：岡野邦彦, 栗原研一,
飛田健次, 48.
- 支部便り 北関東支部 平成17年度オープンスクール「もっと知りたい！原子力」：杉本 誠, 57.
- 会議報告 アクチニド化合物の材料科学研究に関する最近の動向—第8回アクチニド会議(ACTINIDE 2005)：宇埜正美,
山村朝雄, 大貫敏彦, 塚田和明, 逢坂正彦, 芳賀芳範, 58.
- 海外便り スウェーデンに引越して：北野剛司, 60.
- 企画委員会から報告(2) 時代に則した学会へ—学会として優先すべき実施項目に関するアンケート調査結果報告, 62.
- From Editors, 63.
- 倫理つれづれ(3) 「倫理規程2005年改訂版発効」&「第3期倫理委員会始動」!, 大場恭子, 64.
- 新刊紹介 CHERNOBYL—Catastrophe and Consequence, 65.
- 英文論文誌(Vol.43, No.1)抄録, 66.
- 第6回核融合エネルギー連合講演会—一般講演(ポスター発表)募集, 69.
- 会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 受賞候補者募集, 専門委報告, 日本原子力学会プライバシーポリシー, 主要会務,
編集後記, 71.

No. 2 (2月号)

- 巻 頭 言 再処理工場のアクティブ試験に向けて：兒島伊佐美, 77.
- 第38回(平成17年度)日本原子力学会賞」18件が受賞決定, 78.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 80.
- 特集 原子力発電の安全に関する研究開発ロードマップ：「発電炉の安全に関する研究開発ロードマップ作成」特別専門委員会
澤田 隆, 岡本孝司, 寺井隆幸, 関村直人, 木村逸郎, 前田宣喜, 94.
- 解説 安価, シンプル, 核不拡散性のある乾式再処理(DUPIC)技術開発とカナダ AECL の活動：天野 治, 山下淳一, 108.
原子力知識マネジメントとはなにか?—その現状と課題：柳澤和章, 米澤 稔, 澤田哲生, 113.
原子力地域熱供給：スイスの実績：杉山憲一郎, 島津洋一郎, 熊木 淳, 石谷 昇, 119.
- 報 告 倫理活動における賛助会員との協力の可能性—賛助会員へのアンケート結果をもとに：中安文男, 125.
- 倫理つれづれ(4) 「規定」と「規程」：大場恭子, 129.
- 会議報告 軽水炉材料の環境劣化国際会議参加の記：仲田清智, 小澤正義, 130.
第2回原子力発電所のための将来の計装と制御に関する国際シンポジウム：長松 隆, 高橋 信, 遠藤 久, 132.
原子力水素製造への国際的関心高まる—第2回 HTTR ワークショップ：椎名保顕, 滝塚貴和, 笠原清司, 134.
水炉燃料専門家国際会議を京都で開催—アジアで初開催 活発な議論が展開される：石隈和雄, 136.
- 企画委員会からの報告(3) 学会改革のグランドデザイン, 学会活動のすべてを見直してみよう, 138.
- 新刊紹介 原著第3版「原子核工学入門(下)」, 140.
- 英文論文誌(Vol.43, No.2)抄録, 141.
- 標準委員会「意見受付公告について」, 144.
- 会 報 原子力関係会議案内, 平成18年度新役員候補者推薦, 人事公募, 主要会務, 編集後記, 他, 146.

No. 3 (3月号)

- 巻頭言 昨今学内事情と私的バイオ・エネルギー研究：牧野圭祐, 153.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 154.
- 解説 21世紀の地層処分研究開発—技術的知識基盤の構築：梅木博之, 166.
地層処分に関わる人材育成の国際的な取り組み—地下廃棄物貯蔵・処分国際研究センター(ITC)の設立に参加して：
佐久間秀樹, 172.
- 講演 石油ピークが近い11の理由：小野章昌, 176.
海外における原子力の現状—国際核管理構想への対応と原子力産業の国際展開：水元伸一, 185.
- 連載講座 軽水炉の確率論的安全評価(PSA)入門(第1回) PSA 技術活用の経緯と基本的考え方：平野光将, 190.
- 倫理つれづれ(5) 倫理的な企業を応援しませんか?：大場恭子, 197.
- 会議報告 核燃料サイクル多国間管理への新たな提案—カーネギー平和財団「核不拡散会議」報告：鈴木達治郎, 198.
第12回凝集系核科学国際会議報告：成田晋也, 200.
- 談話室 “処分研究ネットワーク”へのいざない：中山真一, 長崎晋也, 202.
リスクミというのをやめてみよう：菊地卓司, 204.
- 夏期セミナー報告 第1回日韓先進原子力燃・材料・核融合工学夏の学校：小西哲之, 山本 靖, 206.
- 専門委員会報告 核融合炉ブランケット工学と ITER：「核融合炉ブランケット工学」特別専門委員会, 208.
- 新刊紹介 トコトンやさしいエネルギーの本, 「安全」のためのリスク学入門, 210.
- 英文論文誌(Vol.43, No.3)抄録, 和文論文誌(Vol.5, No.1)抄録, 211.
- 平成18年度「シルバー会員」・「永年会員」の表彰, 215.
- 会報 原子力関係会議案内, 人事公募, 主要会務, 編集後記, 216.
「第38回日本原子力学会賞」受賞概要(後付)

No. 4 (4月号)

- 巻頭言 なぜノーベル賞を取り得たか?：江崎玲於奈, 221.
- 会告 平成18・19年度代議員選挙について, 222.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 225.
- インタビュー 「学会が本来、果たすべきミッションを考え、それを実行する」：田中 知, (聞き手)太田宏一, 川岸礼佳, 235.
- お知らせ 学会誌刷新のお知らせ 編集委員会, 240.
学会誌アンケートシステムのご案内, 241.
- 解説 より合理的な規制をめぐる議論—原子力安全委, リスク情報活用でシンポジウム：日高昭秀, 佐田 務, 242.
From Editors, 245.
- 報告 人形峠のウラン開発に関するエスノグラフィ研究：岡山県立津山高校, 246.
- 連載講座 軽水炉の確率論的安全評価(PSA)入門(第2回) リスク情報の活用事例について：田南達也, 宮田浩一, 251.
計算科学手法と原子力分野における応用(第1回) 計算科学技術化の概観, 連続体のシミュレーション手法と適用例
(その1)：岡 芳明, 奥田洋司, 257.
- 会議報告 未来世代のための原子力システムに関する国際会議(GLOBAL 2005)：GLOBAL 2005プログラム委員会, 266.
「2006年春の年会」から 倫理委員会企画セッション[一般公開]の話題：倫理委員会, 269.
- 夏期セミナー 第21回「バックエンド夏期セミナー」：上田真三, 271.
- 談話室 アルメニアノート：澤田哲生, 赤塚 洋, 小澤正基, 273.
- 専門委員会報告 次世代再処理技術開発の現状と展望：「再処理技術」研究専門委員会, 276.
- 新刊紹介 原子力—自然に学び, 自然を真似る, 金属における拡散, 278.
- 支部便り 北関東支部 平成17年度北関東支部活動の紹介：上出英樹, 279.
- 倫理つれづれ(6) 学ぶこと・身につけること：大場恭子, 280.
- 日本原子力学会「フェロー」一覧, 281.
- 英文論文誌(Vol. 43, No. 4)抄録, 282.
- 「2006年秋の大会」研究発表応募要領, 289.
- 会報 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 平成18年度新役員候補者投票のご通知, 主要会務, 編集後記, 299.
「原子力総合シンポジウム2006」プログラム(後付)

No. 5 (5月号)

- 巻頭言 一日も早く「水素経済社会」を築こう：平田 賢, 309.

- 会 告 「第48回通常総会」のご通知, 310.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 311.
- 学会 NEWS 総務財務委員会の概要と活動状況, 319.
- 解 説 米国グローバル原子力パートナーシップ(GNEP)構想—その目的と課題: 鈴木達治郎, 320.
原子力知識マネジメント—21世紀の課題 André Maisseu, 323.
分離変換技術の導入効果—高レベル放射性廃棄物処理・処分への効果の試算: 「分離変換サイクル」研究専門委員会, 327.
発電用新型炉の高温構造設計手法と3次元免震技術の開発: 井上和彦, 柴本 宏, 高橋健司, 生玉真也, 森下正樹, 青砥紀身, 笠原直人, 浅山 泰, 北村誠司, 333.
- 連載講座 計算科学手法と原子力分野における応用(第2回) 連続体のシミュレーション手法と適用例(その2): 奥田洋司, 岩本達也, 339.
- 会議報告 革新的原子力エネルギーシステムに関する MIT-東工大シンポジウム: 関本 博, 加藤之貴, 348.
核融合炉工学技術をめぐる世界の動向—第7回国際核融合炉工学技術シンポジウム(ISFNT-7より): 秋場真人, 350.
放射線輸送: 実験, 計算および理論, およびエネルギーおよび変換のための加速器駆動未臨界システム
の物理に関するワークショップ: 小林啓祐, 353.
- YGNのページ 日本原燃広報チームと意見交換会: 田川明広, 356.
- 談話室 ロスアラモス体験記: 渡邊健人, 357.
- 学生連絡会 「学生とシニアの対話 in 関西」報告: 羽倉尚人, 359.
- 新刊紹介: 放射線および環境化学物質によるがん発がん, 358; 今, なぜ, 若者の理科離れか, 361.
- 倫理つれづれ(7) いまや「技術者倫理」は必修科目です!: 大場恭子, 362.
- 英文論文誌 (Vol. 43, No. 5) 抄録, 363.
- 会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 英文・和文誌掲載料改定, 学会誌アンケートシステムご案内, 主要会務, 編集後記, 366.

No. 6 (6月号)

- 巻 頭 言 安全は全てに優先する—原子力発祥の地からのメッセージ: 橋本 昌, 375.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 377.
- 学会 NEWS 収入減が続く原子力学会財務状況, 教育委員会が本格的活動開始, 人形峠の50年と中国・四国支部見学会, 387.
- 講 演 原子力の「再生」「新生」への道と新たなグローバル・レジームの形成: 谷口富裕, 389.
- 解 説 わが国のがんの現状と放射線治療—医学物理士育成が課題: 中川恵一, 石川正純, 上坂 充, 斉藤鉄夫, 398.
- 連載講座 計算科学手法と原子力分野における応用(第3回) 連続体のシミュレーション手法と適用例(その3): 佐竹信一, 切刀資彰, 403.
軽水炉の確率論的安全評価(PSA)入門(第3回) 内的事象レベル1 PSA: 村松 健, 409.
- 企画委員会からの報告 原子力学会はいかにあるべきか—「2006年春の年会」企画委員会セッション報告: 秋葉美幸, 堺 公明, 418.
「2006年春の年会」倫理委員会企画セッション報告—期待される「倫理規程の浸透」: 倫理委員会, 423.
- 新刊紹介 「Nuclear Principles in Engineering」, 426.
- 談話室 ナトリウム冷却炉と使用前試験: 能澤正雄, 427.
1月号巻頭インタビューを読んで: 久住涼子, 428.
- YGNのページ 後藤先生との意見交換について: 田川明広, 429.
- 学生連絡会 学生による学会活動報告 第1回(全3回): 羽倉尚人, 西山 潤, 430.
- 支部便り 関西支部活動報告(マスコミとの情報交換会, オープンスクールなど), 三島嘉一郎, 432.
佐野忠雄先生を偲ぶ: 三宅正宣, 433.
- 倫理つれづれ(8) ヒューマンエラーと技術者倫理: 大場恭子, 434.
- 英文論文誌 (Vol. 43, No. 6) 抄録, 和文論文誌 (Vol. 5, No. 2) 抄録, 435.
- 会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 主要会務, 編集後記, 440.
「第48回通常総会」議事原案(後付)

No. 7 (7月号)

- 巻 頭 言 新たな原子力科学の幕開けを目指そう!: 田中俊一, 449.
- 新任 副会長就任にあたって: 松井一秋, 岡 芳明, 450.
- 第39回(平成18年度)日本原子力学会賞受賞候補者推薦の募集, 451.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 452.
- 学会 NEWS 年会・大会の「電子化」は利便性向上と経費節約に貢献—一部会等運営委員会の活動から, 459.

- Nuclear News** EPAの高レベル廃棄物処分場に対する1万年の規制時間枠の由来について：鳥飼誠之, 460.
- 特集** フレキシブルメンテナンスシステム(FMS)—その背景と構想および技術開発成果：吉川榮和, 渡辺長深, 瀧澤洋二, 大賀幸治, 大井 忠, 461.
- 解説** 低減速炉の技術開発の進捗および課題—軽水炉技術によるプルトニウムのマルチリサイクルや増殖を目指して：大久保 努, 師岡慎一, 竹田練三, 484.
- 連載講座** 軽水炉の確率論的安全評価(PSA)入門(第4回) 起回事象発生頻度, 機器故障率, ヒューマンエラー等のデータベース：福田 護, 桐本順広, 490.
- 連載講座** 計算科学手法と原子力分野における応用(第4回) 連続体のシミュレーション手法と適用例(その4)：関村直人, 沖田泰良, 497.
- 会議報告** 「2006年春の年会」現地企画セッション日本原子力研究開発機構への期待と今後の展開：家田芳明, 茶谷恵治, 506. 原子力の未来へ向かって—女子大生の視点から「2006年春の年会」体験レポート：小川順子, 鈴木美咲, 小野綾子, 松崎有華, 511.
- 学生連絡会** 学生による学会活動報告第2回(全3回)：岡本将典, 羽倉尚人, 515.
- 海外便り** Argonne National Laboratory 滞在記：藤木 尚, 517.
- 新刊紹介** 改訂・原子力安全の倫理, 518.
- 理事からのメッセージ** 生活基盤を支える仕事に誇りを：菊地義弘, 519.
- 支部便り** 平成17年度関東・甲越支部活動の紹介 横山速一, 日渡良爾, 520.
- 倫理つれづれ(9)** 「倫理」の範囲：大場恭子, 522.
- 平成18年度役員紹介, 523.
- 英文論文誌(Vol. 43, No. 7)抄録, 524.
- 会 報** 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 主要会務, 編集後記, 527.

No. 8 (8月号)

- 巻 頭 言** グローバルな原子力リネッサンスを加速する：ジョン・リッチ, 537.
- NEWS** 原子力界における最近の動き・海外情報, 539.
- 解説** 日本初 商業用原子力発電所の廃止措置：佐藤忠道, 551.
法体系を品質の面から考える：森 信昭, 諸葛宗男, 天野 治, 556.
チェルノブイリや臨界事故で言及される原子力—高校教科書にみる原子力関連記述：佐田 務, 563.
- 論文種別および審査基準が変わります！論文誌投稿論文種別変更のお知らせ**, 570.
- 連載講座** 軽水炉の確率論的安全評価(PSA)入門(第5回) 内的事象レベル2 PSA：梶本光廣, 571.
計算科学手法と原子力分野における応用(第5回) 離散系のシミュレーション手法(その1)：山本敏久, 森 貴正, 579.
- 会議報告** 原子力の将来になぜ男女共同参画が必要か—行政, 大学, 企業それぞれの立場からの発言：岡田往子, 岩城智香子, 小林容子, 大野富生, 586.
- From Editors**, 588.
- 私の研究から** 大学における放射能安全に関する管理と研究の狭間で：福井正美, 589.
- 原子力機関・研究所紹介** 株原子力安全システム研究所滞在記：川岸礼佳, 594.
- 倫理委員会報告** 「技術倫理」をリードする他学会も注目の活動内容とは：大場恭子, 596.
- 新刊紹介** Thermo-fluid Dynamics of Two-Phase Flow, 598；飛躍の軌跡・核融合, 603.
- 専門委員会終了報告** 「放射線利用技術の新展開」研究専門委員会, 599.
- 学生連絡会** 学生による学会活動報告：春日章治, 中村 誠, 601.
- SNW 報告** 社会を良くするためにシニアの力を結集, 天野 治, 604.
- 倫理つれづれ(10)** 倫理へのイメージ：大場恭子, 605.
- 「2006年秋の大会」みどころ, 606.
- 編集委員長あいさつ** 二ノ方 寿；平成18年度編集委員の紹介, 611.
- 英文論文誌(Vol. 43, No. 8)抄録, 614.
- 会 報** 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 主要会務, 編集後記, 617.

No. 9 (9月号)

- 巻 頭 言** 悠久の時間と、人間の知恵：堀場雅夫, 625.
- NEWS** 原子力界における最近の動き・海外情報, 626.
- 特集** リサイクル燃料資源の確かな安全備蓄に向けて—使用済燃料中間貯蔵の現状と対策：有富正憲, 重留義明, 蔦澤雄二, 上村勝一郎, 安部 浩, 横山 武, 白井孝治, 竹田知幸, 大西一成, 広瀬 誠, 吉村英二, 下条 純, 望月信一, 大岩章夫, 清水 仁, 637.

解説 放射線の有効利用—放射性廃棄物の有効利用を目指して：田辺哲朗，吉田朋子，661.
講演 温暖化とエネルギー問題克服に向けて—原子力への期待とその課題：鈴木達治郎，669.
連載講座 軽水炉の確率論的安全評価(PSA)入門(第6回) 地震 PSA：蛭沢勝三，676.
計算科学手法と原子力分野における応用(第6回) 離散系のシミュレーション手法(その2)：越塚誠一，松原 聖，
福澤 薫，684.
新刊紹介 グローバルセキュリティの再構築と危機管理 I，683.
私の研究から 詳細二相流解析による原子炉熱設計手法の確立を目指して—数値拡散を低減した界面追跡法の開発
：吉田啓之，690.

From Editors, 695.

TOPIC 女性の活用で人資源の付加価値を—多様化こそが組織の力となる；WIN-Japan の小川さんと小林さんに聞く：
佐田 務，696.

会議報告 ICAPP'06等に見る海外の高速炉開発状況：羽賀一男，698.

専門委員会報告 「もんじゅ研究利用」に関する提言：「もんじゅ研究利用」特別専門委員会，699.

SNW 報告 シニアネットワーク発足とその意義：竹内哲夫，702.

YGN 報告 「2006年春の年会」連絡会企画セッション報告：石寺孝充，703.

今年度の活動方針について—新しくゲーミングシミュレーション開発に取り組む：田川明広，704.

夏期セミナー報告 第21回「核燃料・夏期セミナー」：三島 毅，706.

海外便り アルゴンヌ国立研究所滞在記：松岡雷士，708.

支部便り 北海道支部平成17年度活動報告：加藤正英，710.

倫理つれづれ(11) 「原子力学会」の倫理規程のもつ「らしさ」：大場恭子，712.

企画委員長あいさつ 澤田 隆；委員紹介，713.

部会等運営委員長あいさつ 飯井俊行；委員紹介，714.

英文論文誌 (Vol. 43, No. 9) 抄録，和文論文誌 (Vol. 5, No. 3) 抄録，715.

会 報 原子力関係会議案内，人事公募，専門委報告，日本原子力学会「奨学生」の募集，主要会務，編集後記，724.

No. 10 (10月号)

巻 頭 言 米国における原子力カルネッサンス—今日，そして明日：A. S. ハワード，731.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，733.

Nuclear News 米国大学の原子力研究への補助金政策：澤田哲生；ウラン高値で米ウラン生産は復活するか：高田 誠，743.

解説 中国・韓国の廃棄物処分を巡る動き：玉ノ井宏一，岡野憲太，746.

原発論争—コミュニケーションの視点からみた推進，反対派とメディアのふるまい：佐田 務，753.

石油の代替エネルギーをEPRから考える：天野 治，759.

CABRI 試験からの高速炉安全研究に係る主要な知見：佐藤一憲，766.

連載講座 軽水炉の確率論的安全評価(PSA)入門(第7回)最終回 公衆のリスクを評価するレベル3 PSA：本間俊充，773.

計算科学手法と原子力分野における応用(第7回) 離散系のシミュレーション手法(その3)：渡辺 正，780.

From Editors, 779.

私の研究から 複雑な材料劣化現象の解明にチャレンジする—IASCCのメカニズム：福谷耕司，785.

会議報告 第15回放射化学国際会議報告：小澤正基，790.

専門委員会終了報告 核燃料施設でのリスク情報の活用を目指して：「核燃料施設事故影響評価手法調査」特別専門委員会，793.

談話室 放射性廃棄物の高効率管理：高島洋一，795.

新刊紹介 Nuclear Renaissance: Technologies and Policies for the Future of Nuclear Power, 796；原子力カルネッサンスの風，798.

セミナー報告 第6回「材料夏期セミナー」：井岡郁夫，797.

海外便り カナダ・シャープルック大学滞在記：山下真一，799.

部会便り 「再処理・リサイクル部会」第4回セミナー：深澤哲生，800.

倫理つれづれ(12)最終回 もはやムラの中だけでは生きられない社会にあって：大場恭子，802.

国際活動委員会 委員長あいさつ；標準委員会 委員長あいさつ，803.

学会誌記事 Web アンケート報告 少し読みやすくなったが，まだまだ不十分，804.

論文抄録の学会誌への掲載廃止について，806.

英文論文誌 (Vol. 43, No. 10) 目次，807.

学会誌の名前を募集します，808.

お知らせ 「2007年春の年会」研究発表募集，809.

会 報 原子力関係会議案内，人事公募，専門委報告，分類項目(専門分野)の新設について，Press Release 北朝鮮核実験宣言に
ついて，主要会務，編集後記，819.

No. 11 (11月号)

- 巻頭言 テロと核：2つの悩ましい問題：猪口 孝, 825.
- 追悼 故都甲斐正先生を偲ぶ：近藤駿介, 826.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 827.
- 特集 水素インフラと原子力による水素製造：塩沢周策, 齋藤伸三, 岡野一清, 魚谷正樹, 小川益郎, 日野竜太郎, 835.
- From Editors, 852.
- 講演 原子力における若い人材確保の問題について：班目春樹, 853.
- 解説 国がまず第一歩を踏み出す原子力政策—我が国原子力政策を示す「原子力立国計画」：柳瀬唯夫, 857.
電力に占める原子力の割合80% 原子力を使いこなすフランス：バーナード・タンチェリエ：(解説)天野 治, 863.
湿式再処理における材料技術開発：木内 清, 871.
- 連載講座 計算科学手法と原子力分野における応用(第8回) 高速化技術(その1)：横川三津夫, 877.
- 私の研究から 核燃料再処理分野における材料腐食研究：竹内正行, 永井崇之, 小泉 務, 881.
- 会議報告 高速中性子の検出技術と応用研究に関する国際ワークショップ：原野英樹, 馬場 護, 884.
- 談話室 いつまでエネルギー問題に目を逸してられるのか：金川 昭, 887.
- 海外便り University of California, Los Angeles 滞在記：中拂博之, 889.
- 広報情報委員会 委員長あいさつ；教育委員会 委員長あいさつ 飯井俊行, 890.
- 新刊紹介 環境・エネルギーそして旅, ヒューマンインタフェースの心理と生理, 891.
- SNW 報告 シニアネットワークが目指すもの：荒井利治, 892.
- 学会誌 Web アンケート報告 興味はあるが, 構成にもう一工夫がほしい, 893.
- 英文論文誌 (Vol. 43, No. 11) 目次, 894.
- 会報 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 主要会務, 平成19年度フェロー候補推薦募集, 投稿原稿採否に関する判断条件, 編集後記, 896.

No. 12 (12月号)

- 巻頭言 原子力推進に国論の終結を：今井 敬, 903.
- NEWS 原子力会における最近の動き・海外情報, 904.
- Nuclear News 原子力発電所の新規建設は, 今後, 有能な系統試験技術者と起動試験技術者を必要とするが, 十分な人員が確保できるのか：五百旗頭弘之, 915.
- 意見交換 学会はどこまで利用できるか 相互研さんやシナジーの場としての可能性を問う：岡 芳明, 春日章治, 高田夕佳, 西山 潤, 羽倉尚人, 澤田哲生, 917.
- 特集 燃料配置を決定せよ！実機軽水炉における燃料配置の最適化技術：山本章夫, 蛇川季嗣, 左藤大介, 佐藤 仁, 山崎正俊, 924.
- 解説 粒子・重イオン輸送コード PHITS が開く世界：中村尚司, 仁井田浩二, 岩瀬 広, 佐藤達彦, 949.
原子力の理解促進にむけた効果的アウトリーチ活動の実践について：郡司郁子, 955.
- From Editors, 954.
- 連載講座 計算科学手法と原子力分野における応用(第9回) 高速化技術(その2)：中島研吾, 961.
- 会議報告 「使用済燃料管理及び放射性廃棄物管理の安全に関する条約」第2回検討会合：芥川邦雄, 青木英人, 大久保正紀, 中川政樹, 967.
- 専門委員会報告 3年目に入った原子力・放射線部門の技術士制度：教育委員会, 「原子力教育・研究」特別専門委員会, (社)日本技術士会 原子力・放射線部会, 969.
- 専門委員会終了報告 判断に迷う問題及び不確実性を生じる問題の検討：「モンテカルロ計算法高度化」研究専門委員会報告, 971.
- 支部便り 関東・甲越支部第1回原子力オープンスクール「未知との遭遇, アトムの世界」開催：横山速一, 日渡良爾, 973.
- 夏期セミナー報告 第4回水化学サマーセミナー イン J ヴィレッジ：磯部 毅, 974.
第22回バックエンド夏期セミナー：内藤守正, 976.
- 新刊紹介 Physics for Radiation Protection, A Handbook, Second Edition, Completely Revised and Enlarged, 975；
水素将来のエネルギーを目指して, 977.
- YGN 報告 新しい原子力理解促進ツール開発への挑戦：加藤太一, 978.
- 英文論文誌 (Vol.48, No.12) 目次, 和文論文誌 (Vol.5, No.4) 目次, 981.
- 会報 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 主要会務, 編集後記, 983.
- 後付 総目次・著者名索引 (Vol.48, No.1~No.12)

日本原子力学会誌 総目次 Vol. 49, Nos. 1~11・12 (2007)

NIHON-GENSHIRYOKU-GAKKAI SHI (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

No. 1 (1月号)

(末尾の太字は通巻ページ数です)

- 巻頭言 日本経済・社会における原子力の役割に想う：勝俣恒久, 1.
- 会告 フェロー制度の企画運営についての報告：成合英樹, 2.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 3.
- 学会 NEWS—ホットな話題 学会の機動的運営を目指して—理事会運営ボードの設置と活動について：理事会運営ボード, 15.
- Nuclear News 米国の大学で核燃料サイクルの教育を復活する動き：楠野貞夫, 17.
- インタビュー 「国民の立場に立って、国民の生命と安全を守ることが使命」原子力安全委員会委員長 鈴木篤之氏に聞く：小林容子, 18.
- 解説 チェルノブイリ20年の真実—事故による放射能影響をめぐって：金子正人, 24.
- シリーズ解説 核不拡散と GNEP(国際原子力パートナーシップ)構想(その1) 原子力平和利用と核不拡散の現状と課題—新たな秩序への模索：千崎雅生, 田崎真樹子, 29.
- 解説 超音波流量計の導入で、日本でも原子炉出力向上は可能か?—「原子炉出力向上に関する技術検討評価」特別専門委員会、「超音波流量計に関する技術検討評価」分科会 中間報告書：岡本孝司, 木倉宏成, 39.
- From Editors, 44.
- 解説 放射線誘起表面活性効果による高性能原子炉技術開発；放射線照射による表面活性効果を用いた炉内伝熱・防食技術の向上技術：賞雅寛而, 阿部弘亨, 秋葉美幸, 安永龍哉, 45.
- 会議報告 ベントナイトおよび岩石中における拡散現象に関する情報交換会—地層処分の安全評価を目指して：佐藤治夫, 51. 「2006年秋の大会から」職場のハラスメントを考える—無意識に行われるケースはないか?：大野富生, 53. 女子高生夏の学校—科学・技術者のたまごたち：岡田往子, 56.
- 夏期セミナー報告 モンテカルロ基礎理論および計算演習セミナー：桜井 淳, 58.
- 談話室 第1回ジュネーブ会議の舞台裏(その1)：河田東海夫, 59.
- Young Generation Network 「2006年秋の大会」企画セッション報告：林崎規託, 61.
- 学生連絡会 ポスター・セッション休止で、予想外の反響；学生連絡会発—06年「秋の大会」：学生連絡会 運営委員会, 62.
- 原子力機関・研究所紹介 テプコシステムズ滞在記：岩田智樹, 63. 三菱重工業(株)原子力技術センター訪問記：坪田 忍, 65.
- 新刊紹介 Nuclear Safety：木村逸郎, 66.
- Web アンケート アンケート回答者数が大幅にアップ！ Web アンケート結果(9月号), 67.
- 英文論文誌(Vol. 44, No. 1)目次, 69.
- 会報 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 主要会務, 編集後記, 70.

No. 2 (2月号)

- 巻頭言 新たな原子力研究開発政策の実現に向けて：岡崎俊雄, 75.
- 「第39回(平成18年度)日本原子力学会賞」受賞決定, 76.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 78.
- 特集 INPRO(革新的原子炉および燃料サイクル国際プロジェクト)の活動状況と今後の計画：尾本 彰, 森脇正直, 杉本純, 中井良大, 89.
- 講演 原子力の神話時代：中曽根康弘, 112.
- シリーズ解説 核不拡散と GNEP 構想(その2) 世界的な原子力平和利用の拡大と核不拡散の両立に向けて—国際原子力エネルギー・パートナーシップ構想, 核燃料供給保証構想への日本の対応：水元伸一, 117.
- 連載講座 計算科学手法と原子力分野における応用—第10回 可視化技術, 課題と今後の展望(最終回)：白山 晋, 二ノ方 壽, 122.
- 編集委員会からのお知らせ, 129.
- From Editors, 131.
- 会議報告 あなたはこの主張に答えられますか?—原子力委員会市民参加懇談会 in 札幌開催を機に：小川順子, 132. 処分研究ネットワーク始動—連携重点研究「放射性廃棄物処分研究のためのネットワーク」第1回情報交換会より：中山真一, 大江俊昭, 長崎晋也, 藤原 武, 134.

談話室 JRR-1のころを回顧して：苦米地 顯, 136.
会議報告 「2006年秋の大会」倫理委員会セッション報告 事例研修の意義と課題：倫理規定の浸透をめざして：作田 博, 138.
部会便り 熱流動部会主催・計算科学技術部会共催 秋季セミナー「Dr. フォーラム」報告：守田幸路, 木藤和明, 139.
学生連絡会報告 学生連絡会発 学生による学会活動；学生に伝わった先輩方の思い—「学生とシニアの対話 in 北大」より：羽倉尚
人, 錦見篤志, 小野綾子, 140.
新刊紹介 原子力を中心とした技術者の倫理ケースブック：澤田哲生, 141.
「2007年春の年会」の見どころ, 144.
英文論文誌 (Vol. 44, No. 2) 目次, 149.
会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 主要会務, 平成19年度新役員候補者ご推薦のお願い, 編集後記, 150.

No. 3 (3月号)

巻頭言 「電気のごみ」原子力廃棄物と真正面に取り組む：松田美夜子, 159.
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 160.
Nuclear News MAGNOX 炉廃止後燃料取出し最適化チームが NUMEX 賞を受賞：五百旗頭弘之, 170.
シリーズ解説 核不拡散と GNEP 構想(その3) 日本原子力研究開発機構の GNEP 構想への取組み：佐賀山 豊, 172.
解説 原子力政策円卓会議の再評価：国吉 浩, 179.
From Editors, 183.
講演 原子力機器材料の開発の歩みと今後の展望—室蘭から世界へ：佐藤育男, 184.
報告 被ばく事故—もし起きたらどうするか？緊急被ばく医療に備える：梅澤弘一, 190.
会議報告 「2006年秋の大会」から 科学技術コミュニケーターの若手による「2006年秋の大会」見聞記：鎌田めぐみ, 齋藤有香,
神村章子, 隈本邦彦, 192.
第21回 IAEA 核融合エネルギー会議：西谷健夫, 199.
放射性廃棄物処分事業推進に向けた周辺住民との持続的な信頼関係を築くには：稲継成文, 201.
ヨーロッパにおける核燃料の熱物性研究の動向—核燃料の熱力学に関する情報交換のためのスクールおよびシンポジ
ウム：宇埜正美, 牟田浩明, 加藤正人, 森本恭一, 203.
高エネルギー陽子ビーム利用を促進する材料技術—第8回核破碎材料技術国際ワークショップ報告：菊地賢司,
川合將義, 205.
学術会議報告 ITER 時代の核融合研究のあり方について 第19期日本学術会議・核科学総合研究連絡委員会・核融合専門委員
会・「核融合ブランケット研究のあり方と ITER の効果的利用」検討小委員会報告の概要：香山 晃, 堀池 寛, 207.
談話室 第1回ジュネーブ会議の舞台裏(その2)：河田東海夫, 209.
ロシアラモス体験記—核データ部会「若手研究者 LANL 夏期国際交流プログラム」報告：千葉 豪, 211.
新刊紹介 Maintenance of Process Instrumentation in Nuclear Power Plants(原子力発電所のプロセス計装の保守)：木村逸郎, 伏見康
之, 212.
支部便り 関東・甲越支部第5回若手研究者発表討論会 原子力・放射線 期待と創造—私の提案・研究—そして挑戦：鶴飼正身,
213.
Young Generation Network スウェーデン YGN—日本 YGN—意見交換：石寺孝充, 215.
新刊紹介 放射線と現代生活—マリー・キュリーの夢を求めて—：長野浩司, 216.
原子力機関・研究所紹介 がんばれ伊都キャンパス—九州大学新キャンパス紹介記：野田秀作, 217.
日本原子力研究開発機構 NUCEF 施設見学記：小室迪泰, 坂井雅之, 219.
Web アンケート 重要な論点に言及した記事多く Web アンケート結果(11月号), 221.
英文論文誌 (Vol. 44, No. 3) 目次, 和文論文誌 (Vol. 6, No. 1) 目次, 223.
平成19年度「シルバー会員」, 「永年会員」の表彰, 227.
会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 主要会務, 「日米欧原子力学生国際交流事業」派遣学生募集, 編集後記, 228.
第39回日本原子力学会賞受賞概要(後付)

No. 4 (4月号)

巻頭言 対話：知見と進歩の基礎—「人類の安全, 平和と発展のための知識の推進」：ハンス・ファン・ヒンケル, 235.
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 237.
Topic 事故原因や情報の共有めぐり議論—原子力学会が志賀1号炉の臨界事象で特別会合：編集委員会, 247.
Short Report 2005年宮城県沖の地震に伴う女川原子力発電所スクラムとその後の安全性確認について：広谷 浄, 251.
対談 「核兵器を持つ必要がない社会をめざして」：M. エルバラダイ, 須藤隆也, 253.
From Editors, 258.
特集 ITER を軸としての核融合開発と最近の成果：松田慎三郎, 菊池 満, 松井秀樹, 秋場真人, 小西哲之, 田中 知,

小森彰夫, 三間罔興, 259.

- Interview** 「隠し立てのない, 透明性のある話し合いが, 原子力への理解を深める」—仏 COMEX NUCLEAIRE 社のマイヨ社長に聞く: 小林容子, 283.
- お知らせ** 原子力学会誌の表紙が, ATOMOΣ に変わりました: 編集委員会, 286.
- 会議報告** WIN-Japan 青森シンポジウム エネルギーの先進地・青森からの発信—環境との調和をめざして: 石橋すおみ, 288.
第2回 COE-INES 国際シンポジウム, INES-2「世界の持続的発展を支える革新的原子力」: 山野直樹, 290.
- 談話室** 第1回ジュネーブ会議の舞台裏(その3/最終回): 河田東海夫, 292.
- 日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート** Paul Sherrer Institut に滞在して: 二河久子, 295.
- 新刊紹介** 残留応力の X 線評価—基礎と応用: 林 眞琴, 296.
- 原子力機関・研究所紹介** (株)千代田テクノ大洗研究所見学記: 橋本健児, 大眉裕喜賢, 297.
- Web アンケート** 目次や記事の体裁にも気配りを Web アンケート結果(12月号), 299.
- 日本原子力学会「フェロー」一覧**, 301.
- 英文論文誌 (Vol. 44, No. 4) 目次**, 302.
- 「2007年秋の大会」研究発表応募要領**, 303.
- 会 報** 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 主要会務, 編集後記, 310.

No. 5 (5月号)

- 巻頭言** 国力の源は, 人の力, 人の知恵: 高市早苗, 317.
- 会 告** 「第49回通常総会」のご通知, 318.
- NEWS** 原子力界における最近の動き・海外情報, 319.
- Nuclear News** を見て 米国のどこに新設炉ができるのか? できないのか?: 松井一秋, 329.
- 特集** 環境, 経済, エネルギーの持続的発展のための原子力の役割: 池田一三, 田下正宣, 氏田博士, 松井一秋, 330.
- 解説** 中・低レベル放射性廃棄物処分施設の敷地選定成功事例: イ・ボンウ, 353.
原子力と化石燃料による協働的エネルギー転換プロセス: 堀 雅夫, 359.
原子力の安全と信頼を支える水化学の役割と課題—軽水炉新時代の技術課題への取組み: 「水化学標準」研究専門委員会, 365.
- 会議報告** 第2回 COE-INES 国際シンポジウム, INES-2サテライトシンポジウム“最終処分地: それは一体どのように決まったのか? ”: 鳥井弘之, 藤井靖彦, 澤田哲生, 山野直樹, 371.
- 談話室** 炭素14で見る原子力と地球温暖化研究の接点: 山澤弘実, 373.
リスクの大きさ: 大塚益比古, 375.
- 追 悼** 兵藤先生を偲んで: 中村尚司, 377.
- 新刊紹介** 朽ちていった命—被曝治療83日間の記録: 植田伸幸; From Editors, 378.
- Web アンケート** バランスの取れた内容をめざします Web アンケート結果(1月号), 379.
- 英文論文誌 (Vol. 44, No. 5) 目次**, 380.
- 会 報** 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 主要会務, 意見受付公告について, 編集後記, 381.

No. 6 (6月号)

- 巻頭言** 発電設備の「総点検」: 甘利 明, 389.
- NEWS** 原子力界における最近の動き・海外情報, 391.
- Nuclear News** を見て 米エネルギー省民間放射性廃棄物管理オフィス部長のインタビュー: 小西俊雄, 蛭沢重信, 400.
- シリーズ解説** 核不拡散と GNEP 構想(最終回) 核燃料サイクル多国間管理構想(MNA): 背景分析と実現に向けての課題: 鈴木達治郎, 402.
- 解説** 軽水炉から高速炉への移行期にそなえて: 河田東海夫, 410.
高速増殖炉サイクル研究開発について: 田中 知, 416.
- 報告** 原子力安全研究の今後の展開めぐり議論—安全研究フォーラム2007を開催: 西山崇志, 423.
- 講演** エネルギー・環境教育の実践報告—討論「原発は是か非か」の実践を中心にして: 黒杭清治, 426.
- 私の主張** 原子力のイメージはデザインで革新することができる: 川崎和男, 431.
- 会議報告** 「エネルギーシンポジウム」 in 武蔵工大学園祭—「原子力安全工学科」設立に向けて先輩からのメッセージ: 羽倉尚人, 伊下信也, 432.
第5回原子炉熱流動と安全に関する日韓シンポジウム: 田中伸厚, 山口 彰, 前川 勇, 434.
- From Editors**, 435.
- 会議報告** 放射性廃棄物処分における易動性核分裂生成物および放射化生成物に関する国際ワークショップ: 佐藤治夫, 436.
- 談話室** GNEP 構想の問題点とこれに代わる選択肢としてのトリウム発電炉: 豊田正敏, 438.

新刊紹介 原子力施設からの放射性廃棄物の管理, 軽水炉技術の改良と高度化: 田中 知, 439.
海外便り モントレー不拡散研究所留学レポート: 伊藤菜穂子, 440.
新刊紹介 輸送現象の基礎: 河村繕範, 441.
海外便り フランス ITER カダラッシュサイト訪問記: 洲 亘, 442.
原子力機関・研究所紹介 富士電機アドバンステクノロジー(株)訪問記 井村寛治, 山沢 雄, 444.
Web アンケート 注目が高かった原子力の「今」と「昔」 Web アンケート結果(2月号), 445.
英文論文誌(Vol. 44, No. 6)目次, 和文論文誌(Vol. 6, No. 2)目次, 446.
会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 主要会務, 新入会一覧, 編集後記, 448.
「第49回通常総会」議事原案(後付)

No. 7 (7月号)

巻 頭 言 「迅速に判断し, 活動・行動する学会」を目指して: 河原 暉, 457.
平成19年度副会長あいさつ, 役員紹介: 岡 芳明, 辻倉米蔵, 松井一秋, 458.
第40回(平成19年度)日本原子力学会賞受賞候補者推薦の募集, 460.
N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報, 461.
講 演 原子力学界にお願いしたい課題: 近藤駿介, 471.
パネル討論 「エネルギー政策基本法制定の経緯と我が国の長期資源エネルギー政策」: 編集委員会, 476.
会員は学会誌記事をどう評価しているか この1年間の Web アンケートのまとめ(2006年4月~2007年3月): 小林容子, 479.
From Editors, 481.
解 説 日本の原子炉出力向上はどうすれば実現できるか—原子炉出力向上に関する技術検討評価特別専門委員会「出力向上の安全性に関する技術検討評価」分科会中間報告書: 岡本孝司, 山口 彰, 482.
男と女のトリビアを学ぶ—No. といえない男のための男女共同参画: 小川順子, 岡田往子, 岩城智香子, 大野富生, 小林容子, 487.
座 談 会 原子力知識マネジメント 日本の課題と役割は何か—東工大でパネル討論: 野田耕一, 藤田健一, 北村俊郎, 永田匡尚, 澤田哲生, 493.
連載講座 高速炉の変遷と現状(第1回) 高速炉の誕生: 柳澤 務, 田辺裕美, 499.
会議報告 第6回軽水炉冷却材の放射線分解と電気化学に関する国際ワークショップ: 高木純一, 505.
第3回再処理リサイクル部会国際ワークショップ: 山本徳洋, 507.
学生連絡会 学生連絡会主催原産年次大会「学生セッション」青森における原子力キャリアデザイン, 最前線技術者たちの思いと情熱: 岡本将典, 509.
Web アンケート 技術をめぐる話題に関心高く Web アンケート結果(3月号), 511.
英文論文誌(Vol. 44, No. 7)目次, 513.
会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 意見受付公告について, 専門委報告, 主要会務, 新入会一覧, 編集後記, 514.

No. 8 (8月号)

巻 頭 言 「科学技術と社会」関係再構築の時代に: 北村正晴, 523.
時 論 使用済燃料の管理に関する挑戦—GNEP 閣僚級会合でのリードスピーチ: 高市早苗, 524.
N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報, 527.
講 演 原子力安全を巡って—よりロバスタな仕組みは…とくに, 透明性, 手続き的安全性, 専門知について: 鈴木篤之, 537.
解 説 我が国のカザフスタン向け原子力外交の本質と展望—ウラン権益確保の裏に隠されたカザフスタンとの原子力協力の真の戦略性とは何か?: 香山弘文, 543.
米印合意の何が問題か: 期待と懸念が交錯する米印原子力協力: 秋山信将, 548.
特別寄稿(1) 原子力の時代認識: 藤家洋一, 554.
連載講座 高速炉の変遷と現状(第2回) 高速炉型式の変遷: 林 秀行, 柳澤 務, 556.
From Editors, 564.
会議報告 「2007年春の年会」セッション報告 学会内での倫理的問題への取組み: まず問題点の共有から: 鳥飼誠之, 565.
Young Generation Network 平成18年度の活動報告と平成19年度の活動方針について: 石寺孝充, 566.
学生連絡会 「2007年春の年会」活動報告—復活したポスターセッションは再生への試金石となるか: 成田 隼, 567.
書 評 Physics & Engineering of Radiation Detection(放射線検出の物理学と工学): 木村逸郎, 568.
「2007年秋の大会」の見どころ, 569.
編集委員長あいさつ 代谷誠治: 委員一覧, 574.
Web アンケート 一新された学会誌の呼び名と表紙デザイン Web アンケート結果(4月号), 576.
書 評 Q&A 放射線物理: 石川 勇, 577.

英文論文誌 (Vol. 44, No. 8) 目次, 578.

会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 意見受付公告について, 原子力学会「奨学生」の募集, 主要会務, 編集後記, 579.

No. 9 (9月号)

巻 頭 言 「とある光景に想う」: 古川 康, 589.

時 論 中越沖地震について—学会がリードして原子力施設耐震安全学の構築とその研究・教育の振興を: 木村逸郎, 590.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報, 592.

解 説 魅力ある大学でのエネルギー教育—学生の視点から: 小野綾子, 602.

From Editors, 606.

解 説 スーパー軽水炉(超臨界圧軽水炉)の炉心設計: 山路哲史, 607.

編集委員会からのお知らせ, 612.

連載講座 軽水炉プラント—その半世紀の進化のあゆみ(第1回) 原子力発電前史: 吉川秀夫, 613.

連載講座 高速炉の変遷と現状(第3回) 米国の高速炉開発の歴史(I): 二ノ方 壽, 笹尾信之, 619.

私の研究から PWR のキセノン振動をいかにうまく消滅させるか?: 島津洋一郎, 626.

報 告 IEA 核融合炉材料開発国際シンポジウムについて—計算機材料科学と IFMIF の意義: 實川資朗, R. E. STOLLER, F. W. WIFFEN, 谷川博康, 安堂正己, 鈴木一彦, 631.

短 信 伏見先生の白寿を祝う: 大塚益比古, 635.

私の主張 中越沖地震と原子力発電について: 神山弘章, 636.

日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート アルゴンヌ国立研究所滞在記: 野田秀作, 637.

夏期セミナー報告 第22回「核燃料」夏期セミナー報告: 来山正昭, 639.

理事からのメッセージ 「心配」と「心配り」で『安全』、『安心』を: 代谷誠治, 640.

企画委員長あいさつ 小川 徹; 委員一覧, 641.

リレーエッセイ 小川順子, 森崎利恵子, 近藤吉明, 642.

書 評 測定誤差の統計解析: 井原 均; 原子力による運輸用エネルギー: 佐々木修一, 643.

Web アンケート 有益な情報をわかりやすく Web アンケート結果(5月号), 644.

英文論文誌 (Vol. 44, No. 9) 目次, 和文論文誌 (Vol. 6, No. 3) 目次, 645.

会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 主要会務, 編集後記, 647.

No. 10 (10月号)

巻 頭 言 人間の安全保障とエネルギー: 山中あき子, 653.

時 論 リスク学の立場から見た柏崎原発災害—気になる総合的な広報戦略の欠如: 木下富雄, 654.

報 告 柏崎刈羽発電所の安全機能はなぜ維持されたのか—中越沖地震による影響と今後について, 学会が特別セッション: 編集委員会, 656.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報, 660.

Nuclear News を見て 放射線業務従事者被ばく線量データ管理の15年間: 植松邦彦, 670.

From Editors, 670.

解 説 北陸電力(株)志賀原子力発電所1号機で発生した臨界時の炉心挙動解析: 北村信行, 671.

計算機で描く燃料中の原子の世界—分子動力学法による核燃料物質の物性評価: 黒崎 健, 安達 淳, 片山将仁, 宇埜正美, 山中伸介, 676.

連載講座 軽水炉プラント—その半世紀の進化のあゆみ(第2回) 軽水型発電炉の誕生: 吉川秀夫, 681.

高速炉の変遷と現状(第4回) 米国の高速炉開発の歴史(II): 二ノ方壽, 笹尾信之, 687.

私の研究から セラミックスを用いた高温耐食性機器の開発に向けて: 竹上弘彰, 野口弘喜, 寺田敦彦, 693.

書 評 「悪性脳腫瘍手術」最前線: 赤塚 洋, 697.

私の研究から 「世界の実効増倍率」問題への挑戦—モンテカルロ法の核分裂源収束性の改善による臨界安全性の向上: 三好慶典, 698.

会議報告 WIN-Japan(ウィン・ジャパン)講演と女性交流会報告: 前田由起子, 702.

夏期セミナー報告 第18回「ヒューマン・マシン・システム研究」夏期セミナー報告: 五福明夫, 704.

支部便り 関東・甲越支部第2回原子力オープンスクール「未知との遭遇, アトムの世界」実施報告: 荻野晴之, 705.

部会等運営委員長あいさつ 石橋健二; 委員一覧, 706.

リレーエッセイ 中尾朱実, 鈴木達治郎, 707.

Web アンケート 特定テーマを複数記事で相補的に紹介 Web アンケート結果(6月号), 708.

Letters, 709.

英文論文誌 (Vol. 44, No. 10) 目次, 710.

「2008年春の年会」研究発表募集, 711.

会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 新入会一覧, 主要会務, 編集後記, 718.

No. 11・12 (11・12月号)

巻 頭 言 「原子カルネッサンス」の下での日本の原子力産業の進むべき道—今こそ、我が国一丸となって地球的課題解決に向けたリーダーシップを：望月 晴文, 725.

時 論 「新潟県中越沖地震考」：石川迪夫, 726.

中越沖地震について—中越沖地震『誰も知らない技術力』：品田宏夫, 728.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 730.

Nuclear News を見て まだ何も見えてはいないのだ！：小西俊雄, 740.

講 演 原子力発電の核燃料サイクルに関する取組みの基本的考え方：近藤駿介, 741.

解 説 非常に稠密度の高い燃料集合体の除熱性能を実証—高温高压条件下の大規模熱特性試験の実施：玉井秀定, 745.

モンテカルロ法による医療施設設計および照射野線量評価の現状と課題：桜井 淳, 熊田博明, 佐藤達彦,

田山隆一, 松藤成弘, 750.

ウラン・ネプツニウムの新しい金属調製法を端緒としたアクチノイド科学への新展開：塩川佳伸, 山村朝雄, 青木 大,

本間佳哉, 大貫惇睦, 755.

報 告 多様な視点から安全文化を監視：牧野真臣, 762.

論文誌は、このように変わってきました：矢野豊彦, 765.

連載講座 軽水炉プラント—その半世紀の進化のあゆみ(第3回)日本の研究用原子炉の始まり：石川 寛, 770.

From Editors, 775.

連載講座 高速炉の変遷と現状(第5回)欧州・アジアの高速炉開発の歴史：稲垣達敏, 776.

私の研究から 応力腐食割れ(SCC)発生機構の本質的な理解を目指して：恩地健雄, 783.

書 評 核武装論—当たり前の話をしようではないか：神谷万丈, 787.

会議報告 第17回ゴールドシュミット国際会議 in ケルン大学：高田盛生, 789.

「2007年秋の大会」倫理委員会セッション 原子力事業者の不正・不適切事例について考える：作田 博, 788.

リレーエッセイ 諸葛宗男／石橋すおみ, 790.

英文論文誌 (Vol. 44, No. 11) 目次, 792.

会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 専門委報告, 意見受付公告, 主要会務, 編集後記, 793.

日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol. 50, Nos. 1~12 (2008)

ATOMOS (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

No. 1 (1月号)

(末尾の太字は通巻ページ数です)

- 巻頭言 「モノ言う科学者に期待」：広瀬崇子，1.
- 時論 再生可能エネルギーと原子力発電：牛山 泉，2.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，4.
- インタビュー 「原子力の基本は、安全最優先と透明性の確保」原子力機構副理事長 早瀬佑一氏に聞く：小林容子，14.
- From Editors, 19.
- 解説 急激な伸びを示すインドの電力量—順調なトリウムサイクル開発と大型軽水炉の導入計画：西郷正雄，20.
- NISA・JNES 2007シンポジウムから 新潟県中越沖地震より得られた知見から更なる安全性の向上へ—設計余裕の見きわめや、情報発信のあり方について議論：編集委員会，25.
- 講演 原子力グローバル化に向けた最新動向—原子力総合カンパニーとして「三菱自前の技術」による海外展開を：山内 澄，28.
- 原子力グローバル化に向けた最新動向—日立—GE 原子力事業統合の現場から：吉村真人，33.
- 特別寄稿(2) ガリレオ・ガリレイとその生きた時代：藤家洋一，36.
- 連載講座 軽水炉プラント—その半世紀の進化のあゆみ；(第4回)日本の原子力発電の始まり：石川 寛，38.
- 高速炉の変遷と現状；(第6回)日本の高速炉開発の歴史(I)：伊藤和元，鈴木惣十，44.
- 会議報告 ロシアの核燃料サイクル戦略がわかる—ISTC 科学諮問委員会セミナー：松井一秋，50.
- 第3回放射性廃棄物管理における天然および人工バリア材としての粘土の役割に関する国際会議：笹本 広，51.
- 原子力機関・研究所紹介 日本原子力研究開発機構での環境保全・資源化研究に従事して：中津留可乃，52.
- 支部便り 関東・甲越支部 第6回若手研究者発表討論会—原子力・放射線 未来・夢・創造：民谷 正，53.
- リレーエッセイ 「拓魂」六ヶ所村に暮らして：宮川俊晴，「恐くない放射線」：西村純子，54.
- Web アンケート 時代のニーズに合った話題を丁寧に解説；Web アンケート結果(8月号)，55.
- 書評 欧州原子力と国民理解の深層；賛否世論はいかに形成されるか：木村 浩，56.
- ジャーナリストの視点 「原子力と社会のはざま」：中島達雄，57.
- 英文論文誌(Vol. 44, No 12)目次，和文論文誌(Vol. 6, No. 4)目次，58.
- 会告 平成20・21年度代議員選挙に係わる支部、部会等の推薦候補の推薦について，60.
- 会報 原子力関係会議案内，人事公募，専門委報告，新入会一覧，「2008年春の年会」参加事前登録申込み要領，主要会務，編集後記，61.

No. 2 (2月号)

- 巻頭言 地球温暖化時代の原子力：黒川 清，69.
- 時論 原子力安全のためナレッジマネジメントへの積極的取組みを：松浦祥次郎，70.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，72.
- インタビュー 「オープンな姿勢が、信頼につながる」四国電力株常勤顧問太田克己氏に聞く：石橋すおみ，82.
- 解説 チェルノブイリ新シェルター・プロジェクトの概要：武田充司，87.
- グローバル COE プログラム「世界を先導する原子力教育研究イニシアチブ」：岡 芳明，班目春樹，田中 知，高橋浩之，92.
- リスク情報を活用した臨界安全評価に関する国内外の動向：玉置等史，内藤倅孝，鈴木忠和，三橋雄志，97.
- From Editors, 102.
- 解説 原子力防災訓練における IAEA の考え方と日本の実施状況との比較：船橋俊博，柴田高広，103.
- ショート・レポート 制御棒引き抜け報告会に思う：松井一秋，108.
- 連載講座 軽水炉プラント—その半世紀の進化のあゆみ；(第5回)米国および日本の軽水炉の改良研究(PWR)— SHIPPINGPORT から美浜1号機まで：嶋田昭一郎，109.
- 高速炉の変遷と現状；(第7回)日本の高速炉開発の歴史(II)：伊藤和元，小竹庄司，114.
- 会議報告 第8回臨界安全性国際会議：三好慶典，120.
- 先進燃料サイクルシステムに関する国際会議 GLOBAL 2007に参加して：尾形孝成，122.
- 「軽水型原子力発電所高経年化対策研究と今後の方向」国際シンポジウム：木村逸郎，土橋嘉和，123.

原子力機関・研究所紹介 日立 GE ニュークリア・エナジー株滞在記：Shikha PRASAD, 124.
リレーエッセイ 「塩」：橋内久美, 友たれ永く友たれ：澤村貞史, 125.
Web アンケート 社会問題や時事問題にも貢献できるような学会誌を；Web アンケート結果(9月号), 126.
ジャーナリストの視点 「住民の安心と科学」：小野広司, 127.
英文論文誌(Vol.45, No.1)目次, 128.
会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 主要会務, 編集後記, 129.

No. 3 (3月号)

巻 頭 言 あんたも放射線だしてるんですよ：竹村健一, 135.
時 論 核廃絶に真剣に取り組もう；パグウォッシュ会議評議員に就任して思うこと：鈴木達治郎, 136.
N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報, 138.
解 説 最終処分地における参加型意思決定過程：山野直樹, 澤田哲生, 鳥井弘之, 147.
ウラン廃棄物等の諸問題について：山名 元, 前田 充, 152.
From Editors, 157.
解 説 放射性廃棄物の分離変換技術にどこまで期待できるか？；「分離変換サイクル」研究専門委員会活動報告に代えて：「分離変換サイクル」研究専門委員会, 158.
原子力立国にふさわしい原子力法制を；原子炉等規制法の問題点：田邊朋行, 下山俊次, 164.
連載講座 軽水炉プラント—その半世紀の進化のあゆみ；(第6回)軽水炉の改良研究(BWR)—ドレスデンから敦賀1号炉へ：星出明彦, 前川 治, 169.
高速炉の変遷と現状；(第8回)高速増殖炉サイクルの実用化戦略調査研究の成果：根岸 仁, 小竹庄司, 丹羽 元, 174.
海外便り 「スウェーデンの原子力の今」；現地からの原子力をめぐる現状報告：高谷浩樹, 181
会議報告 第8回トリウム科学技術国際会議に参加して：大塚哲平, 182.
第11回環境修復と放射性廃棄物マネジメントに関する国際会議：佐々木道也, 183.
第15回放射性物質輸送容器および輸送に関する国際会議：三枝利有, 広瀬 誠, 184.
リレーエッセイ 私の好きな作家たち：工藤和彦, ある日の我が家の風景より：大澤京子, 185.
原子力機関・研究者紹介 日本原子力研究開発機構 安全研究センター体験記：筑城卓也, 淀 忠勝, 前田修平, 松井亮太, 朝比奈 遼, 石橋直樹, 186.
東芝 電力・社会システム技術開発センター滞在記：Thomas Conboy, 187.
書 評 Fundamentals of Radiation Materials Science(放射線材料科学の基礎)：木村逸郎, 福谷耕司, 188.
Web アンケート 軽水炉, 高速炉の連載が同時進行中；Web アンケート結果(10月号), 189.
ジャーナリストの視点 「複雑さの壁」を乗り越えて：古谷秀綱, 190.
英文論文誌(Vol.45, No.2)目次, 191.
「2008年春の年会」の見どころ, 192.
「2008年秋の大会」研究発表応募・参加事前登録のご案内, 198.
平成20年度新役員候補者ご推薦のお願い, 199.
会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 新入会一覧, 主要会務, 編集後記, 200.

No. 4 (4月号)

巻 頭 言 今, 原子力に期待すること：弘兼憲史, 205.
時 論 地球温暖化と原子力産業の将来を考える：内山洋司, 206.
N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報, 208.
Nuclear News を見て 米国の低レベル放射性廃棄物処分事情：鳥飼誠之, 217.
From Editors, 218.
特 集 放射線安全の考え方と関連する基準の国際動向：小佐古敏荘, 山本英明, 大越 実, 米原英典, 219.
解 説 ドイツ, フランスにおける原子力廃棄物最終処分地の選定状況：松田美夜子, 232.
食品の安全と消費者の安心感—両者を結ぶのは信頼：唐木英明, 236.
連載講座 軽水炉プラント—その半世紀の進化のあゆみ；(第7回)日本の軽水炉開発(1)—軽水炉の導入(PWR)：山田一太, 鈴木成光, 241.
高速炉の変遷と現状；(第9回)再処理関連の歴史と現状：船坂英之, 永井俊尚, 鷲谷忠博, 247.
談 話 室 財原子力発電技術機構の解散と今後の事業展開：内藤正則, 253.
特別寄稿(3) ハイゼンベルグと原爆開発：藤家洋一, 255.
会議報告 トリウムが開く核エネルギーの新しい地平—中国から聞こえる足音(TU 2007)：亀井敬史, 吉岡律夫, 島津洋一郎,

本間悠斗, 257.

会議報告 肌で感じたエネルギー教育の重要性！君は飲み会の席で原子力が語れるか？「学生とシニアの対話 in 東京」より：羽倉尚人, 伊下信也, 成田 隼, 258.

リレーエッセイ 備えあれば憂いなし：田中治邦, 海に行こう：松村文代, 259.

Web アンケート 合併号により, 学会誌の発行時期を変更；Web アンケート結果(11・12月合併号), 260.

英文論文誌(Vol. 45, No. 3)目次, 和文論文誌(Vol. 7, No. 1)目次, 261.

会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 平成19年度(第1回)「日本原子力学会フェロー賞」受賞者一覧, 第20年度「シルバー会員」, 「永年会員」表彰, 主要会務, 編集後記, 264.

第40回日本原子力学会賞受賞概要(後付)

No. 5 (5月号)

巻 頭 言 地球の直面している危機をどうやって救うか。本気で話そう：有馬朗人, 271.

時 論 核廃絶に向けた新たなパートナーシップを：Jayantha DHANAPALA, 272.

サステイナブルな社会を目指して：住 明正, 274.

会 告 平成20・21年度代議員選挙について, 276.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 279.

特 集 制御棒引き抜き事象調査委員会の報告について：松井一秋, 澤田 隆, 山本章夫, 中島 健, 阿部清治, 北村正晴, 289.

解 説 環境とエネルギーに関する科学情報を発信する NPO；活動の紹介と報道の自己検証制度：三田和朗, 302.

原子炉水化学ロードマップ：「水化学ロードマップ検討」特別専門委員会 内田俊介, 勝村庸介, 布施元正, 高守謙郎, 土内義浩, 前田宣喜, 307.

連載講座 軽水炉プラント—その半世紀の進化のあゆみ；(第8回)日本の軽水炉開発(2)—軽水炉の導入：久持康平, 守屋公三明, 313.

高速炉の変遷と現状；(第10回(最終回))最近の高速炉の位置づけと国内外の開発動向：中井良大, 318.

会議報告 JAEA-IAEA 共催「将来の核燃料サイクル先進的保障措置に関するワークショップ」：久野祐輔, 麻生良二, 324.

「サステナビリティと原子力教育研究」をテーマに講演と討論；東京大学原子力グローバル COE 拠点創立記念 第2回国際シンポジウム：岡 芳明, 福崎孝治, 325.

支部便り 北関東支部 平成19年度オープンスクール実施報告：伴 秀一, 326.

関東・甲越支部 講演「最新情報, 低線量放射線の生体への影響」；第6回“Atoms for Future”において開催：猪飼正身, 327.

リレーエッセイ 季節感を取り戻すこと：柴田洋二, 六ヶ所村の方から学んだこと：松井恵美子, 328.

書 評 本格的な中国の原子力報告—「中国原子力ハンドブック2008」：久保 稔, 329.

From Editors, 329.

Web アンケート 「ジャーナリストの視点」が好評；Web アンケート結果(1月号), 330.

ジャーナリストの視点 書を持ち, 街へ, 人へ。：栃尾 敏, 331.

英文論文誌(Vol. 45, No. 5)目次, 332.

日本原子力学会「フェロー」一覧, 333.

会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, フェロー基金寄付のお願い, 寄付者芳名一覧, 原子力総合シンポジウム2008プログラム, 主要会務, 編集後記, 334.

No. 6 (6月号)

学会声明 「地球のためのクールエネルギー原子力」, Nuclear, Cool Energy for the Earth, 343.

巻 頭 言 課題先進国日本のエネルギー政策：小宮山 宏, 345.

時 論 日朝関係の展望；国交正常化交渉を中心に：遠藤哲也, 346.

会 告 「第50回通常総会」のご通知, 348.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 349.

原子力学会「春の年会」から 地震による設備の健全性への影響などを議論—学会が柏崎刈羽発電所と中越沖地震で特別セッション, 358.

報 告 原子力カルネッサンスに向けた柔軟な放射線防護体系：岸田哲二, 361.

解 説 高速増殖炉サイクルの技術開発：佐賀山 豊, 長沖吉弘, 363.

次世代原子力システムの核拡散抵抗性：千崎雅生, 久野祐輔, 井上尚子, 勝村聡一郎, 368.

私の研究から エクセルギーと経済と人類の歴史：福田研二, 374.

連載講座 今, 核融合炉の壁が熱い！—数値モデリングでチャレンジ；(第1回)Ⅰ.はじめに：相良明男, 乗松孝好, Ⅱ-1 壁の前で何が起きているか？：畑山明聖, 滝塚知典, 378.

連載講座 軽水炉プラント—その半世紀の進化のあゆみ；(第9回)日本の軽水炉開発(3)—PWRの改良標準化①：北村哲男，鈴木成光，384.

書評 放射線入門 第2版：横山須美，389.

私の主張 「原子力」は地球環境対策の決定打となり得るか；トリウム熔融塩炉による増殖サイクルの提言：古川和男，390.

会議報告 高レベル放射性廃棄物の地層処分事業の推進に向けて；NUMO技術開発成果報告会：土 宏之，392.

「2008年春の年会」倫理委員会セッション報告 学会内における倫理活動のありかた：辻 政俊，393.

会議報告 原子力青年ネットワーク連絡会・学生連絡会共催「学生と若手社会人の対話 in 大阪」；高い双方向性・独自性を目指した対話：岡本将典，394.

リレーエッセイ 「東海村の研究所から」：小山田 修，「コミュニケーションがつなく想い」：長須真由美，395.

From Editors, 396.

学会創立50周年記念記事の募集，397.

Web アンケート 社会との関連記事が好評；Web アンケート結果(2月号)，398.

ジャーナリストの視点 「負の発想を変える時期」：吉田 仁，399.

英文論文誌(Vol. 45, No. 6)目次，和文論文誌(Vol. 7, No. 2)目次，400.

会 報 原子力関係会議案内，第20回「日米欧原子力学生国際交流」派遣学生募集，第7回核融合エネルギー連合講演会プログラム，主要会務，編集後記，402.

No. 7 (7月号)

巻頭言 温暖化対策に大きな役割を果たす原子力利用の国際展開：岸田文雄，409.

時 論 日本の原子力産業の実力：神田啓治，410.

伏見康治先生を悼む：大塚益比古，412.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，413.

Nuclear News を見て Dr. Gail H. Marcus の“The OECD Nuclear Energy Agency at 50”を読んで：植松邦彦，422.

「2008年春の年会」理事会セッション報告 日本原子力学会の行動指針と新しい取組み；「迅速に判断し，活動・行動する学会」を目指したこの一年の活動と成果，河原 暉，424.

シリーズ解説 我が国の最先端研究開発；(第1回)ITER時代を迎えた核融合研究開発(I)：二宮博正，久保博孝，秋場真人，426.

解 説 地震動の不確かさを考慮した経年配管の構造信頼性評価手法の開発；経年劣化が進行した発電用原子炉の配管が地震で壊れる確率は？：伊藤裕人，鬼沢邦雄，杉野英治，434.

ウラン濃縮を巡る国際的な動向と我が国の課題：山下浩司，438.

連載講座 今，核融合炉の壁が熱い！—数値モデリングでチャレンジ；(第2回)II-2 壁の前で何が起きているか？：畑山明聖，滝塚知典，443.

軽水炉プラント—その半世紀の進化のあゆみ；(第10回)日本の軽水炉開発(4)—第1次改良標準化計画(BWR)：星出明彦，永井公夫，448.

書 評 希土類とアクチノイドの化学：木村貴海，453.

談話室 放射性廃棄物「共に語ろう電気のごみ—もう，無関心ではられない」；地域ワークショップを開催して：鬼沢良子，454.

ロスアラモス体験記—核データ部会「LANL 夏期国際交流学生プログラム」：岩元大樹，456.

会議報告 GIF および Euratom における熔融塩炉研究の広がり：島津洋一郎，岡野 靖，458.

支部便り 関東・甲越支部 第1回学生研究発表会—原子力・放射線分野：萩野晴之，459.

原子力機関・研究所紹介 株式会社製作所 電力・電機開発研究所滞在記：吉田 智，倉 健太郎，460.

リレーエッセイ 抱負：松石智美，京の案内人：佐々木隆之，461.

2007年度のWeb アンケートのまとめ 「読みやすさ」と「内容の充実」をめざして(2007年4月～2008年3月)，462.

From Editors, 464.

Web アンケート パンチのきいた巻頭言が好評；Web アンケート結果(3月号)，465.

ジャーナリストの視点 「ストレス抱える原発周辺住民」：松村健次，466.

英文論文誌(Vol. 45, No. 7)目次，467.

学会創立50周年記念記事の募集，468.

会 報 原子力関係会議案内，人事公募，「2008年秋の大会」見学会，新入会一覧，主要会務，編集後記，469.

「第50回通常総会」議事原案(後付)

No. 8 (8月号)

巻頭言 柏崎刈羽原子力発電所を見学して：尾池和夫，477.

時 論 “社会の木鐸になれ”は死語か；メディアの実態を踏まえた原子力情報の発信を：新井光雄，478.

インタビュー 「行動する学会をめざして」日本原子力学会会長 岡 芳明氏に聞く：石橋すおみ，480.

平成20年度副会長あいさつ 「行動する学会」を支える活動を(副会長就任にあたって):工藤和彦, 「迅速に判断し, 活動・行動する学会」を目指して:横溝英明, プロアクティブな行動を:辻倉米蔵, 483.

第41回(平成20年度)日本原子力学会賞受賞候補者募集, 485.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 486.

解説 原子力への期待に応えるために一温暖化ガス排出削減とエネルギー安定確保への道:田中俊一, 496.

シリーズ解説 我が国の最先端研究開発;(第2回)ITER時代を迎えた核融合研究開発(Ⅱ):二宮博正, 久保博孝, 秋場真人, 500.

解説 原子力発電プラントにおける水化学の課題への取り組み—水化学部会ゼロ歳の抱負:日本原子力学会「水化学」部会, 内田俊介, 勝村庸介, 布施元正, 塩川隆弘, 瀧口英樹, 506.

連載講座 今, 核融合炉の壁が熱い!—数値モデリングでチャレンジ;(第3回)Ⅲ. 壁の表面で何が起きているか?:大宅 薫, 相良明男, 511.

軽水炉プラント—その半世紀の進化のあゆみ;(第11回)日本の軽水炉開発(5)—PWRの改良標準化②:脇 正鋭, 鈴木成光, 516.

From Editors, 521.

談話室 戦時下における京都帝国大学 荒勝文策教授の原子力研究:代谷誠治, 522.

リレーエッセイ エンジニアの指輪:田中のぞみ, ゼロ・クリア:北山一美, 525.

Web アンケート 多様かつ独自の視点を求める声多く;Web アンケート結果(4月号), 526.

ジャーナリストの視点 国民の目線で真摯に対話を:山本和朗, 527.

「2008年秋の大会」の見どころ, 528.

英文論文誌(Vol. 45, No. 8)目次, 532.

会報 原子力関係会議案内, 人事公募, 主要会務, 編集後記, 533.

No. 9 (9月号)

巻頭言 原子力カルネッサンスを現実のものとするために:服部拓也, 539.

時論 倫理の目で見ると何が見えるか;身近な規制の法令に目を向けよう:杉本泰治, 540.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 542.

シリーズ解説 我が国の最先端研究開発;(第3回)FBRサイクルの実用化を目指して(Ⅰ)—持続的な社会を支える技術の研究開発を推進:長沖吉弘, 名倉文則, 阪口友祥, 川崎弘嗣, 菊地 晋, 551.

解説 科学が文明を変える:気候変動に関する政府間パネル(IPCC)が果たした役目:西岡秀三, 557.

再処理・リサイクル技術開発の状況と我が国の開発への提言:日本原子力学会 再処理・リサイクル部会, 562.

講演 原子力の広報活動を振り返って;新たな信頼関係づくりに向けてダイアログの推進を:榎本晃章, 568.

From Editors, 570.

報告 「原子炉出力向上」はどうすれば実現できるか;講演会「原子炉出力向上に関する技術検討評価」を開催:岡本孝司, 571.

連載講座 今, 核融合炉の壁が熱い!—数値モデリングでチャレンジ;(第4回)Ⅳ. 壁の中で何が起きているか?:村田 勲, 今野 力, 574.

書評 激動の世紀を生きて—あるユダヤ系科学者の回想:石野 栞, 579.

連載講座 軽水炉プラント—その半世紀の進化のあゆみ;(第12回)日本の軽水炉開発(6)—第2次改良標準化計画(BWR):吉川和宏, 守屋公三明, 580.

50周年企画公募記事 原子力, 50年前と今後への希望:古橋 晃, 584.

タイムカプセル 「氷河期»:白井暁子, 「原子力発電の夜明け風景»:石川迪夫, 585.

解説 放射線の利用と展望;工業・医療分野における利用動向:柴田徳思, 586.

会議報告 「稔りある原子力人材育成を目指して»;原子力人材育成シンポジウム:長谷川 信, 591.

朝日新聞 科学エディターの講演;中越沖地震の緊急出版の舞台裏と新聞社の男女共同参画:大野富生, 592.

核不拡散・保障措置・核セキュリティ連絡会報告 「2008年春の年会」新連絡会の設置に当たって:勝村聡一郎, 593.

リレーエッセイ 出会い:上西紗耶加, 因縁という考え方:朽山 修, 594.

「編集委員会」平成20年編集委員長あいさつ—社会との双方向性をめざして:堀池 寛, 論文誌は学会の宝もの:矢野豊彦, 原子力界の代表誌 ATOMOΣ を目指して:近藤吉明, 編集委員会委員一覧, 595.

「企画委員会」仕事は増やさず, テーマは広く:小川 徹, 企画理事, 委員一覧, 597.

「部会等運営委員会」部会等運営委員会委員長就任にあたって;皆様の視点に立って:松井恒雄, 部会等運営理事, 委員一覧, 598.

Web アンケート 地球が直面している危機に多くの関心;Web アンケート結果(5月号), 599.

ジャーナリストの視点 原子力業界 OB たちに学ぶ:福田 悟, 600.

英文論文誌(Vol. 45, No. 9)目次, 和文論文誌(Vol. 7, No. 3)目次, 601.

会報 原子力関係会議案内, 人事公募, 「奨学生」の募集, 新入会一覧, 主要会務, 編集後記, 603.

No. 10 (10月号)

- 巻頭言 日本の原子力界の真の実力を発揮しよう：藤江孝夫，609.
- 時論 低炭素社会を目指すエネルギー・原子力政策—洞爺湖サミットを超えて：加納時男，610.
我が国の原子力俯瞰マップを作りませんか：班目春樹，612.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，614.
- シリーズ解説 我が国の最先端研究開発；(第4回)FBR サイクルの実用化を目指して(Ⅱ)—革新的技術の具体化に向けて課題を解決：水田俊治，近澤佳隆，鷺谷忠博，鈴木政浩，624.
- 解説 高度解析技術が原子力材料研究に与えたインパクト—最新技術でここまでわかってきた！：日本原子力学会 材料部会，630.
核データ活動における大学の役割—原子力研究と基礎研究：馬場 護，635.
- 講演 社会と原子力の相互信頼を求めて；どうする低迷状態から脱却するために！：竹内哲夫，640.
- 報告 高速増殖炉に適用可能な水素製造技術の開発；ハイブリッド熱化学法の開発：中桐俊男，644.
- 書評 誰も知らなかった小さな町の原子力戦争：金氏 顕，648.
- 連載講座 今，核融合炉の壁が熱い！—数値モデリングでチャレンジ；(第5回)Ⅴ．壁はどのくらい熱くなるか？：真木紘一，今野 力，649.
軽水炉プラント—その半世紀の進化のあゆみ；(第13回)日本の軽水炉開発(7)—PWRの改良標準化③：向井 卓，鈴木成光，654.
- From Editors, 659.
- 巻頭言アーカイブ 創刊の辞：茅 誠司，660.
- タイムカプセル記事 夢と現実の間：長谷川尚子，原子力への想い：中村政雄，661.
- 談話室 原子力と地震に関する危機管理研修：日本滞在記：Manon PAPIN, 662.
最終処分地選定問題を考える—地層処分関連研究施設「幌延計画」に果たした自治体の活動を振り返る：坪谷隆夫，664.
- 支部便り 関東・甲越支部「電気史料館見学会および講演会」実施報告：荻野晴之，666.
- 会議報告 アジア太平洋地域における核不拡散協力のための透明性技術に関するワークショップ：久野祐輔，勝村聡一郎，667.
- 日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート ANL滞在記：前川 陽，668.
- Web アンケート 「異端は異教より憎し」に共感の声；Web アンケート結果(6月号)，669.
- ジャーナリストの視点 「原子力界は情報公開に積極的か」：金木雄司，671.
- 英文論文誌(Vol. 45, No. 10)目次，672.
- 「2009年春の年会」研究発表応募・参加事前登録のご案内，673.
- 会報 原子力関係会議案内，主要会務，編集後記，674.

No. 11 (11月号)

- 巻頭言 原子力安全への思い：佐々木宜彦，679.
- 時論 地球温暖化問題の現状と課題；洞爺湖サミットの成果と今後：今井尚哉，680.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，682.
原子力学会「秋の大会から」地震直後の現場での対応は，冷静で適切なものだった—学会の中越沖地震セッションで，グッドプラクティスの紹介：編集委員会，692.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発；(第5回)量子ビームが切り拓く未来(Ⅰ)—量子ビーム応用研究の動向：長島 章，藤井保彦，696.
- 解説 気候変動対策の制度設計に向けて：西條辰義，701.
大学の原子力研究に係る矢内原原則について：木村逸郎，田中 知，706.
ロシア余剰核兵器解体プルトニウム処分の現状と日本の協力；バイバック MOX 燃料協力の10年を振り返って：舟田敏雄，川太徳夫，千崎雅生，711.
核融合炉実現を目指したトリチウム研究の新展開；文科省科研費特定領域「核融合トリチウム」の紹介：田辺哲朗，716.
- 講演 米国における原子力産業の現状と展望—原子力カルネッサンスの実現：Donald C.HINTZ, 佐川尚司，721.
- 連載講座 今，核融合炉の壁が熱い！—数値モデリングでチャレンジ；(第6回)Ⅵ-1 壁の中は傷まないか：Shahram SHARAFAT, 森下和功，724.
軽水炉プラント—その半世紀の進化のあゆみ；(第14回)日本の軽水炉開発(8)—第3次改良標準化計画(BWR)：清水建男，川俣 晋，守屋公三明，730.
- From Editors, 659.
- シニアの自論 大学生にエネルギー常識教育を：益田恭尚，736.
シニアの暗黙知の継承を急げ：伊藤 陸，加藤洋明，737.

タイムカプセル記事 核燃料工学：岩田修一，脱炭素社会実現で人間の安全保障を：北口千裕，738.
巻頭言アーカイブ 優れた人材の養成こそ急務である：向坊 隆，739.
追 悼 故相澤清人氏を偲ぶ：可児吉男，740.
会議報告 フェルミの国が復活!?—背景に教皇が；平和と持続的発展のためのエネルギー：澤田哲生，741.
倫理委員会活動報告 倫理委員会の最近の活動から；不正・不適切事例の再発防止策分析と啓発のためのケースブックの作成：
小澤通裕，鳥飼誠之，作田 博，742.
学生連絡会報告 原子力を学ぶ学生に倫理教育は必要か：鈴木 将，744.
日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート SLAC 滞在記：山本智彦，745.
書 評 核エネルギーと地震；中越沖地震の検証，技術と危機管理：榊原安英，オムニバス技術者倫理：関 泰，746.
Web アンケート 本格化する原子力商戦に高い関心；Web アンケート結果(7月号)，747.
ジャーナリストの視点 活断層巡る議論をもっと分かりやすく：内山太介，748.
英文論文誌(Vol.45, No.11)目次，749.
会 報 原子力関係会議案内，標準委員会意見受付公告について，「原子力歴史構築賞の新設・推進募集」，「ブルサーマルの分かりやすい説明と問答集」ご案内，主要会務，編集後記，750.

No. 12 (12月号)

巻 頭 言 原子力にも闘魂ゲノムを！：アントニオ猪木，757.
時 論 いよいよ始動の J-PARC—国際施設の新たな課題に向かって：永宮正治，758.
N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報，760.
Nuclear News を見て Nuclear News“Fuel 特集”を読んで：高田誠一，770.
From Editors, 771.
特 集 原子炉出力向上に関する技術検討評価の結果について；「原子炉出力向上に関する技術検討評価」特別専門委員会最終報告：「原子炉出力向上に関する技術検討評価」特別専門委員会，岡本孝司，木倉宏成，山口 彰，三島嘉一郎，関村直人，772.
シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発；(第6回)量子ビームが切り拓く未来(Ⅱ)—バイオ・環境エネルギーに貢献する荷電粒子・RI 利用研究：南波秀樹，田中 淳，伊藤久義：785.
新刊紹介 事例に学ぶ流体関連振動第2版，Flow Induced Vibrations：Classifications and Lessons from Practical Experiences：稲田文彦，789.
解 説 複雑な流路における流れの解明；燃料集合体内の流動計測／評価技術の進展：池田一生，星 雅也，790.
なぜ「掲載否」と判定されるのか—論文査読者からのコメント：編集委員会，795.
連載講座 軽水炉プラント—その半世紀の進化のあゆみ；(第15回)今後の軽水炉の開発(1)—導入計画中の軽水炉①：野田哲也，守屋公三明，大久保努，798.
今，核融合炉の壁が熱い！—数値モデリングでチャレンジ；(第7回)VI-2壁の中は傷まないか：森下和功，Shahram SHARAFAT，803.
新刊紹介 Fundamentals of Nuclear Reactor Physics：北田孝典，808.
ヤングフリートーク 「原子力は，私たちの社会の基盤を支えている」—原子力を学ぶ学生が，想いを語りました：嘉村明彦，佐野祐太，鈴木 将，永田章人，羽倉尚人，前川 陽，小林容子，809.
シニアの自論 化石燃料からのエネルギー転換を急げ：池亀 亮，814.
保全プログラムを基礎とする検査の導入 保安院は地元との対話の継続を：松永一郎，815.
50周年公募企画記事 「日本のチェルノブイリ」と言われて：稲村 卓，816.
巨大トリウムエネルギー産業の早期世界展開：古川和男，亀井敬史，817.
巻頭言アーカイブ 原子力研究の昨日・今日・明日：武田栄一，818.
私の主張 地層処分の実現に向けた取組みについての私見：前田敏克，819.
談 話 室 核分裂は誰が発見したのか(その1)；超ウラン元素探求競争とナチスのユダヤ人迫害：河田東海夫，821.
部会便り 水化学部会主催「第5回水化学サマーセミナー in 福井」開催報告：磯部 毅，823.
Web アンケート 50周年記念企画記事の掲載が始まる；Web アンケート結果(8月号)，824.
ジャーナリストの視点 「安全」と「安心」の間にあるもの：坪谷英紀，825.
英文論文誌(Vol.45, No.12)目次，和文論文誌(Vol.7, No.4)目次，826.
会 報 原子力関係会議案内，人事公募，平成21年度フェロー候補推薦募集，フェローの活動状況，主要会務，編集後記，828.
後 付 総目次・著者名索引(Vol. 50, No.1~No.12)